

【別紙】 共創のまちづくり推進検討委員会中間報告に対する地域から提出された意見一覧（途中経過）（R3. 2. 26現在；483件）※第4回検討委員会参考資料分（121件）は除く

參考資料 1

※個別の事案に関することについては掲載していない

	(1)	(2)	(3)
No.	自治協議会や自治会・町内会 に対する支援について (中間報告４ページ) 検討されている項目のうち、 特に必要だと思う項目に○ (○はいくつでも可)	地域コミュニティの価値(大切さ)の共有 (中間報告３ページ下段)において 検討されている３つの項目 (情報発信・共有のための場づくり・条例などによる位置づけ) に関する意見	その他全体を通じての意見
	①住民理解の促進 ②環境づくりにやさしい ③むきつきかなづくりを生 ④負担軽減化による ⑤携ふ推進館による支援や連 ⑥運多様な主体との ⑦営民生活活動のか推れた ⑧運営基盤協会の強化		
122	○ ○ ○ ○	住民からの自治会加入の必要性の問合せに対し、安易に、「任意であり、強制ではない。」旨、答えられる市職員がおられる。確かに間違っ てはいいないが、今少し説明が欲しい。このことから市及び市職員が地 域コミュニティの大切さについてどの程度本気に考えておられるか不透 明であり信用できない。	・（在職中は地域活動の大切さをしきりに説かれるが）市職員OBの地域活動参加が少ないように思われる。 ・現役職員の地域活動に対する評価制度や地域活動のための有給休暇制度を検討されてはどうか。また、企業へ働きかけられてはどうかと思う。 ・当校区在住の市職員OBが町内会長へ就任した際「営利企業従事の許可申請書」の提出を求められた。他自治体では提出免除にしているケースもある。町内会は営利企業ではない。地域活動に参加しやすい制度に改めてほしい。
123			一人一人が思いやりを持って、共に生きられる、地域を目指しましょう。
124	○ ○ ○ ○ ○ ○	若い人たちに、情報を共有してもらうには、ライン等のインターネットを利用し、行事への参加、福引きなど、楽しめるようにしたいとい います。インターネット世代以外のフォローも必須ではありますが一。	コロナ禍においては、行事が出来ないまま1年が過ぎていきます。専門的な事はわかりませんが、インターネットの利用は本当に考えていった方がいいと思います。 今は作ってあっても、みなさん利用されていないのでー
125	○	条例は必要ない。各地域で集まる懇親会や祭や運動会などがあれば、いっしょになって汗をながし、酒を飲めば相手の意志が理解出来るようになる。 情報発信としては掲示板に必要な事項を確認出来る情報を確認出来るようにする。コミュニティ内の家庭菜園運営も良いかもしれない。	・中間報告では現状を整理しただけで今後どのようなことをするのが見えない。例えば敬老会をやるとしても行政からの名簿は個人情報で出せないとか、担当部署でないから対応出来ないとか、前例がないからやれないなど行政がコミュニティを支援する気持ちがない。責任だけはコミュニティに押しつけている。 ・この地域はバス停が無くて買物が難しいので買物支援を実施しているが行政からの支援がない。買物支援の助成やバス交通網の設置を希望する。 ・基盤整備を実施したが、決算書が不備なので行政に修正するように依頼したが基盤整備の役員へ連絡しただけで正規の決算書が出てこない。
126	○ ○ ○ ○ ○ ○	共有のための場づくりを進めてほしい。場の環境を新たに作り、企業の協力、支援を受けて様々なイベントを行ったほうがよいと考えます。	ネットを活用して、イベントの案内など、活発に行なってほしい。
127			
128	○		現状では、企業等の定年延長などの影響もあり、高齢者働く方が多くなり、市内の役員につきにくい状況になっています。 そこで(株)ふくやさんの様な会社がふえるように市の方でも広報活動、支援等をもっとしていただき、休日等が取得できるような状況を作りたいと思っています。
129	○ ○		
130	○ ○ ○ ○ ○ ○		本来行政（自治体）が行うべき事柄を財政的な事情で、自治協議会・町内会等地域の任意の組織に委ねているということを基本に据え、物事を考えていかないといけないと思います。現状では、行政が地域の諸活動を支援してあげている感がありません（共創補助金）。区役所の地域支援課の名称が正にそれを物語っているように思われます。 行政がすべきことと地域が自主的・主体的に取り組むこと（特に基本6事業）をきちんと区分整理したうえで議論をしないと、検討会の提言も絵に描いた餅となりかねないのではと思います。
131	○ ○ ○ ○ ○ ○		自治会・町内会長にいろんな方がなれる様な環境づくり！
132	○		

133									町内会長になってまだ1年も経っていないので理解不足の点がありますが、率直に思うところを以下に記します。 ◇[条例などによる位置づけ]について 町内会と自治協議会の両方についての位置づけについてかどうかは分かりませんが、町内会についての意見です。 ○現在、当町内会は町内会への世帯加入率が94%（133世帯・集合住宅17世帯含む）（集合住宅は管理会社との協定で全戸加入扱い）ですが、最近、町内に転入してくる世帯は、加入をいただけないケースが出ています。家庭の事情、仕事や子育てで忙しい・・・といった理由からですが・・・。加入を強制できないためどうしようもないですが、以下の問題を抱えています。 ・防犯灯管理費、公園の清掃管理、町内全体の道路清掃は町内会加入世帯で負担しているが、非加入世帯には負担していただけないこと。個別に非加入世帯に説明しても加入にはなかなかつながらない。行政で作成した町内会加入促進チラシにはこうしたことも記載がありますが、強制力がないため効果が少ない。 少なくとも、防犯灯管理費を含む町内居住者としての相応の共益部分や労役については、町内会非加入世帯にも負担をしてもらう仕組みや根拠を行政から示してほしいと思います。 ・敬老会や高齢独居者等見守り活動については、一部補助金はあるものの、非加入世帯についても網羅していかなければならないこと。一方では、非加入世帯側から言えば、町内会に加入してないのにそこまでしてもらわなくてもいい・・・といった受け止め方もあるようです。敬老会の対象者の把握や敬老祝賀会への参加呼びかけについても、町内会非加入者についてはやりにくいです。 ・町内会と連動した子ども育成会の活動が、子ども会の行事の際に、町内会非加入世帯の子供は子ども会に入らないことが多いので、距離ができてしまうこと。 ・集合住宅（当町内はアパート3棟）は町内会費納入者（直接集金ではなく、管理会社との契約で、管理会社が一定額を支払う）ですが、実質的に町内会への所属意識は伝わらず形式的に加入してもらっている感がある。また、一般加入世帯（戸建て）との交流も全くと言ってよいほど無いし、出来そうもない。だれが入居しているかの情報も確認しにくい※異動が多く、町内会加入の主体が集合住宅の居住者なのか管理会社なのか曖昧。町内会加入を勧めるのは、町内会側としては町内会費が確保できる利点だけとaitakunaru位です。 戸建ての一般世帯と、転出入の多い単身者を含む集合住宅では当然、同じ町内でも、“そこに住む”という意識が違うので、同じ“くくり”で町内会としてまとめることには無理があると感じます。 ※広報物配布先名簿での異動報告の通知はきますが、世帯主だけの異動なのか、家族を含めた異動なのかが分かりません。また、去年は4月当初の広報物配布先名簿には記載が無い集合住宅の1戸については、誰かは分かりませんがすでに以前から居住家族がいましたが、その後も転入の異動報告はありません。かといって、一般世帯同様に集合住宅居住者からも町内会への加入届、退会届を提出していただくことはできそうもありません。 また、集合住宅居住者のマナーが問題になることもあります。回覧板も形式的にまわしてきたが、最近回は覧辞退者が多く、回覧しても回覧板がなかなか戻ってこないことから、一部を除いて回覧の大部分を中止している。個人的には、集合住宅は無理して町内会で網羅する必要は、広報物の配付や、町内慶弔規則についての周知、町内夏祭りの案内他以外については特に無いと感じています。	◇[無理のない運営や活動] への転換について 町内会長の担い手がすぐに見つかることは稀であると思いますが、その原因は、会長職務が多岐になりすぎていて敬遠されることが一因だと思います。私の町内会では、会長は、自動的に兼務する職務（防犯、防災、交通安全、保健衛生、防犯灯管理、公園愛護）がありますが、この兼務の職務も町内の範囲だけならいいのですが、自治協レベルでそれに関係する業務も担当しなければなりません。防犯、防災等は、できれば町内会で専任の役員を置きたいところですが、なかなか人員が確保できませんし予算の問題もあります。 一方、今年度はコロナ対策で行事がほとんど実施されなかったため、これまで町内会長が忙しくてあまり対応できなかった諸問題（管理不全の空家空地、居住するも管理不全で近隣トラブルになっている世帯 他）について対応する時間的、精神的余裕が確保され、実際に一定動くことが出来たのでだいぶ改善につながりました。空家は当町内会では10戸あり、空家が長期化し放置状態になるところもあり、放っておけない状況です。行政にも相談しましたが、地域活性化の行事に比べ、こういった問題については行政のサポートは足りないと思います。現状では結局、その町内会（役員）の責任、覚悟で解決していくしかありません。 自治協レベルでいろいろ行事等を組んで、地域の活性化と親睦を図ることはよく理解できますが、少ないスタッフで切り盛りしている小規模町内会では、却って負担になりかねません。今後、町内会役員が高齢化していけばなおさらです。それで、できれば自治協レベルの活動も毎年のように年間行事として多岐に組む必要はないと考えます。 その一例と感じているのが校区敬老会です。 毎年、校区全体で敬老祝賀会が開催されますが（今年度はコロナで中止）、その経費はもちろんですが、準備にかかる手間も相当です。各町内会でもその準備は大変だと思います。一方で、当町内会でも対象者には記念品を毎年お渡ししますが、校区の敬老会に参加する割合は3割にも満たないです。（参加したくてもできない方も多数）各町内から自治協へ収められた分担金や社協協力金の一部も校区敬老会の運営に使われていると思います。が、最終的には、広く全般的に敬老対象者に予算が使われていないと感じます。個人的には、校区全体の敬老行事はせずにその分、各町内会の実情に応じたやり易い形での敬老行事や記念品にした方がいいのではと感じます。高齢化する対象者が今後はあまり増加しないとしても、近い将来には費用を負担する世帯（町内会費を負担する戸数）は減少しますので、このままの形でしてはいずれ無理がでると思います。こういった簡素化を通して、予算的に余裕がでるなら、敬老行事に関われない高齢者や見守り対象者への施策の強化にまわしていただければと思います。 現在の当町内会費（年額10、800円）をこれ以上値上げすることはできませんし、できれば値下げできればと考えます。世帯数の多い町内会に比較して、小規模町内会はどうしても高額にならざるを得ません。 町内会活動の拠点となる集会所の維持についても、いずれは建替えをしなければなりません。行政の補助はそれほどなく、それなりの積み立ても必要で、通常の町内会活動にまわす予算も、最終的には費用のかかる行事を減らすことでしか対応できなくなる可能性があります。こういったことを考えると、お隣の町内会との合併も視野に入りそうですが、それはそれで規模が大きくなった分、いろいろ問題が出てきそうです。ですが、将来的には現実的に対応しないといけなくなると思いますので、行政側からもアイデアを掲示していただければと思います。 以上
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---

134	○			○			○		町内会の役員の中で、会長、副会長、総務（書記）、会計などの経験者は地域でのつながりの大切さを理解していると思われますが、それ以外の順番が来たからなった役員はほとんど関心はないようです。	今ある（市内の）町内会・自治会の組織は、戦前の“隣組”と違って、各人（構成員）の自由な生き方や生活を認め合い、承認した上での集まりですので、当然地域共同体である自治会への参加拒否者もいるわけです。 ※校区行事（特に体育行事）が多すぎるので、今実施している行事を2分の1くらいにしてほしい。各町とも「体育委員」の選出で苦勞しています。（選手を集めるのが大変） ※自治会費をこれ以上アップできないので、運営基盤の強化は難しいです。
135				○		○		○	自治会への住民参加は条例などで義務づけすべきであると思う。	地域の担い手不足としているが現状では60代・70代の参加が少ない。 今後は有償ボランティアを行政でも考えるべきである。（一部社協では有償ボランティアの必要性を認めている）
136	○	○		○						
137	○			○	○				町内会が任意の組織であるため、加入促進が困難であるため、条例化を検討していただきたい。	現在コロナ禍で活動の中止や延期しているのが現状である。早く終息すればいいんですが、これからは、コロナ禍でも必要とされる自治会、自治協議会を検討していただきたい。
138	○	○							今の時代、自分の関心事以外のことに對して、ほとんど見向きもしない。子どものこと、車運転のマナー、政治（選挙）のこと、等々。そういう中で共有できるものを探するのは困難だが、地域・町内会によって、何か共有できること、共感できることがありはしないか？それを発見するには、ある意味プロが必要か？そういう試みが必要ではないだろうか。いわゆる埋れた「人材」を探すことか？	1. 役員をすること15年目。前任者は20年！世話人制度で多額の報酬が無くなって退任。そこで問題は、今役員を引き受けてくれる人がいない。町内会長、公民館長、町内会長をやること15年。80歳になっても引退できない。豊かでない周辺の市では町内会長は、やめる人がいない！理由は明らか！市から多額の報酬が！これを福岡市が知らない筈はないと思うが、いかが？間もなく、町内会は消滅するのではないのでしょうか。今の市の姿勢であれば、それも仕方ない。 2. アパートなどの建設を申請する業者に、その町内への協力をしっかり要請する方法・施策を講じて欲しい。「地域コミュニティ」の言葉が白々しく感じるのは、私だけでない筈！ 3. 「自治」という言葉を利用して、地域にいろいろと注文することが多い。年々、そう感じていますが、いかが？ （1）①住民の理解の促進←これを促す必要。福岡市は、通勤族が多い。そういう人々にどう働きかけるか？不動産関連の協力が不可欠。→そのために行政は、何が出来るか、何が必要か？（町内会は、何もできないのが実状！）
139	○	○	○		○			○		公民館、自治協議会とその構成団体、自治連合会、自治会に加えてボランティア等の組織があるが、混在し、競合している。住民にとって事業実施主体がいつれか分からず、仕組みが見えず、組織への参加も協力も、新規役員のなりでもない。事業も組織も役員も旧態前のままで衰退の一途と思う。 町世話人として地域づくりを推進してきた自治会は、市のお知らせ等の受け皿でしかなくなり、市の利便組織でしかない。また、プライバシー尊重の名のもと市政もオートロック状態である。そこに市政は見えてこない。 自治協議会に対する交付金でなく自治会への交付金とし、下から自治協議会を組織する真逆の方式がまちづくり推進の一方策と思います。
140		○		○				○	地域コミュニティの活動内容を発信するツールとして、掲示板を増設し、地域住民へ告知することも必要と思う（自治会・町内会への加入が減少している中、回覧だけでは無理）	自治会・町内会へ加入する住民が増えず、逆に減少（脱会）する傾向にあります。加入する事で活動負担が大きくなる、又は町内会・自治会の高齢化及び固定化（役員等）で入りづらい感があります。 自治会・町内会や自治協議会の次世代への世代交代がしやすい対策を講じてほしい。（例えば役員等の定年制とか）
141				○			○			
142	○	○	○	○	○	○	○	○		
143	○			○					特になし	
144	○			○					地域コミュニティの価値が大切なことは分かるが、ワンルームが多く関心も無く、働きかけもしにくい。	頑張っている自治会活動を広く住民に知らせ理解して、参加してもらいたい。その手段としてネット、SNSを活用するのも良いのではないのでしょうか。

145				○	○					(2) 地域コミュニティの価値（大切さ）の共有について…「2(2)課題、5(1)条例」関連 ○町内会の制度上の位置づけ、条例などによる位置づけについて 制度上明確な位置づけがないことが加入呼びかけの妨げになっていることは考えられるが、制度上位置付けるとなると町内会の組織・運営の明確化(厳格化)を伴うことが考えられる。 この場合、組織・運営の明確化(厳格化)に対応できる町内会がどの程度あるか？ 例えば、マンション住民が多い町内等では、入居住民も了知できず、住民総会は困難（多数の委任状集めは困難）なことから、最高議決機関を隣組長等の役員総会としている所が多いと思う。 隣組長等の役員総会が住民総会(最高議決機関)として制度的に認められるのならよいが、従前から言われてきた委任状を含めた全員参加の総会が最高議決機関として制度的(法的)に必要なとするなら、その実現は困難な状態です。 さらに、隣組長の確保も細り(例えば隣組長の過半数が同一人に固定)、町内会長の担い手も乏しい町内会にあっては、例えば実質町内会長単独の実行組織となった場合には町内会の維持を最優先とし、予算・決算の現状維持の適正執行を最大とした運営となります。 このように十分な実行体制がとれない町内会が一定数存在していると推測されますので、町内会長の業務量の適正化・負担軽減を図ることが大事なこととなっています。 従って、上記のような課題を抱える町内会が存する実態に鑑み、条例に位置付ける場合は、町内会の役割のみに限定し、町内会の組織・運営に及ぶことは避けてほしい。 なお、当町内会の現状は明るい展望が持てない状況ですが、検討委員会により明るい兆しが見いだせればと思っています。	○「5(3)市の意識改革等」の例として町内会等の負担軽減から次の二つの事務簡素化。 I 防犯灯工事費補助金申請手続きの簡素化 町内会の負担軽減を図るため、市が行ってよい防犯灯設置を町内会が代行しているとの発想に立ち、電柱共架防犯灯の道路占用、警察協議・使用許可申請を不要とする。 1 この1～2年で、工事費補助金交付決定の早期化、市において防犯灯賠償責任保険一括加入を図られ、感謝しています。 2 この歩みを進めて、電柱共架防犯灯の道路占用、警察協議・使用許可申請を不要とする。 (1)防犯灯は、これまでの普及度合から、必要性、公共性、公益性が市民に十分理解され、電柱共架の防犯灯が道路(交通)行政の懸念材料となる要素はない。 (2)設置する電柱共架のLED防犯灯は小型なものであり、取付位置(高さ：車道4.5m以上)も業者が承知していることから、設置箇所が道路交通を阻害することは考えられない。 (3)電柱共架の工事時間は20分～30分程度(1か所)であり、工事が交通障害となることはほとんど考えられない。(仮に交通障害になった場合でも20分～30分程度の軽微なもので、このようなもので許可を要するとしなくても良いと考えます。 本件のような場合は、法令を厳格に適用するのではなく、市と警察で協議して許可の不要とするような運用をしていただければと思います。) *警察の協議・使用許可が必要であれば、市と警察で、市全体の電柱共架の防犯灯についての事前協議・包括許可(市と警察で協定)とし、町内会、業者に負担をかけないようにする。 (警察許可は厳格で、時間を要し、業者の事務負担は工事費の増に結び付く。) (4)高齢者や不慣れな者(業者含む)にとって行政の手続き(市・警察)は煩わしいものとなっており、市に補助金申請はせず、電柱共架のLED防犯灯を設置している町内会もある。 (5)仮に、取付位置等が法令違反の状態の物があつた場合でも、電柱共架LED防犯灯は小型な物なので、道路交通に支障をきたす恐れは少なく、速やかに是正できる。 (小型な電柱共架のLED防犯灯は、取付位置等の速やかな是正が可能なことから、事後対応でも非難されることはほとんどないと考えられます。) 必要な場合は、市(区)において道路パトロール等を行い、道路行政の充実を図ることも考えられる。 II 空港周辺共同利用会館の使用許可申請の簡素化 空港周辺共同利用会館は、校区住民の利用施設であり、使い勝手の良さは大事。 当校区では、会館は、自治協、各種団体、近隣町内会等公共性を有する団体の活動拠点となっており、その活動を支援する観点から、当該団体の使用許可申請書は不要とし、口頭での使用許可申請でよいこととする。 ささやかなこととは言え、申請書記載の手間が省けることから、当該団体は、会館をより身近なものとして気軽に気持ちよく使用できると思いますし、ささやかながら紙の使用量の削減にもなる。
146					○				○	(条例などの位置づけ)がないと任意団体である自治会や町内会は加入も任意となる。入らない世帯が増えていくと思われる。早急に対処しないといずれ任意団体は弱体化し対応困難になると予想される。	老人クラブはもっと切実に感じている。老人クラブ連合会の一員にならずとも、公民館や老人福祉施設（早良区は早寿園）は自由に入会出来るシステムである。そこで条例があると思われるのは家庭菜園の申込みをした場合、老人クラブの会員であることが条件となっている。このような条例を定めるには市議が動かないと出来ないのか。
147	○	○			○	○				・上記3項目とも、大事な事ですが、高齢化と共働きの為、協力者の減少が各町内とも見受けられます。それに対応する方策も考えていただきたいです。条例には、市の支援をどのようにするのか具体的に入れていただきたいです。	男性・女性協力できる体制になるといいと思います。
148		○							○	現在はコロナ禍にあり、なかなかコミュニティがむずかしい中、人があつまらなくても出来ることも考える必要があると思います。	ナシ
149	○					○				特になし	特になし
150	○		○					○		防災一災害時の情報発信が住民に届くように。	特にありません。
151	○				○				○		
152									○	なし	なし
153			○	○						ナシ	ナシ
154		○						○		多様性を認めあう（※『ユニバーサルデザイン』の浸透、各校区から特色をつけての発信等如何でしょうか？）行事（アンケートにて募る）（→ある行事に複数の団体がコラボする→思いもがけないような展開が生じるかも。）・講演会等の実施回数を増やす。	
155	○									地域コミュニティは「子ども」「シルバー」を中心に行われてきましたが、私の町内では、20年前に「子ども会」もなくなり「シルバー」の活動も校区を主体としています。市街地では共通のコミュニティは難です。	
156	○	○			○	○	○				
157	○	○			○					情報発信のための回覧板の発出、自治会の開催の呼びかけを行っても関心を持ってくれない状況にある。	地域コミュニティにおける現状 住民同士のつながりが希薄化（近隣の人とつき合うことをしない） 町としての活動に参加の気持ちが無い 活動等への参加者は固定化し新たな参加者が出来ない ビル（アパート）等の住人が多く、住民が都会化（人と人とのつながりが無い）している現状にある。

158	○	○	○			○				
159		○		○					若い人がもっと入って来やすいように、地域活動を知ってもらえるようにネットの活用を更に推進すべきと思う。自治協、公民館のみならず各種団体やPTA等、自分達の活動をもっと広くオープンにするべき。JINDO等のWEB作成の細やかな指導や更新のフォロー等が市からあればうれしい。	私の住んでいる地域は都心で現在はワンルームマンションとホテルが乱立。昔から住んでいる人は少なくなり、子育て世帯も子の成長と共にアパートが手狭になると引っ越す人が多い。こういう環境ならではの20代・30代独身者でも参加したくなるような自治活動にしていきたいと以前から思っている。スポーツ、祭り等、コロナ収束後ではあるが、縁あって同じ町内の住民であるから、ひと時でも心通わせ、街を好きになってもらいたいと思う。町内全活動に長く長老が居座ると風通しも悪くなり、後継者は育たず、結果、コミュニティの崩壊につながりかねない。
160	○	○					○		地域の歴史や参加しやすい行事等を通じて自分の住む町への愛着を深めることが、必要だと思います。	町が大きくなると、人の流入流出が多くなり、どうしても、我が町という感じとかけはなれてしまう。いろいろな機会に、町になじんでもらう工夫が必要だと思います。
161		○			○		○		地域に密着している・学校（小中高）・企業会社・商店連合会・新聞社などと話し合う機会と場所があれば助かる。情報提供をお願いしたい。	・本中間報告による施策は、大変良く検討されていると思う。 ・地域コミュニティの大切さも充分理解できる内容となっていますが、各地域コミュニティで抱えている問題は殆ど同じ項目が多いと思われるので…例えば町内会・自治会などの担い手が少ない、町内会に加入したくない（町内会費を払いたくない）など。行政の支援が欲しい。 ・地域内の企業商店であっても、こちらからお願いしていないと情報提供はして頂けないことが、分かりました。（孤独死事例あり）
162	○	○							地域とその地域にある企業とのつながりがうすいように思う。企業内に地域担当者を作るとか、参加を義務づけるとか。	・公民館の予算が少ないのでイベントに限りがある。 ・たとえば企業の人（損得なしで）ボランティアで住民にスマホの使い方や、パソコンの使い方、その他いろいろな講演会をひらいてくれたら住民は助かると思う。 ・自治協の防災部にも企業の人のチームがいたらよいのでは。
163	○	○		○		○		○	現時点での自治協議会運営体制は高齢層中心の組織となっている。若い年齢層も参画できる環境づくりの取り組みをおこない、夫々の力を活かすことが望ましい。 これまで地域で活動したノウハウやこれから行いたいことの意見を持った方に参画していただき情報の発信力も取り入れることが肝要です。	・福岡市からの助成金は人口による一律的な配分でなく地域特性や地域夫々の提案による配分を検討して欲しい。自治連合会組織から自治協議会組織へ移り変わる時に時期尚早（提案が困難な地域やこれまで独自に取り組んでない地域などあり自治協議会の運用が軌道に乗って来たら検討する）とされていたが、そろそろ再検討しては如何でしょう。
164		○				○			私は町内の生活環境の整備に特に注力してやってきている。毎年、総会時に会員からアンケートを求めて、それをまとめ、県事務所、区役所へ文書をもって要望（担当官に現地調査をしてもらう）し、特に区は文書を持って対応を回答してもらい、県も区も大方改善対応してもらっている。（感謝しています）この改善状況を毎月会報で会員に報告している。	①働き方改革の時代、今や、70歳まで働くことが当たり前な時代（75歳程度が視野にある）になっており、その事を社会は求めている。 したがって、地域活動に参加できる人は、はるか高齢者（後期）にならざるを得ない。この年齢層の人に、地域ために一汗かいて下さいと言っても、体力的・精神的に活動できる人は限られて来る。 ②町内会に加入を進めると若い人は義務ですか。法令上の縛りはないでしょう等、個人の自由の権利が強い。その上、役所に聞いたら、あなたの自由です、強制ではありません等の回答がなされている＝これがネックである→（1）の①関係 今は町内会、自治会の加入率は低下の一途ではないでしょうか？ （1）について ⑤公民館による支援や連携の推進→当校区は、しっかり支援・連携は取れていると思います。将来的に館長・主事が交替しても、現在の関係が保たれることを期待したい。 ⑧自治協議会の運営基盤強化→いずれの項目も必要で、また大切な事ですが、○○は⑧である。2年ないし4年程度で役員体制が交代（大方）しては基盤はできない
165			○						「福岡市共創のまちづくり」を一言で言えば、福岡市と私達自治協議会が協力して「福祉の増進」をめざすものとする。その位置づけを法律（条例）で定めてしまうと私達の活動が伸縮性、柔軟性を失うことになりはしないか？ 福岡市の独自の活動ならば条例で定めるべきであろうが、福岡市と自治協議会の協力を法律の枠で固めてしまうと形の中でしか活動できなくなり、しかも義務、責任が重くのしかかってくるのではないか。 世の中の諸事を全て法律で覆うのは不可能である。そこに私達の活動の意義がある。即ち、福岡市が手の届かないところを私達の活動で補い、福岡市と自治協議会が一致協力して「福祉の増進」を進めていく。 そのためには法律（条例）はある程度に止め、法律（条例）を前面に出すことなく、福岡市と私達自治協議会の信頼関係を構築することが最重要であると思う。それが「福岡市共創のまちづくり」を押し進めることになりはしないか。	「福岡市共創のまちづくり」は福岡市と自治協議会が信頼関係を築くことが最重要です。この信頼関係があってこそ「福岡市共創のまちづくり」は実現すると思います。100%とは行かなくても緊急時などは素早く対応できるのです。 例えば昨年台風時、私は隣の一人暮らしのおばあちゃんに、「おばさんの家よりもうちの家のほうが風に強いから泊まりにおいで」と誘いました。これも自治協議会から「一人暮らしの老人の安全確保」を会議で通達を受けていたからです。もっとも私の場合は通達を受けなくても、一人暮らしの老人と常にコミュニケーションをとっています。私の町内は私に限らずですが、 ともあれ福岡市と自治協議会の信頼関係があればこそです。
166	○			○	○				○	

167	○	○	○		○		○	①現在ほぼ各家庭課が進み隣りに住んでる人さえ分からないのが現実だ。町内会で目指したのは先ずは挨拶を ②私の町内会では令和2年度より自治会長様よりサロンの立ち上げを勧められて4月より始めました。年齢問わずに1日楽しく、健康に暮らせたいと思い、民生委員と一緒に支え合いが必要だと思います。 ③地域を創るのは、校区自治会の協力を基に、各町内会会長の情報発信が必要役目と思います。	各家庭環境があるが多様な事業計画を取り組み子供から高齢者が参加し易い活動を取り入れ住民の理解、協力を求めて、自治会を中心にすすめては。
168	○	○	○	○				地域活動をする上で「人と人のつながり」は非常に大きな要素だが、個人情報保護の問題で難しい面が多々ある。	地域活動への参加が年々希薄になっていくのは身をもって感じる。もちろん高齢化もあるが、特に子供の参加数が減っている。絶対数の減少もあるだろうが、大半は親の都合によることの方が大きいと思われる。いろんな策を講じてみたが、なかなか良い方法が見つからないのが現状だ。
169	○	○		○	○		○	自治会・町内会の活動に市の強力な援護が必要だと思います。地域が全部、責任を持つのは厳しいです。	自治会は、任意の組織の為、加入の呼びかけが出来ない。 分譲のマンションや、建売住宅の入居者に対し、分譲販売業者の協力が無いので、大変苦労しています。当自治会は、育成会は、今まで全員が入会する様になっていまして、育成会会費は、徴収していません。自治会費で全部育成会の費用は、賄っていますので、苦慮しています。
170		○					○	①情報発信：住民に地域のことを知らせる、周知することは大事なことではあるが、現状は発信する側の自治協体制が十分でない。 また、情報発信の手段は市広報誌も含め多種にわたって見る人が少ない。 校区レベルでの発信の一つとして、「公民館だより」を活用し(裏面で良い、できれば両面カラー化)、地域広報紙として一月一枚の読みたくなる「自治協だより」を各戸に届くように考えたらどうだろう！ また、広報紙編集は片手まではいかない。ボランティアで限られた時間で企画から取材、編集印刷など紙面に残ることを考えるとハード。広報紙は自治協のなかに編集ができる担当者を置く(場合によっては有償)ことが必要ではないか。 又、各団体でそれぞれ広報紙を発行していることもあるが、作れば云いではなく、見てもらえる広報誌とするなら「自治協だより」で一本化すれば、校区自治の情報わかり住民の期待は大きい。 いま一つ、インターネットの広報発信もこれからは必要とされるが、これも入力編集などまとめる人材がいないと可能性は厳しい。(ある程度有償専従化) 編集・入力操作など発信できる体制づくりと人材確保の必要がある。 ③条例などによる位置付け：実際、地域活動しておもう、活動は自分たちの住んでいる「まち」「ところ」を安全により良くするために、住んでいる人たちで活動することは当然のことである。 一方、地域活動はとらえ方によっては、公共性アリとおもう、福祉・交通安全・防災・環境衛生・青少年などどれを取っても「人」のためである。 地域活動は、アル意味においては公務であって、公共で手の届かない分野を地域(町内会・校区)が細かに活動し、住みよいまちづくりをしているのではないか。 町内会にあっては、われわれ活動が任意団体であるが故に町内への加入力・説得力に乏しく新規者の加入に苦慮している。(特に賃貸集合住宅の管理業者難義) 云いかえれば、町内会の活動経費は加入している人からの町費・負担費で加入していない人の分を補って「住みよいまちづくり」を運営しているのである。 このことは、町内会でしばしば苦言を云われ苦慮している。 不公平である、住民の希薄化が当たり前になってしまうでは困る。 これから地域活動は人がいる限り未来永劫のもの、また、町内はコミュニティの源流である。条例などで町内会加入の義務的な位置付けをしていただき、活動の必要性を認識してもらうことが求められる。地域がより良く進展していくためには、条例化は是非〃実現していただきたい。	地域活動の体験から感じたことを意見として箇条書きで述べさせて頂く。 ○これから地域がもっと取り組むものとして、 ＊高齢化対策：特に独り住まいの方が多くなった。福祉協で「ふれあいネットワーク」の制度取組みがあるが、機能が十分なのか？これからは少子高齢化のなか町内が力を入れて独り暮らしの方の面倒をみるべき、今の「ネットワーク制度」をもっと経費と具体的行動を指導し、町内地域が十分活動できるようにしてほしい。 現在、独り暮らしを把握するなら「避難行動要支援者名簿」から確認してくださいなど町内での把握もできていない。行政の指導が不十分です。この制度が機能すれば独り暮らしの高齢者の病気の早期発見、ご本人に声掛けることでの「生きがい」対策に繋がるし、災害時の避難誘導など町内での的確に対応できる。 ＊地域の公園管理について 公園は、これまでの行政サイドで細かに整備され利用者として感謝してます。 近くに公園があり見回りなど立場上時々いきます。子ども達、親に連れられた幼児など天気の良い時は沢山の子ども達で賑わっていい光景です。 しかし、一方砂場はゴミや落葉、遊戯施設は砂や朝露などでぬれて利用できない状態です。 公園は毎日利用する憩いの場です。幸い近所の女性の方が、毎朝清掃してくれて、いつも綺麗な公園で利用でき有難いし、利用している方〃も喜んでる。 住民のために作ってくれた公園は、清掃程度の管理はその地域ですべきではないかと思う。 こういった公園は主として近隣の住民が利用している。管理は行政が何もかも管理するのでなく地域に清掃管理の義務化などできないかと思う？(清掃の有償費化も含め) 地域活動の中でこの辺の公園清掃の活動団体(環境美化活動)がないのも一因している。(公園愛護会など月一回程度では、公園は綺麗にならない。日毎の清掃が必要) ＊子ども育成会の活動は、子どもたちの成長していく過程の中で最も重要な情操教育である。 しかし、育成会組織(町内・校区含む)、活動母体が解散したり、役員のお世話する人たちがいない理由で組織が消滅している。 困るのは子ども達です。育成会活動は子どもたちのコミュニティづくり、友だちづくりの根幹をなすもので重要な活動です。 “子どもを育む”は学校・家庭・地域とよく言われるが、正に地域の子どもの会活動は子どもの健全育成に欠かせない活動です。子どもの一生の記憶の中にこの子ども時代は一番鮮明に記憶に残るものです。子ども達は、催しなど子ども達同士の「集い」を待っています。 青少年健全育成活動の中で、子ども育成会組織活動の必要性、重要性を強調してほしい。
171	○							○	
172		○		○			○		
173	○		○				○		
174		○	○						
175	○	○					○	○	住民理解の促進と地域コミュニティの大切さを住民に伝えることが大事だと思います。そのためには市との連携が必要だと感じています。
176	○	○					○	○	共通認識をしっかりと、やっていかないといけないと思っています。

177	○	○		○			○	・地域の活動の殆どがボランティアによって行われるとして、ボランティアの活動の原動力となるものは、何なのでしょう。多少の飲食の喜びは別として、その活動の喜びをその対象者と共有できるところに有ると思います。では今なぜ多くの元気な高齢者たちがいるのに何故、その目が地域に向かないのでしょうか。オヤジの会等で頑張っている父親たちが多くいるのは知っていますが、何故その他の父親、母親達の目がその他の子供達の方を向かないのでしょうか。昔遊びであんなに喜んで遊ぶ子供達の目が、地域の高齢者の方を向かないのでしょうか。高齢者の方達はイベントの中での自分達の居場所が判らないのかもしれませんが。イベント毎に昔遊びコーナーを作って、高齢者と子供達の交流を計ったらどうでしょうか。	・行政と地域で共創のまちづくりは理解できますが、どうしても地域はアイデアもマンネリ化していると思います。行政の方から他の地区の例とか、アイデア等を積極的に教えて頂くと有難いと思います。
178	○	○		○	○		○	少子高齢化が進む中、町内会の取組は、大変難しくなっている。地域コミュニティの価値の共有の中で、一番大切なのは、情報発信だと考える。積極的に市の方から町内に出向いて、地域コミュニティの大切さをアピールしてもらいたい。	・地域住民にとっての最大の関心事は、地震や台風等の災害に対する安心、安全な環境作りだと思う。 安心・安全な町づくりが基盤となつてこそ、次の段階として、地域コミュニティの共有へと進めていくことが可能になると思う。
179	○			○	○		○	地域コミュニティの価値の共有のために市が行うべき取組みとして、①②③のいずれも重要ですが、特に③「条例による位置づけ」をお願いしたいと思います。その理由等は次のとおりです。	〇〇団地の自治会加入率は、67％(338/507世帯)です。その内訳は、分譲入居者は92％(272/297世帯)、賃貸入居者は31％(210/66世帯)となっており、賃貸入居者に対して自治会加入の必要性をどうやって働きかけるかが課題となっています。自治会は、子ども会、老人会、安全対策民生委員の選出、国勢調査員の選出など単なるコミュニティ活動だけでなく地方行政の支援活動も担っていることを考慮すると、自治会や自治協議会を市の条例などできちんと位置づけ、地域住民が自治会に加入する必要性を明記することが大事だと考えます。
180	○	○	○		○		○	・現在、公民館news&自治協だよりを毎月、町内の住民に配布しているが、反応が不明（校区の情報誌として） ・自治会加入者又未加入者（本人の意志で）をいかに自治会加入の魅力を伝えるには…！	・地域での高齢化・コミュニケーションの希薄化…対処方法は？ ・自治会加入の促進をと…！特に若い人（家族）は希薄化の状況、任意加入の為、いかに対処するか…！ ・校区活動（自治協議会主催）又自治会の親睦行事にも住民の方が無反応多し…（参加者が少ない）
181	○	○	○	○	○	○	○	地域コミュニティの価値の共有、いかに地域住民に参加していただくか現状では、活動の原点は高齢者であり、中間層若手をいかに参加させ、活性化することであろう。	・町内会役員の引き受け手がなく苦勞している。 ・時代の流れか、子供の少子化、夫婦の共働きなど若手が参画する機会が手薄になり、今ひとつ活動が盛りあがらない。
182	○	○			○		○	どんな立派な制度を作っても、住民の参加が見込めないので、「絵に描いたモチ」となる。	平成15年度まで実施されていた「町世話人・特別公務員」制度に戻ることを検討してください。ボランティアで人の良心に頼る時代はすでに破綻しています。
183	○	○					○	現在、多くの情報発信は行われているが、地域住民は全く関心がない人が多い、町内会に加入していない人も多い。住民を集め徹底的な再教育を行う必要がある（半強制的）	自治協、自治会、町内会等の団体役員のなり手がいない。「世のため、他人のため」に生きるという人間の本来の姿が判っていない。※「自分さえ良ければ」の考えが多くの人に見られる。つまり純粋な馬鹿がいないことが大問題である。精神的に貧しい人が何と多いことか。一度役員を担当すれば友人も増えるし自分の勉強になる喜びを味わうことができるのだが…。
184			○				○	消防車を〇〇まで通すための自主管理道があります。作られて30年以上経過しているために、自主管理道の意味も住民が理解されてなく、作業も94才の人が1人で長年して来た。私も手伝うようになったが、範囲が広くてどうしようもない。どうしたら…、みなさんの意見を知りたい。	私は熊本地震の時、行方不明者が10名少ないのでビックリしました。もしあれが福岡だったら、うちの町内だけでも30人もでただろうと思います。それで、町内の人にあなたの家の向う三軒両隣を知っていますか？この紙に書いて下さいと紙を配りました。貴方は他人の情報を集めてどうするのですかと云われましたが、あの神戸の地震の時に命を救われたのは隣り近所の人に声をかけられて助かったんですよ。あなたも近所の人と親しくしなければ助けられませんよ。防災の関点から町内の河川や道路の清掃しながらチェックして対応を考える。年に3回程、色々の清掃の企画し、支援をして欲しい。
185	○	○	○		○		○	「地域コミュニティの価値の共有」非常に大切と思われる。この問題を解決していくには個人情報の開示が必要と思われる。	個人情報について 警察、消防、民生委員、防災、PTA、子供会、町内会、老人会等各組織毎に名簿が作成されている。しかしながら個人情報の保護により各団体間のつながりがありません。せつかくの情報が生かされていません。ある程度の情報開示が必要と思われます。
186		○		○	○	○	○	情報発信や制度面の整備もさることながら、地域の最重要課題は人材掘り起こしである。参加が少ない市職員や教職員が住まいの町内会・校区活動へ一歩踏み出せるよう、福岡市が体制づくりや活動支援を確立することが、まさに市と地域の共働ではないかと思います。	役員へのなり手が無い上、基本2年任期で交代する現状は発展的未來志向の活動や課題解決にブレーンとなる存在がいらないのが大きな課題です。また、各団体の長は事務負担が大きい。このため、永続的な事務局員を配置し、事務局を充実させるべきと考えますが、自治協も公民館も同じ地域コミュニティ活動を行っており、自治協と公民館を一体化した事務局にするなど抜本的な見直しをお願いします。
187	○	○					○	共有のための場づくり ・共創のまちづくりにおいては、現在は、自治協・自治会・町内会が市支援課と連携しているが	三つの会は殆どが仕事を退職したOBが中心。多様な主体との連携が必要なら、商業（商工会）、企業（会社・飲食業等）、学校関係者の役員等多様な価値観や生活様式を持った、様々な人々が共有することが必要ではないか。
188								地域コミュニティの推進のための地域人材の発掘が難しい（ほとんどがマンションの住民であることが大きな要因と思われる） 地域活動については、これという大きな課題は持っていません。（自らの健康維持と思って取り組んでいるので）	特にありません。（個人的には）自治協や公民館の諸活動に参加することによりその地域社会が十分な生涯教育を果たしていると思っています。

189	○	○		○					情報発信が急務だと思います。町内会の活動内容等はとてもアナログで町内会の関係者以外ほとんど知らないのが実状です。町内毎にホームページで活動内容等発信できるよう福岡市ホームページ内に各町内会のスペース提供、技術的サポートを求めます。	今後、地域コミュニティを維持していく為には町内会のシステムを見直す必要があります。町内会の活動内容は関係者以外ほとんど知らないのが実状で、関係者でも現役で働いている若い世代が参加するには報酬が少なく、そういった事が若い世代の町内会離れの要因の一つだと思います。 まずは若い世代の住民に認知してもらう為、各町内会のホームページを作成し情報を発信する事がが必要です。ホームページを窓口とする事で関係者以外の誰でも気軽に参加しやすい環境を作る事ができます。また、ホームページ内に町内の企業向けに広告スペースを設ける事で企業の参加も促す事ができます。 そして役員報酬や町内会費の水準の見直しを行い、明確な制度として整備する事で若い世代でも役員として参加しやすい環境を作っていく事ができれば、新たな担い手を確保していくことに繋がっていくと思います。
190	○	○	○		○		○	○	地域コミュニティの価値を共有し継続して行くために情報発信や共有のための場所づくりとして各校区（地域）の公民館が大きな役目を担っていると思います。行政、自治会、公民館が連携し地域の人が幅広く活用出来る様に、公民館をもっと多くの人に行政が積極的にPR（色々な媒体を使って）していただきたい。	町内会への加入、子ども会への加入等任意性を前面にしすぎると任意だからと加入しない人が多くなり、段々と先細りの傾向になっています。 地域活動を積極的にやればやるほどこの問題に頭を痛めます。町内会、子ども会への加入と推奨する印刷物等をもっと充実して欲しい。
191		○		○						
192			○	○	○			○	都心部においては、地域コミュニティが多様化しているが、情報が地域・町内会には入手できず総花的な広報や対策しか顕在化できない（20才～30才の子育て家族は学校、PTA活動で情報共有できるが、地域/町内会には提供ない、40～50才は仕事のかかわりで地域活動への参加望めない、事務所/店舗の理解はオーナー次第、高齢者は助けを求めている等々）各々、年齢や階層別に具体策を検討する事が大変重要である。（情報のオープン化を、どこまで、誰に、どんな方法ですか→ここ数年の未解決議題）	・町内会の位置づけを制度上明確にしてほしい。 ・町内会加入、校区活動への参加要請等の理解と勧誘に大変苦労している。 ・町内会長の自覚（地域ボランティアの要である）をうながす為にも上記位置づけ重要。 ・行政の地域（校区）の活動窓口である地域支援課からの各校区の共有できる情報の提供が少ない。 ・社会福祉協議会の活動が広く理解されていない（担当者、保健士等は大変努力している〈献身的〉が、自治協議会支援に比べて立場が弱い！）
193		○			○		○		地域コミュニティの価値の共有。①②③共に要望するもので是非に取り組んでほしいと思います。	
194	○				○	○			有事（災害、感染症など）における地域コミュニティの必要性をもっと市民にアピール（広報、啓発）すべきだと思う。行政は条例などにより、サポートするべきである。	新型コロナウイルス感染症対策を念頭にこれまでのような校区行事の見直しが必要ではないか？集合よりも分散、会場や開催日時も…。 そうなると運営スタッフが足りないかもしれないが…。
195		○		○			○		情報発信・共有のための場づくりという項目は理解できるし、必要なことと思う。条例などによる位置づけという項目は、「条例」という強い発信力がある言葉によって、よく理解できない、どういう形にしたいのか、よくわからない。	地域コミュニティの現状と課題の部分は具体的でよくわかる。私の住んでいる地域は確かに高齢化が進んで、また集合住宅でもあるので、近所に住んでいる人でもよく解らない場合が多い。それだからこそ、まちづくりは大切なことと思うが、市の支援が抽象的すぎてよくわからない。これから具体的な取り組みの検討を進めていくことに期待しています。
196	○		○						どの項目も大切ですが、個人の努力では切り込めない程の構造的大きな問題と思います。（もっと、行政が介入すべきだと思います。） 現状を十二分に分析し、個人、地域と行政の役割を明確にし、共同作業として、お互いの役割を相互に分析し、刺激し合い、お互い援助し合う必要がある。	終戦後、核家族化が進行し、3世代家族時代に必然的に備わっていた“地域の絆”が失われてきたと思います。 文化の伝承が困難となり、隣り近所の関係も希薄となり、高齢者の介護・医療費が増大、身近にはオレオレ詐欺を初めとして、犯罪及びITに乗り遅れた弱者が経済的にも危険にさらされている。 この様な自由主義、個人主義を謳歌して来た“ツケ”が回って来たと思います。この傾向が深化しており、利己主義が強くなり、”自分さえ良ければ…”となり、他人や地域を慮る事が少なくなり、“地域の絆・地域コミュニティ”が失われました。従って、現在セーフティ・ネットを張る事は、莫大な労力と費用が必要と思います。 この制度的変化とも云える大きな環境変化の中での困難である事を充分認識して取り組まなければならない程、基本的な課題と思います。個人の努力や善意ではどうしようもない。
197	○		○		○		○		「福岡市政だより」は大変役に立っている。意見としては発行を月1回にして良いと考えるが広告は必要か？市（7区）の情報を増やすと良いのでは？「公民館だより」身近な情報源として大変有効であり評判も良い。その他数種の活動紙が発行されているが紙面作りに大変苦労している様だ。	当検討委員会の中間報告は少ない期間で良くここ迄まとめられたと感服致しております。日頃の自治会活動にて地域コミュニティの大切さを保つにはどうすれば（アイデア）に苦慮している処です。
198	○	○					○		担い手不足が深刻	本年はコロナ禍の中で特に高齢者の居場所作りが困難になった。地域の建て直しが心配です。
199	○	○					○		情報発信が定形化することで反応も期待できなくなる。共有のための場づくりも公民館に頼らざるを得ない。	
200		○	○		○					
201	○	○	○	○	○			○	・人それぞれ価値感が違うので押し付けがないよう、伝える側も誘導の仕方を考える。 ・誰もが入りやすい、参加しやすいイベントや場所づくりがあったらいい。 ・イベントをする際には、情報発信方法を紙ベースやネットを活用していければよいと思う。 ・今日、様々な災害や事件等があるので、地域の方々を守っていく中でコミュニティの存在は大切。	・自分が住む地域を好きになっていただき、身近な地域、町内の活動に携わり、地域コミュニティへの理解を得てほしい。 ・地域全体が助け合い、楽しく活動できる町づくりができるようになってほしい。 ・子育て中には地域との関わりはあるが、高齢になるにつれて関わりが希薄に感じる。もっと全体的に関わりが持てる環境が必要と思う。 ・独居世帯や発達障害の方へ理解を持ち、優しく見守り、交流ができる地域コミュニティづくりが必要と思う。
202		○	○	○						

203	○		○	○	○		○	○		地域コミュニティの抱える課題で自治会・町内会での活動への負担感や責任感などが大きいためか、自治会長のなり手がなく大変困ってます。活動内容はかなりスリム化しているのですが、なかなか担い手は生まれません。町内全戸にすいせん状を配布しても戻ったすいせん状には誰もいないの回答ばかりでした。自治会長以外の役員は受けて下さる方がスムーズに決まったのですが自治会長を探すのは難しいです。	
204		○	○	○			○	○		コロナ禍で、ポストに受取り 紙の紙がはられたり、集合住宅にはポストにテープでとじられています（個人的理由）ペーパーをへらすことも考えて下さい。	子供達の公園を提供してほしい。 小学生・中学生スポーツしている中での幼児達がキケンに思う。 できたら楽しく遊べる器具を設置して下さい。 公園で野球など中止とあるけどスポーツできる場を提供して欲しいです。
205			○		○			○	○	30～40代の子育て世代の人にもっと情報発信し、知ってもらうことが、次世代へ地域運営を繋げていくために大切だと感じる。福岡には「ツナガル+」アプリがあるが、いまいち浸透していないように思う。こういうツールを活用すると簡単に情報発信ができるということ、その具体例や術などを、市民にもっと紹介してもらいたい。今すぐ年配者もデジタル&SNS世代に歩み寄らなければ地域の若返りは難しいと思う。それと、今は防災について、世代関係なく不安な人がたくさんいると思うので、コロナ禍で通常の活動ができない今だからこそ、待ったなしの防災対策についてもっと本格的&具体的に話を進めてもらいたい。（避難所運営・備蓄の推奨など） 今のままでは大地震が起きても、安心して避難所で生活はできない。（これこそ若い力が必要。）	『スリム化による負担軽減について』地域団体役員の立場から要望を。 現在、いただいた補助金で活動する際、必要なものを買う時に個人のクレジットカードは使用禁止になっている。理由は個人のカードを使用すると、利用金額によってその個人に還元ポイントが入るからとのこと。ただ、実店舗での買い物でもポイントがつく今のご時世に、それがそこまで重要な問題なのか非常に疑問に思う。中にはポイント目当てに自分のカードを使いたい輩もいるかもしれないが、コロナ禍で実店舗で買うことをためらう人も多く、ネットで買い物するのも当たり前（しかも実店舗より安く、品数も多い。）のご時世に、支払いをわざわざ代引きやコンビニ払い、銀行振り込みにして、仕事を抜けたり休んだりして対面支払いをしにいかねばならない「現役世代の役員」の負担のほうが、1000円当たり5円か10円もらえるポイントよりも問題だと思う。しかも代引きだとポイント還元よりも多くの手数料がかかり、本末転倒である。 例えばカードで購入してもよいと団体の役員が全員了承すればカードを使っても良いとか、一度の購入金額が少額（5万円以下など）ならカードでも可など、ある程度会計をする人間の負担の軽減も考えてもらわないと、度々平日の15時までに銀行に行くことが難しい現役世代には、かなりの負担であることを理解していただきたい。傍からは小さな事に見えるかもしれないが、結構切実な問題である。柔軟な対応を願いたい。
206			○	○			○	○	○		
207	○	○				○			○	地域コミュニティの大切を感じています。自治と公民館を中心につながりを持ちたい。	地域住民の老人はたいへん元気である。自治会内の活動を通じて若人と老人との接点を少ないための活動をしていきたい。
208	○	○							○	いろいろな情報が発信されていても、それを受け取ろうとする住民が少ないのではないのでしょうか？ 交流なども一部の住民に限られコミュニティが広がらないように感じます。	
209				○	○						町内全体的に高齢化しており、現役世代や子育て世代では役員自体もむずかしく、高齢者の人が担うことになり、若者とのギャップも有り、自治会に関わらなかった人達は無関心になっているのが実状です。 新しく入居して来る人や町内行事を面倒と考える人も有り、町内会脱退や入会拒否等有むずかしい限りです。市からの配布物だけ届ける状態です。
210	○	○	○					○	○	市民が将来に向かって、安心して日々の生活をおくる為にも、地域コミュニティの存在と役割は、必要不可欠である。しかしながら市内でも中山間地に位置する地域コミュニティに有っては、少子高齢化に伴う後継者の不在や減少、一人世帯の増加、有害鳥獣による生活環境の悪化等複数の負の実情を抱えており、問題点も様々であり、統一的でなく多様な対応が可能なものを願う。	地域の实情（特に中山間地地域のマイナス面）を踏まえ、将来（5～10年後）を場合、多面（空き家の増加、耕作放棄地だらけの農地、獣害等による自然環境の悪化、災害発生等々）に亘り悲惨な状況が待っていると考えられる。 地域の問題点の共有とその解決に向けた、具体的で且つ有効な取り組み対応を行政とコミュニティとが一緒になって、今こそ真剣に取り組むべきと考える。 その為には、まず地域コミュニティサイドに於いて、地域の問題点の把握と解消への取り組みの必要性等を十分に認識、共有することから始めるべきと思われる。 事業推進の為に、問題点の把握や解消等に向けた地域の活動を補佐し、アドバイザー的な役割を担える、専門的知識を有するコンサルタントの活用等も必要である。 広島市が実施している「共同労働」の取り組みなど参考になるのではないかと思います。
211	○	○	○	○				○		①情報発信は多いにこしたことはありませんが、特に若い世代の人達が個人主義的なところが大きく、地域活動に参加したくないように感じられます。新興住宅地が開発された地域では隣組組織が出来ずらく自治会に参加してもらえないのが最大の問題です。	
212	○	○	○							地域の独自性や個別性を重視した情報発信に対する施策が必要だと思います。	より多くの地域住民に支えられる自治協議会・公民館であって欲しいと思います。限られた方による運営は致仕方ない状況ではありますが、その負担が少しでも軽減できるよう、地域構成員の参加が必要であると思います。 今、何をしているのかを、少しでも多くの方に伝える方法を考える必要があると思います。
213									○	条例をあらたに考えるのなら、住民の自発的、独自のプログラムが出てきて、それを支援するような条項を検討して欲しい。	地域での活動の自立・自主的展望をどんどんのばし、それを支援できる仕組づくりを検討して欲しい。
214			○		○				○	③条例などによる位置づけを特に希望したい	地域コミュニティの担い手として、世代のバランス、男女のバランスが大切だと思う。 若い世代、女性の参画が容易になるように行政サイドの支援がほしいところです。
215			○	○			○			地域住民の人とのつながりについて、特にマンション住民に対して、市としてそのマンション管理会社（から管理組合への住民同士のつながりの啓蒙等）へ理解・協力を推進して欲しい。	今のコロナ禍が収束しないことには、コミュニケーションそのものが衰弱しかねない。

216										マンションやアパートの管理会社へのお願い。 管理会社の中に自治会費の徴収に協力的な会社と非協力的な会社があります。福岡市、早良区より非協力的な会社やその団体（管理会社）に協力依頼をしてもらえないでしょうか。お願い致します。
217	○	○	○	○	○		○			毎年、自治協はじめ多くの各団体代表者など対象にしては様々な講習会（講演会）を通じ学ぶ機会が設けられているが、そこで得られた情報や知識が十分に活かされているかという疑問が残る。地域コミュニティが必要なことは理解しつつ、町内会でもいざ役決め等となると、余分な負担や煩わしさから逃れたいという気持ちが強く新たな担い手が育たない。 役決め等も輪番制を導入しているケースが多く、輪番が近づくと町内会から退会するような場面も増える傾向にある。 これから地域を担って貰いたい若い人などに対して、どのような手立てがあるのかを示すような具体的な情報が欲しい。 一方で、何処の校区や町内にも市職員が暮らしていると思うのだが、地域行事等で殆ど見かけることが無い。 地元との関わりが煩わしいのか、避けているのか定かではないが、この辺りも一度考えてみる必要があるのではないか。 一度、全ての市職員に対し、自身が暮らしている町内会（自治会等）と、どの程度の関わりを持っているか聞いて欲しいと思うのだが如何。
218	○	○	○	○			○			・町内会は不要と考えている住民が多い。（町内会や育成会は強制ではない）それを理由に評議員や当番を拒否したり、業務を果たさない人もいる。 ・「共助」という言葉を最近よく聞くが、その必要性が広く住民に理解されているのか？それを住民に伝えることも自治協や町内会の役割だとしたら市役所はいらない。 環境美化推進委員会・健康づくり推進委員会・防災推進委員会・防犯推進委員会・交通安全推進委員会・体育振興会・青少年育成連合会・男女共同参画推進会・食生活改善推進委員会・社会福祉協議会・人権尊重推進協議会… 町内会長として大半の組織の行事への出席が求められるが、いつも顔ぶれは同じ。委員会の意味が全くない。会合はほぼ60歳以上。 世代交流もなく、参加者が固定、毎年同じ行事のくり返しで、1年目でうんざりしている。コロナ禍で行事の大半が中止になったにもかかわらず。 スリム化・広く住民が参加しやすい環境づくりをお願いしたい。
219	○	○	○	○	○	○	○	○		現在、地域に居住してある方達は、高齢化が進み、歩いて、買物に行かれる方が多いようです。又、子供達の通学路についても歩道が必要ではないかと思います。 歩道の拡張ということも価値の中に加えてほしいなと思います。歩道が無理ならば、狭い道路の一方通行の規制等…よろしくお願いします。
220			○				○			①テレビ・ラジオなどで町内会とか自治会とかの大切さを放映する ②校区内の大学・高校などとの連携で若い人の行事参加 ③町内・自治会への参加を任意ではなく義務とする条例 ※この頃、権利ばかり主張して義務を放棄している人が多い。 校区は高齢化しており役員になる人も高齢者が多く、子供の見守りパトロール、夜間の安全パトロールなど出る人が少くて大変。 大学のサークルなどで地域連携で青色パトロール隊などを区役所などが働き掛け車の提供とか、講習会とかをひらいて自治協、町内会と連携して子供の見守り、高齢者の見守り、夜間パトロールなどに役員と共に参加してもらい若い人達の行動力と知恵、意見などがほしい。 若い人達の行事参入が先々ずっと続く方法として提案します。
221	○	○		○	○		○	○		○自治会・町内会への加入が減少し、真のコミュニティ環境ができていない状況です。 もっと自治会・町内会や各種団体に対し、きめ細やかな支援を求めます。 それにより、地域住民の地域活動参加促進を推進して行きたいと思っています。 ○今、コロナ禍で高齢者などは巣ごもり状態なので、何か希望を持てる施策をお願い致します。
222		○		○		○				特になし
223	○			○	○					
224		○								町内会の役員交代で次の方を見つけることが大変ですので、スムーズに交代できる方法等あれば教えて欲しいです。
225	○		○	○						今は忙しい家庭、母子家庭、さまざまな家庭がある中で、地域に対しての関心が薄くなってきてるようです。地域コミュニティには理解して頂いてるだけでありがたく思ってます。ただ、これから役員を受け、地域のために活動して下さる方が減っている事が課題です。地域コミュニティは絶対大事な物だと思ってます。良い方法に向って欲しいです。
226			○	○						
227	○		○	○				○		○人とのふれあい、助け合い等を基調としたコミュニティの再構築に当たっては、住民に対する意識付けが大切だと思う。色々な機会を捉えて、コミュニティ活動の大切さを説く工夫が必要。 ○自治会運営には、会員情報の把握は不可欠だが、個人情報保護法の制約により、住民情報の把握が出来ていないことが実情である。結果として、自治会活動の先細りに繋がっていると思う。同法の弾力的な運用や法改正について研究や働きかけをお願いしたい。 ○今回の検討は、全体の方向性や指針を示す意味で期待しますが、地域個々の活動について画一的、地域横並びの活動指針や、地域の負担に繋がる押しつけは避けてもらいたい。

228	○			○		○	○		コロナ禍の影響もあり、特に共有のための場づくりの必要性を痛感している。 対策としての情報発信をいかにしていくかを考えている。 条例による位置づけをしても、本人の理解、協力なければ、スムーズな コミュニティづくりはうまくいかないと思う。	いかに継続的に自治を運営していくうえで将来を見すえた担い手づくりが大きな課題である。
229		○		○			○		私の住む地域の地域コミュニティは、情報発信、共有のための場づくり が非常に良く出来ていると感じています。	今後ますます地域コミュニティの役割が住民にとって重要になっていくと思います。 一人一人が喜びを持って活動に参加できるコミュニティが必要だと思います。
230			○	○					③条例などによる位置づけ 戸建、マンションにかかわらず、その土地に住いを構えたなら、必ず町 内会へ入るよう、条例で決めて欲しい。	校区内の町内会毎に集会所が必要だと思う。（空き家を市で借受けして下さるとか） 小さくとも、ちょっと寄り合い、会議できる場所が欲しいです。
231	○	○					○		・住民の参加及び認識が薄い 目にみえての活動が理解されていない	・高齢者世帯が多く住民参加型の取組みがとりにくい。
232	○	○		○	○			○	・校区の自治協議会は並列型のため、各種団体は自分の会のため（各種 団体の会長は一部をのぞき自治会長ではない）がんばっているが、横の つながりはあまりない。 ・自治会は別の組織なので各町内には活動自体連絡等がない。 ・自治会長は1～2期でかわる方が多いので自治協議会を知らない。	・うちの校区には公民館と会館があり、自治協は会館、自治会は公民館になっておりそれも連携がとれない要因 かもしれない。
233	○	○			○			○	自治会への加入者の減少、又、協議会に加入しない自治会が出ている。 自治会への加入率が下がれば地域コミュニティは崩壊する。 そのため、条例で自治会への加入を義務づけする。義務化が無理なら 「…自治会に加入するものとする。」等の努力義務を条例で定める。	単一自治会の不満は、行政からの依頼又は指示事項が多く役員の負担が多いとの苦情がある。 例えば、「避難行動要支援者名簿制度」について、要支援者に対する日常の見守りや災害発生時の支援活動が 要請されているが、自治会役員の活動能力を越えており、行政からの要請に応えきれないのが現状である。 行政から要請する場合は、地域住民で活動できる範囲内であるが検討の上で…
234			○	○						国土交通省による平成16年の「マンション標準管理規約」改正で、管理組合の業務に「地域コミュニティにも配 慮した居住者間のコミュニティ形成」が加えられました。しかし、災害時での活動を含めた地域コミュニティ活 動の中核として自治会を位置づけるのであれば、自治会を法に縛られない任意団体から、もう一步踏み込んで住 民全員に参加してもらうような方策、例えば、千葉市で実施している「地域活動を行うマンション管理組合を町 内自治会と同様の組織として位置づける」ような条例を整備すべきではないでしょうか。弱小自治会は、そのよ うな体制ができあがった後に、中間報告で提案されているまちづくりにどのように関わっていけるのかの議論に 参加できると思われます。
235				○		○	○		P3. ③価値を共有するための役割を早く条例などで位置づけをしてほし い。 ①情報発信をうまくするポイントやくふうをしっかりと、自治協議会に 教えてほしい。	検討委員会で書かれている事は、なるほどという事ばかりです。 ただそれをどういう形、やり方の具体的なアドバイスをはっきりした形で自治協には、知らせてほしい。（専門 家が指導してくれる機会を増やす） ボランティアでされている方が多いので、なかなか積極的には、入ってくれない人が多い。
236	○			○					情報発信について 「福岡市政だより」等を通して検討委員会の活動状況を広めて頂きた い。	当自治会において、自治会会員の高齢化により、会長他役員の引き受け手不足が心配。外国出身の役員とのコ ミュニケーション不足による自治会運営の難しさ。 コロナ禍において、昨年開催の自治会総会では、当自治協議会の指導により文書会議・文書決議に変更。初体験 でした。
237				○	○				条例があれば地域活動について考える機会となる。 参加しやすい環境を作る必要がある。 自治協の必須活動を地域に合わせて選択できるようにする。	自治会に入っても目に見えるメリットがなく仕事が増えるのみという意識がある。また、入らないことのデメ リットがない。 各事業所で定年退職者にたいするセミナーや社長からの訓示等で地域のために働くことを要請してほしい。
238	○						○		開かれた活動ができていない。無関心層がでてきているので自治会・町 内会は情報開示した活動をする必要がある。	担い手不足。若い人たちが参加しにくい状態が続いている。 できることをできる時間でみんなが少しずつ参加していただけるといいのだが。
239	○						○	○	地域住民で地域運営する安全で安心してこころ豊かに暮らせる生活への 実現が必要。	地域に求められている活動の統合化により仕事量を減らす必要がある。
240	○			○	○				条例は強制力を伴わないので関心のない人を地域活動に参加させること は難しい。 行政側からの地域に対する期待度が高すぎる。	市からの支援は自治協議会の運営を支援するだけではなく、青壮年層の活動支援にも取り組んでほしい。 行政から他校区の事例等を伝えてほしい。 地域活動は無償ボランティアという考えは変える必要がある。
241	○			○					条例などによる位置づけをしてほしい。	コミュニティの必要性を住民にアピールしていきたいがなかなか浸透しない。 新しい人の発掘もなかなか進まない。
242		○	○	○				○	条例化すれば入会促進のアプローチ段階では有効かもしれないが、強 制ではないので、突き詰めればあまり効果を過大評価してはいけないと 思う。 事務局は情報発信、共有のための場づくりに関してミーティングして いるが、全員で共有する時間が取れない。現状は、ウイングを広げ過ぎ の感があり、各自治会は高齢化の為、各部会への役員供給が難しい状況 であり、少しでも無理言うと脱会の話になるので寝てる子を起こさない ようにしているのが実情です。その分役員自治会長の役割が過重になっ ていると思います。	◎地域コミュニティと自治協の立ち位置について悩んでいます。地域コミュニティとは、校区全体ととらえて いますが、協議会は入会している自治会の集合体で、協議会主催事業をするとき必ず出る意見は、非入会自治会 と自治会内での非入居者の扱い方、協議会の姿勢としては区別せずに行きたいのですが、会員の中には区別しな いと入会している意味がない、特に自主財源が主となる事業はこの意見が多数あり悩ましいところです。他の校 区にも多かれ少なかれ同じ問題があると思います。どのような対応をされているのか聞きたいです。 ◎協議会制度ができて十数年になります。当初必須であった事業の見直しが、私が知る限り一度もないように 思います。校区の実状にあわせ事業の絞り込みをし安全安心を第一目標に人と人との緩やかなリレーションシッ プが醸成できるような参加しやすい環境づくりが出来ればと思います。 ◎行政依頼の削減も一考して頂きたいです。
243	○		○	○	○					地域（校区）考え、多文化共生のまち作りにも力をいれてほしい。

244			○					○	支援課が「公民館」「自治協議会」の役割をしっかりと理解し、相互の関係を上手にコントロールする姿勢が必要。 余りにも地域に任せすぎ→ある意味無責任	支援課が「館長」や「会長」だけでなく、もう少し「自治協議会全体」「役員会」等の運営に興味を持ち、アドバイスできる事を望む。
245	○		○		○			○	特になし	特になし
246			○			○	○			
247	○		○	○				○		
248	○					○		○	・共有のための場づくり→「民生委員、児童委員と自治協議会又は自治会」との定例会議開催について（詳細は（3）に記入）	・幅広く自治会活動が推進されている中で、特に地域の「老人対策（安心やコロナ対策含む）」と「児童対策（イジメなど）」が必要と考えます。「民生委員全員」と「自治会長会」との定例的、全体的な会議が少ないと思う次第です。年2回程度、問題点を絞り開催して行く必要があると思います。
249									インターネットの登場は煩わしい思いをせず得たい情報のみピンポイントで取得する力を個人へ与えた。よってコミュニティに属するメリットが感じられなくなっている。綺麗事のボランティア精神などに頼らず、明確なメリットもしくはデメリットを設ける必要がある。スローガンだけの条例など無意味。 また欧米の共和制や補完性原理のように「共同体に支えられて育った個人が、自分たちで出来る自治は自分たちで行い、それが国を支える」と考える伝統は日本にない。搾取されないよう、お上とは距離を取り、下を向いてやり過ごす文化が根付いている。 マイナポイントの例を挙げるまでもなく『得を上回る損失がある』と感じれば動かない（損失回避バイアス）。地域に尽くすことが自分の将来にとってプラスだと解っていても余暇は自分の為に使いたい（現在バイアス）。共同体の価値に関する啓蒙や共有に期待できる社会ではない。 市民や企業の行動に実効性のある条例を施行出来るのであれば、市民スポーツや自治会活動への参加を目的とした特別休暇を従業員へ与えるよう市内企業へ求めてはどうか。条件を満たした企業を優遇。自治協議会が夜おこなわれようがスポーツ大会が午前中で片付こうが残りの時間は自由に使えるのなら通常の休暇と変わらない。荒唐無稽な提案に聞こえるかもしれないが、たとえ年間3日程度でも取れる休暇を取り損なう＝損をすると感じれば、取得のキーとなる地域コミュニティの距離を住民の方から詰めてくる。Nudge。 情報発信や共有のあり方についても単なるエピソードの紹介ではなく、その事例が効果を発揮した理由・根拠を紹介すべき。EBPM。	④スリム化による負担軽減 求められるのは無駄を省くというレベルではない。日本の人口は今後100年で明治時代と同じ4000万人前後まで激減していく。2023～2025年頃から約50年間連続で年間150万人以上死んでいく。太平洋戦争時の年間死亡数に匹敵する数字。戦争が50年続くのと同等の多死社会が到来する。その中には私自身も含まれる。自分たちが居なくなった後の住みやすさの為に努力すべき。戦後の高度経済成長期に形成された地域の伝統や自治会組織をそのままの規模で維持など出来ようはずがない。必要なのは30年後の住民になったつもりで計画を考えるフューチャーデザインと「賢く縮む」スマートシュリンクである。いつまでも拡大発展は是では無いのだ。 地域自治の現場で見られる構図に『今まで私たち（先達）も頑張ってきたんだから貴方たちも頑張るなさいよ』『お上（先輩）が言ってるからやらなくちゃいけない』の生真面目さと、将来や現実を見据えた改革派の情熱が衝突している場面がある。ここの消耗は非常に無駄なエネルギーなので上部組織が明確な道を示すべきだと思う。 ⑥多様な主体との連携強化 昨年青葉校区で行ったスポーツビューッフェは1つの方向性を示した。体協がハブとなり地域のスポーツ少年団の合同体験会と全世代の体力診断および健康運動指導を行った。 我が校区でも模索したが『予定行事に無い』『スポーツ少年団は管轄ではない』との意見に阻まれた。少年ソフトの単独体験会に参加した父兄の意見は、加入させられる圧を感じるので剣道やバスケ等との合同体験会なら気軽に参加できるのにと。 地域行事への参加を促すチラシを小学校で配ってもらう提案に対しても小学校は快諾しているのに各団体から反発や躊躇の声が挙がった。逆に子育て活動を授業に取り入れる点に関しては教育委員会の見解を気にしている気配を学校側に感じた。 子ども会活動を総合学習の実践フィールド・子どもたちの社会への入り口と位置づけ授業に取り入れていく、地域活動こども委員を編成し学校タブレットを活用した休日子どもリモート会議の実践、小中PTAと子育て連青育連の連携、市民スポーツ大会や自治会活動を従業員へ推奨した企業を優遇する、、、。どれも行政の縄張りや責任回避が立ちほだかる。地域支援課の所管する団体間で連携を期待するのみならず行政の方こそ縦割りを排して連携していただきたい。
250	○	○	○		○				（3）の欄に記入していることで共有お願いします。 （記入者はPTA役員OBで現在、自治協議会活動にも参加させて頂いている60歳男性です）	○○校区は、4つの自治協議会と4つの公民館が現存してます。子育て世代、思春期の子供達を育む世代との交流は、自治協議会として、欠くことが出来ない重要案件です。 PTA活動とのリンクをしっかりと考え、自治協議会の様々な活動の中に現役世代を取り込むのではなく、現役世代の活動に自治協議会の活動をリンクさせ、4つの自治会の垣根を外した校区全体の活動を可能なものから先行してゆく事が急務と考えます。
251	○	○	○	○		○			③条例などによる位置付けが最も大事と思う。 積極的に参加はしなくても良いとの風潮もあるように思う。 市からの公けの発信が効果的ではないか。	①～⑧その全てが順位は別に必要だと思う。
252			○		○				条例を考える際、自治会等の任意性を損わないよう配慮が必要と考える。	自治会等の負担軽減を考慮するのであれば、その第一歩として共同募金の活動をやめるようにして欲しい。現在、自治会を構成する役員も組長も殆んど高齢者であり、毎年、共同募金活動では何らかのイザコザを処理するのが負担になっている。（「払う」「払わない」「任意性だろう」の声あり。不在者の場合、再度、募金に行ったり）。 金銭という微妙な問題を含んでおり、募金に携わる人はいつも苦労している。皆さんの負担軽減、幸せを願うのであれば是非やめにしたい。
253				○	○			○	③〔条例などによる位置づけ〕について 人口が増加している地域や少子高齢化が進む地域が混在する中で、役割等を条例化すると、要因や費用の面で対応できない町内会等が出るのではないか。	経済や社会制が変化していく中で、就労年齢も高くなり、住民生活の多様化が急速に進んでいる。自治協議会や町内自治会も活動の担い手を確保できず、役員の高齢化・固定化が進んでいる。多様性を許容し、緩く、楽しく、皆なで、住民理解を進めて、新しい伝統、文化を創り上げて行けば良いと思う。
254	○	○						○		
255			○		○	○			地域コミュニティづくりは難しいと思っておりますが、情報等を発信し、互いに問題点を共有し、住みよい地域づくりに励みたい。	校区は、他校区に比べ非常に小規模で、その分地域コミュニティーは密になっていると自負しております。しかし高齢者の比率が大変高く、担い手が生まれにくい難しさを感じております。 安心・安全にして生活できる地域づくりに努めたいと思います。

256	○	○		○	○	○	○		年齢によって価値観の違いが大きいので共有できる場を多くつくる必要を感じる。	自治協、町内会全体的に高齢者の役員にならざるをえず、どうしても若い人達の考えが反映する事が少なく結果的に若い人達との距離がますます遠のく事に。
257	○	○		○				○		
258		○		○						
259				○	○		○	○	特に③自治会の位置付けを明確にする条例をぜひ制定して欲しい。役所は常に任意団体と言っているが、自治会に入らない世帯・自治協そのものに入らない町内があり、大変苦慮している。先ず、加入する事が町づくりの基本の基だと思う。これを打開する様な条例の制定を求める。どこの町内、自治協も会費の使途はきちんと明示している。…はず。	市の意識改革について (P4) …一丸となって地域コミュニティへの支援に取り組む必要がある。様々なことが自治会に依頼してくる。各町の防災計画の策定、避難行動要支援者に対する個別計画の策定ect 負担が大きいものがある。現に、自治協に加盟せずに、単位自治会だけで町内のことだけをやっている町が出ている。これが増えたらどうなるのか。こういう事に行政は任意団体だと言っておよび腰だ！
260			○	○	○		○		特になし	
261		○			○					
262	○	○			○		○			私は半世紀以上〇〇校区に住んでいます。この校区にはいくつもの専門学校があり、多数の学生さんが、行き来し、マンションも建ち、住民もいますが、おはよう、今日は、というあいさつは、ほとんどありません。私達校区の住民から気軽に声をかけ、昭和の時代の様に、あいさつが行きかう〇〇校区になったらいいなと思う今日このごろです。
263		○	○		○	○			働く場所として町内に住んでおられる方々がこの町内での交流を深めるためには、どうしたらいいかと思う。仕事にもつながるような関係づくりが多様な主体との連携で生まれないかとかネットを使つての情報発信（維持が大変と思うが）など、入っていきやすい形ができればと思う。	一人暮らしの方（特に高齢の方々）のフォローが気になります。 個人情報に関する事なので、あまり動けないところもあるのですが、民生委員の方々と自治会役員との情報共有とかは表だってはむずかしいのでしょうか
264		○						○	地域コミュニティの価値共有の前に、価値としてあげられているものが、はたして地域の人にとって自明のものであるか、求められているものかについて確認する作業が必要ではないでしょうか。したがって、3つの項目の前に地域コミュニティについて語り合える場こそが必要だと思われます。なぜなら、地域コミュニティの主体は、地域で日常生活を送る住民そのものだからです。	「共創のまちづくり」という言葉は耳にします。ただ、まちづくりをテーマにしているにもかかわらず、地域住民はもとより地域でボランティア活動する団体にも、その内容やめざすところは伝わってきません。まちづくりの主体はいったい誰なのでしょう？ それぞれの地域の自治協議会が何をめざし、どのように運営されているのかが不透明な現状で、お題目のように「安心、安全なまちづくり」といわれてもその内容が伝わることはないでしょう。 共創事業が、地域のさまざまな機関・団体が一緒にやること（例えば、お祭りのような）だけであれば、それは一過性のイベントに過ぎず、創り上げていく契機にはならないと感じます。 各地域での自治協議会等の理念を確立することや細かな手だて＝住民への働きかけこそが、今求められているものではないでしょうか。指導的立場にある人だけではなく、住民が自由に意見を交わし合える場・機会を設けて、さまざまなアイデアを実現していくことで、特色ある地域づくり＝まちづくりが可能になると思います。 できれば、効率的でなくとも時間をかけて、多様な意見を拾い上げていける「共創のまちづくり」を希望します。
265	○	○	○	○					「地域コミュニティの大切さ」の認識を仕掛ける側とは別に、求められる側の皆さんに、そのことをどの様に認識しているのか、認識の程度や認識の期待値に対し低い場合はその理由を問い、得られた結果を層別して、その層毎に適切な対処策を実施していく、というアプローチも必要の様に思います。	自治会は、従来事業に加えて福祉・防災両面の質量強化が図られている様に思います。如何なる事業であれ、人材なくして成功はあり得ませんから、従来にも増して人材を広く探索する必要がありますが、残念ながら、通常の自治会活動においては表に出てこれられない方が大多数というのが実状です。この表に出てこれられない方々を表に出てきていただく、次に、その方々のキャリアや人間性を我々が知ることができるという事が切望されています。難しい課題ですが、最重要の課題であると認識していますので、自治活動が行き詰らない様、良いご提案を期待しています。
266	○								特にない	
267	○		○	○			○		市の手続きなどは西区役所に行かなくても西部出張所があるのだからすべて西部出張所で出来るようにしてほしい。	戸建てと集合住宅が混在している町内においては転出・転入が多く特にお年寄りの場合、防災の面からも要援護者台帳だけでは把握が難しいです。 せめて70才以上の名簿が欲しいです。 すぐには無理かもしれませんが是非検討ください。
268	○	○	○	○	○	○	○	○	役員や委員などは負担が大きい為、仕方無くやっている。（やらされ感） 行事にも自分の時間をさいてまで参加したく無い。 任期終了後新役員や委員をお願いに行きますが、毎回ストレスになっている。 自分も交代したいが人材がおらず、心理的負担は半端無い。	負担が大きい為、関わらない方がストレス無く過ごせると思います。 ただ天災やパンデミックなどが起こった時に共創のまちづくりが、ちゃんと機能しているならば住民の意識も変わると思いますが、今はまだ各自頑張れレベルかと。
269			○	○		○			場づくりに参加した人々を支援、参画していただく活動が大切だと思います。運営する人が少なく、高齢化しているための解消には参加して負担の分担化と楽しんでいただくことが大切だと思います。	情報発信、ネット活用や活動を展開する時にも人材、人数不足で負担増となり改善されない現状にある。しかし、改革案を考えて実行しなければと考え出来ることから取り組みたい。
270	○	○	○						情報発信のひとつとしてテレビ局への働きかける。 いろいろな行事等をテレビで放映して興味を持つきっかけとする。	子ども会も加入率がかなり低くなってます。 原因の1つとして保護者が育成会の役員になりたがらないというのがあります。 経験した人はほとんど楽しかったと言ってくれます。 もっと情報発信をしてもらい、興味を持つ人が増えればと思います。 子ども会に入れば自治会・町内会にも理解・協力者となるのではないのでしょうか。もちろん子ども会に入るには自治会・町内会に入ることが条件ではありますが…。

271	○	○		○					情報発信・共有のための場づくり等はよくやっているといます。 でも積極的に参加してくれる人があまりいないのが現状だと思っていますのでまだまだ参加しやすい状況を見い出して頂ければと思います。	
272		○		○	○	○			情報発信は、特に大切だと思います。 ネット社会ですので、適切にネットを使っていくことも必要です。	今後、地域コミュニティのあり方が、さらに重要になってくることは間違いありません。老若男女、様々な立場の人たちが、安心して暮らせるまちをつくるには、日頃から「自分ごと」として考え、参加していかなければと思います。
273	○	○							情報発信については、IT利用が目立つものですが、高齢者等、IT弱者だけでなく、そもそも「ネットは自分が欲しい情報だけ見に行く傾向になる」といった偏りがあることもふまえ広い世代にひろくとどく工夫が必要なのだと思います。	
274	○								コミュニティなど面倒で煩わしいと思っている人が多いと思う。なぜ大切と思うのか、関わって良かったことなど具体的な体験談等の情報発信が必要。「ふう〜ん、そういうことか」と解りやすく納得するような話が聞きたい。	「コミュニティ」づくりの妨げになっている事象（原因・背景）をもっと深く掘り下げる必要がある。 都市化の進展、少子・高齢化、共働き世帯の増加、価値観や生活様式の多様化等々では余りにも漠然として見えて来ない。 家族に包丁が無くてもおいしい食事ができるように、コミュニティが存在しなくても生きて行けるし、家族も養える。価値はあっても必要と実感することが無いのが実情だと思う。みんなコミュニティを避ける個人主義、プライバシー尊重の社会にあって、必要と思えるような胸に刺さる体験、説明が聞きたい。 ・マンション、アパート等の町費は管理会社が家賃、管理費等の一括徴収から手を引いてもらい、住民自らは行なう。CSRの一環。 ・マンション、アパートの集合住宅は単身者向け、ファミリー向け、シニア向けなど目的別建築を止め、すべて混在型にし、多様な住民層が交流できるようにする。 ・住民が何世代にもまたがって地域に根付いた生活様式にならない限り、コミュニティづくりは困難。 よって転勤の多い企業への就業を回避するよう世の中に働きかける。 ・自治会・町内会の役員、その活動（体育祭、伝統行事ect）に参加する者へ、企業は支援、優遇する。 以上を自治協は行政と一体となって、経済界に働きかける。先はシンポジウム等を開いて欲しい。
275		○			○		○	○	今まで実施してきた項目を検証し、3項目の実践明確化	・役員の高齢化、なり手不足について検討すべき 貢献者に対する手当支給が必要と思う。
276	○	○								
277	○				○		○	○	特になし	特になし
278	○	○		○				○	○	少子高齢化、大規模災害、新型コロナウイルス様々なことがつづき発生する世の中、社会経済、地域活動の大変さや自治会役員の高齢化、新たな担い手がいないの現状です。 自治会や町内会が何にしているか分かってない人が多く見られます。
279	○	○							・テレビ・新聞等のマスコミにおいて、地域情報発信の強化 ・若い世代を町内会活動へ参加させる為の事業の強化	・地域コミュニティの基本となる、町内会への入会促進対策が重要で、各校区での格差が大きく思われる。
280	○	○	○		○	○				(1) ②のインターネットの活用は高齢世代より、若い世代への参加に有効。
281	○	○		○				○		
282	○	○		○				○		
283	○	○	○						○	別にございません。 市営住宅に住んでますが、最近特に高齢者の1人暮らし、幼児をおもちの母子家庭が多いので町内の役員決めが大変苦労してます。
284	○	○		○						情報発信は、各世代に合わせて手段を変える必要がある。 (ネットや新聞・市政だよりなどの紙媒体、TVなど) プロスポーツチームと地域との交流ができないか？ 福岡は、スポーツ活動が盛んな地域であり、野球、サッカー、バスケ、ラグビーなど様々なプロチームも豊富にある。 スポーツを通しての交流は幅広い年代に受け入れられると思う。
285		○		○		○	○		・次世代の子どもたちにコミュニティを意識してもらうため、又、若者などによる多様な意見を取り入れる工夫が必要と考えます。	
286		○	○	○					インスタグラムやSNS等情報の発信が多様化する中で、広報に若い人を起用して、若い人を増やしていけたら活気が出てくると思います。	スリム化による負担軽減も大切ですが、可能な限り各ポジションで2名体制に取り組んで、負担と引き継ぎを円滑にしていけたら良いと思います。
287	○	○							若年層、壮年層、高齢層等年齢に適応したある程度具体的な方策を盛り込んで頂きたい。	
288	○		○	○						住民間のトラブルの仲裁、猫の死骸の始末から行政との様々な折衝まで。 自治会長は何でも屋。なにかあったら自治会長。「ああ面倒しい」を振り払い今日も出掛けます。長い目で見れば、これも地域コミュニティの形成に役立つかもしれないと思いつつ。 多種多様な人達で構成されている地域コミュニティを健全に発展させるためには、地域住民が居住地域に関心を持つことが大切だと思う。 地域への関わりを促すために、様々な地域活用もなされているのではと思う。 しかし、自治会や町内会の存在は重要だと思うが、住民の方の会に対する関心や知識は乏しい。 推進検討委員会に取り組んで頂きたいことは、手段や方法は沢山あると思いますが、自治協、町内会などの広報や存在意義の周知を望みます。

289	○	○			○				②共有のための場づくり ・職場等で意識改革が必要 命やくらしを守るために、まちづくり活動の重要性を踏まえて参加を促進する手だてを各所属で講じる ③条例などによる位置づけ ・とり組みを明確にするためには条例化が望ましい。	・新型コロナウイルスの感染対策を前提とする 自治会活動の対応策を考える必要がある
290				○			○	○		老害である町内会長等の排除の方法を教えてください。本当に、困ってます。
291		○		○						校区を中心とする地域での自治会団体（町内会含む）あり方を時代に合わせて検討していくことも必要だが、子ども会等は、区子連、市子連の行事や内容も見直してほしい。 生活が多様化し、本来の団体の目的を果たす以前に、役員等のなり手が不足し維持が難しくなっている。
292	○		○	○	○					少子高齢化、住民の価値観や生活様式の多様化、共働き世帯や高齢就業者の増加で地域コミュニティの関心は低下し、地域住民の協調や融和は希薄化している。 地域活動への負担が大きいため、担い手がなく後継者も見当たらず、役員や活動に参加する人も高齢化・固定化している。地域コミュニティの継続は人材発掘や人材登用の面で困難な状況にある。自治会・町内会が任意組織で制度上も明確な位置づけがなされず、ボランティアと解されているため積極的な活動は望めない。
293	○	○	○		○	○	○	○		理想を言えば、各世代にコミュニティを取れるよう世代世代の方が参加され各世代に理解と思いやりを持って進められることが望ましいと考えております。では、どうすれば？価値観の違い、働き方の多様性などとまとめて言えばそれだけですけど、もっと具体的に「スマホ参加OK」とかネットで参加とか時間をいつでも参加、気軽に参加できる「入口づくり」も必要かと思います。 具体的に簡単に、若い世代が入りやすい活動も必要かと思います。 最後に、スリム化、負担軽減は間違うと活動の縮小化ともなる恐れが懸念されます。統合して都会化とか活動の役割性を広めていく方が良いのではと思います。
294	○	○	○	○	○	○	○	○		・地域コミュニティへの関心の低さ、住民同士のつながりを求めない層の拡大など、校区町内の状況の変化のなかで、役員の負担は増えつつけている反面、役員の高齢化が進んでいる。 ・若い層への働きかけは進めているが、改善されない。 ・市、校区が一体となった抜本的な対策が必要だと思う。
295	○	○		○	○		○			イ．町民が気軽に集える催事の推進 ロ．老若男女を問わず参加しやすい公民館活動（サークル） ハ．活動の負担を軽くして、役員の固定化、高齢化をなくす。
296	○		○			○		○		コミュニティの位置付けが、現状に於いては、住民中心になっている。 住民と企業の地域でのつながりが、うすい。 まずは企業の地域に於ける役割と位置付けが、必要。
297			○	○						
298		○		○						私の住む町内は全世帯数308戸。うち町内会に加入しているのは208戸（名簿に世帯名を上げている世帯数で町費だけをはらっている世帯を除く）で、これだけの世帯を役員12名、隣組長15名、各種団体委員7名で町内会を運営しています。役員は多くが10年以上続けていて高齢化が進んでいます。 私も町内会長を長くしていますが、活動内容は私たち役員で話し合って決めた内容もありますが、多くは自治協の活動や今までの習慣でしている内容がほとんどです。自治協（市の活動も含めて）の活動を金銭面でも活動面（人的面）でも支えているのは町内会だと思っています。そして町内会活動の主な役割を担っている役員は奉仕活動として、その責任感や義務感から活動し、そこから得られる充実感や満足感は少ないように感じます。地域コミュニティの価値の共有や継承は奉仕活動として継続している町内会活動の問題点を解決した先にあるものではないでしょうか。報告書を読んで感じるのはますます負担が増えるのではないかという不安です。
299	○	○			○	○	○	○		（4）その他のその他 委員の方々、まちづくりのため検討を進めていただきありがとうございます。 新型コロナウイルス感染がまた、拡大してきています。何とか早く封じ込めることが、できないものでしょうか。
300	○			○				○		ワンルームマンションによる（町内会費の件）町内会には関係がないと云う人達や不動産もあり校区活動は増加、高齢者で人手も少なく、自主防災等無関心である。
301	○					○		○		共有のための場づくりが必要と考えます。
302		○		○	○					
303	○			○			○			
304	○			○				○		町内において、アパート・マンションの単身世帯が多く、昔のような隣り組的な関係が築けない。 条例による位置づけは特に必要と思われる。
305	○		○	○			○			なし
306	○	○				○		○		町内でやる行事に参加してもらえない。ボランティア精神に薄れている人達が多い様に思えます。
307	○	○		○			○			

[illegible]

322	○			○	○		○		①②③どの項目も大切な文面です。 この3項目確かにインパクトのあるものですが、もっと一歩、2歩、ふみ込んだ細かな内容の取組をお願いしたい。	
323		○		○			○		校区発足から40年弱経ち、少子高齢化が進み、雇用形態も夫婦共働きの常態化、雇用延長もあり、各団体の担い手が少なくなっているのは市全体の傾向と思われる。組織や行事を見直し、スリム化を図るべきと思う。その一環として、行政の役割と地域の役割を明確に分ける事を検討してもらいたい。	・住民の自治会加入は任意であるが、賃貸の集合住宅の自治会加入促進に苦慮している。 その一つに賃貸住宅を管理している不動産業者、とりわけ全国規模の業者に非協力的なところがある。地域コミュニティに根ざして事業展開していながら、会社方針として自治会との関係はしない（協力しない）との方針を取っている。地場の業者は家賃と一緒に自治会費（町費）も同様に徴収しているところがほとんどであり、全国規模の業者に対して自治会加入促進の指導をお願いしたい。 ・担い手不足（2）にも書いたが、次の担い手を探すも、なかなか見つからない。そこで役所のOBの皆さんに是非とも地域の諸団体の担い手になってもらいたい。（とりわけ自治会、老人会、民生委員など）
324	○			○	○		○		校区には若い町内会長さんが一人もいません。 私も校区行事にはケガしない様とだけ思って参加してます（75才です） （夏祭と運動会1年おきにしてほしいです。）	私の町内はワンルームマンションとアパート高齢者の一戸建15戸で成ってます。 町内会には（118戸）未加入です。それでも校区負担金はすごく高いです。 会計さんと不満ばかり言ってます。どうにか行政の方、校区に援助して町内会員に少しでも町内会に加入して良かったと思える様して下さい。負担金と日赤とで残高ありません。東京の様に町内会廃止して行政で全部して下さい（町内会長も高齢で受けてもらえませんが。死ぬまでしないといけません。今75才です。）
325	○		○						・地域住民（特に若い世代）の方に、地域活動に参加してもらう為の方法を検討してもらいたい。 情報の発信方法、参加しやすい条件、環境作り	・価値観の変化や地域活動への意識希薄化への対応が難しくなっています。 ・個人情報の取扱いについても、気を使いながらの地域活動は難しい部分もある。
326	○		○						地域コミュニティの価値を共有するために条例などで位置づけが出来れば良いと思う	役員の高齢化・固定化に対する打開策を具体的に教えて頂ければと思う
327	○						○		地域コミュニティの大切さが住民の方々に理解されないことは、防犯防災面でも、とてもマイナスなことなので、是非多様な支援をお願いしたい。（不動産会社や管理会社の理解と協力への働きかけがほしい）	防犯灯の保険はとてもありがたいものだった。 他の設置物（防犯カメラややむなく設置しているカンバンなど）の保険も是非とも検討してほしい。
328	○	○		○					先ずは、住民に理解してもらう為の情報発信が一番です。 地域コミュニティに関して無関心で、価値の共有以前の問題です。	自治協議会、自治会、町内会の役員の高齢化で新しい人材不足がある、ボランティアの考えでは集まらない、魅力ある、やりがいのある活動に考えなければならない。
329	○	○		○					情報発信のための回覧板の発出、自治会の開催の呼び掛けを行っても関心を持ってくれない状況にある。	地域コミュニティにおける現状 住民同士のつながりが希薄化（近隣の人とつき合うことをしない） 町としての活動に参加の気持ちが無い 活動等への参加者は固定化し新たな参加が出来ない ビル（アパート）等の住人が多く住民が都会化（人と人とのつながりが無い）している現状にある。
330	○	○			○	○		○	・子どもから高齢者まで理解し易い情報発信を。 ・条例等により位置づけは動きにくくならないこと。	殆どワンルームマンションばかり居住者に地域活動を期待することは不可能。戸建は殆ど高齢者ばかり後継者がいない。高齢者ばかりでも楽しく町づくりに参画できる町内会、自治会もあっていいのでは。
331	○		○			○		○	住民の個人情報の開示（世帯構成がわかるくらい）は開示してほしい。 現在は世帯主の名前のみどのような世帯か不明で地域活動の誘いなどが出来ない	
332	○	○		○					若い世代の参加が少ないのは子どもの頃からの経験が少ないからだと思います。中高生、小学生がもっと地域行事に参加し、企画や運営にも携わり、そのことがもっと学校の中で評価されるべき。校内の活動だけでなく地域内での活動も内申に加えられるといい。	1つ引き受けると次々依頼されるのを怖れて関わらない人がいます。安心して参加できるような、負担軽減を考えてほしい。 「都合が合わなければ欠席でもいいよ」という雰囲気あまり感じられずハードルが高い感じがするんじゃないでしょうか
333		○	○			○	○			
334			○	○			○			5検討の方向性（2）自治協議会や自治会・町内会に対する支援について 神奈川県のある自治体では、名簿作成や資料作成といった事務作業専門をひきうけるNPOがあり、活用することによって役員の高齢化、忙しい仕事との両立の面で負担が軽減されている為、活発に町内会行事や活動がなされているとの記事を目にしたことがある。 市の支援の中にそういったNPOの設立案や経済支援などもあると良いと感じた。 NPOといえど業務に対して賃金給与は発生するため、専業主婦や大学生などの副業、アルバイト先も増やせるし、仕事にかかわることによって、若い世代の地域コミュニティへの認識改善にもいくらか役立つのではないかと。検討内容①②③④⑥項目に関連できる。

335	○	○	○			○			現在、将来の地域活性化・共創化の最大の課題は、地域のマンパワー不足である。 価値共有に向け、3点の取り組み検討は、抽象的であり具体性に欠けている。誰がやるの？ そこで提案です。条例化による1案として、地域活性化を図るマンパワー不足解消に、『行政官退職時に地域貢献を義務付ける（1年間等）』を提言する。（強制権を賦せず。） 実務経験があり、まちづくりを主導する行政官が、退職後に大半が地域に係わらない現状は何故なのか？何よりも現実を直視出来る。 大きなハードルかもしれないが、条例化により地域の意識変化に期待したい。 又、退職後の行政官の係わりが、以って民間企業も追従し、地域コミュニティ充足に大いに繋がると考える。難題であるが具現化は、地域を大きく変化（好転）させる。	
336			○	○					コロナ禍の中でなかなか動けないのが現状です。	
337		○		○					③条例により位置づけを明記したとしても、実態として機能しなければ意味がない為、②共有の場づくりが最も重要だと考えます。 コミュニティのつくり方としては、町の困りごと（例えば子どもの貧困、高齢者の孤立）を解消する目的で助け合える仕組みづくりをすることで、つながりを深める等、検討。	“共創のまちづくり”の主体が現在は自治会であり、高齢化が進んでいる。構成するメンバーとして学生（小学生～大学生）主体の運営も検討すべきではないかと思います。そのために、“キッザニア”の自治会版をするなど、町内会の運営の一部を子どもにあえてしてもらうことで、社会と地域のつながりの重要性を理解させる教育の場にもするなど、これまでの体制からの変革も必要だと考えます。
338			○		○			○	なぜ、地域コミュニティが大切か、説明を自治協ホームページで情報発信し、取組に興味・関心を持ってもらうことが重要で参加し、参画していくことが、一人でも多くの方に、次の担い手になってもらうよう繋げていくことは大切だと思います。	自治協・公民館・社協など、各団体のそれぞれの発信方法は違っていて勧誘世代も違いますが、地域活動に参加して、ともに共創や共有の目的意識を持ち、目標達成に力を尽くすことにより、地域コミュニティの大切さや意義を感じてもらえると、校区全体から、防災や見守りと町内の担い手にも繋がっていく、「共創のまちづくりを進めること」は必要だと思います。
339	○	○	○	○	○		○			
340			○	○	○			○	住宅を建築される会社が町内会費の徴収等を行わないと建設される時に発言する建築会社があるので、条例等で町内会と会費の必要性を説明・協力を義務づける。 町内会長も条例で位置づけてほしい。	しがらみのないしがらみづくりが必要と思います。 現在、校区中心の事業を行っているので、各町中心の事業も必要であると思う。 地域デビュー支援施策の充実と拡大を行い、町内だけで年間1～2回程度の事業を行うことで町内のコミュニティが出来、校区の事業でコミュニティが更に向上すると思うので町内だけの事業の必須化が必要と思います。 また、町内会長に手当等の支給（月3万円程度は・奥さんの理解を得るため）が必要であると思う。現在、年金が少ないので70歳前後までアルバイトなどをされる方が多いので。
341			○	○					共有のための場づくりは地域住民の多様化の観点からも、是非、検討を進めていただきたいです。しかし、多様化のすべてを検討すると、もともと、活動の負担にもなると思うので、そこは気をつけていただきたいです。	私の校区でも「地域コミュニティの抱える課題（P1）」に記載されているような課題が多くあります。特に長く自治協議会に携ってきた方々は「自分達が創ってきた」という自負があり、変革に関しては今までのことが否定されるのではないか、消極的に感じます。その辺りのところもふまえて、区や市と共に変革していければと思います。
342		○			○		○	○		町費は強制力がなく町費を払わないのが多くあります。私の隣の町内ではマンションが2ヶ所全部支払われておらず町の運営に支障をきたしつつあります。 行政の指導によって改善出来るものかご検討戴きたい。このままでは近い将来行詰ることは必定と思案しております。
343	○	○				○	○	○	過去に経験した事の無い、感染症や自然災害（地震）等、毎日の様に報じられている昨今、特に自然災害（地震）について一人一人が命を守るために何が出来て・何をすべきかを校区ごとに検討し行政指導のもとでマニュアル作成が急務ではないでしょうか（一部あり？） また、行政は空振りを恐れず命を守る早めの情報を発信する体制作りと分かりやすいマニュアル作成が必要ではないでしょうか 更に地域ごとの問題課題等の話あいの場・人材（体制）が必要だと思います。	多くの自治協・町内会（役員）は高齢化が進み、事なかれ主義・危機意識の薄さ等、マンネリ化が基盤にあるなか、地域コミュニティ作りは難しいものがあります。しかし今だからこそ行政指導のもとで大胆な組織改革が必要ではないでしょうか、自治協との関連・位置付けはともかくとして、同じ価値観を持った人、大切な命を守るために活動されている方々を集め、垣根を越えた（仮称）安心安全部会または委員会なるものを立ち上げ若返りと優れたリーダーのもと新しい体制を確立したうえで、新しい地域コミュニティづくりを目指すべき。 更に地域コミュニティ作りは様々な諸課題がある中で価値を共有する事は非常に大変な事、しかし同じ地域に住む人間として命を守るためには避けて通れない必須の課題です。 コロナ禍により生活パターンが一変した今日、行政指導のもと一人一人が真剣に自助・共助について考え、取り組む時期が来ていると思います。
344		○		○	○		○		3 ページ（1）①情報発信 市の全般的情報ではなく、その地域の具体的な地域情報を地域担当者が持っている。もっと担当者からの情報をくみとることが大事。もっとくわしい報告をさせることが大事。就任3ヶ月と転勤時の引継ぎを義務化させる。	地域住民の自治会活動の仲間づくりと合わせて、役所退職者は退職後、2年間は、地域自治会の役員を義務づける条例をつくる。 役所退職者の地域貢献度は、きわめて低い。役所経験者が率先して欲しい。退職者は知らぬ顔が多い。（別格か）大きな原因であると思う。（1）の③にかかわりあり。 条例づくりは、自分に跳ね返ってくるので困難ですかね。 地域にまかせるのではなく、役所も泥を被って下さい。

345	○						○		町内会へ入会依頼の件ですが、会は任意団体で強制力はないが、入会していないマンション・アパート、一戸建等々に対して、例えばそれぞれの所へ防犯灯は設置しているし、電気代、公民館だより全て町内会費で対応している故にご協力方依頼してもなかなかである。	情報提供も組長経由で発信しているがどう感じられているのか… ・支払っているマンション、アパートは戸建の7掛前後入金。 〈町内での一事例を〉…老夫婦が住むマンションで先に奥さんが亡くなり半年後主人が亡くなったケースで、町内には町内の規約があります。規約に沿って対応、今回の場合、身寄りが分からなかった為、マンションの管理会社を通し調査しても不明、故に区役所の戸籍課に問い合わせると個人情報により答できない。自分自身の町内会長としての身分は分かっているにもかかわらず教えて頂けなければ故人に対して対応できず困る〈奥さんが亡くなった時、ご主人は体調不良で入院中でコロナ禍で連絡とれず〉。以前孤独死もあった。その時は区役所で調べ熊本の人と判明。 今回なぜ判明できなかったのか、町内の世話をしているものとしては残念な事だった。
346	○				○	○	○	○	情報発信は具体的にどのような方法を取り入れられるのか。 高齢者の方々に届くような方法なのか？ 場づくりににおいても参加する気持ちをもてるものではないと一連の方々になるような気がする。条例を作っても市民に届くのか！！必要ではないと思います。	地域によって住民の意識の差が大きい、いつも同じ方々だけの集まりになりやすい。これは本当に一番の課題、これをします、後は地域にまかせますという一方通行の事が多い。これでは根本的に解決にはつながらないような気がします。 予算についてもかなりの制約があり、自由な活動がしづらいのではないかと考える。 現実と理想の差をどのように解決していくかが大きな課題と思います。
347					○	○				
348	○		○	○					情報発信で住民に（町内）本当に伝わっているのか？疑問に思う時がある。伝達の仕方、方法が具体的にあれば教えてもらいたい。	最近近隣の希薄化が心配である。若者が少なくなっているのに道で会っても何処の子供なのかわからないし挨拶もない。町内で集まる事が少なくなったからであろう。花見とか近くのお宮での「おこもり」とか企画しても参加者はいつも通りのメンバーとなるので発展性がない。一体親しみのある関係はどうして作って行くものかと思う日々である。
349	○		○	○	○		○	○		高齢化が進んだ地域では、活動の担い手、参加者が減少しており、コミュニティが失われています。 今検討されている各種団体や市の支援強化に期待しています。
350		○								
351	○	○	○	○	○	○	○		これから先の事を思うと、新世代（若い人）の関心度の低さが、心配です。高齢者は、昭和時代の流れ慣習に流されて、しぶしぶながらも参加、行動していたと思われます。 私自身よくわかりませんが、小中高時代の若い年代からの地域コミュニティの価値の教えがいるのではないかと思います。	町内会として、活動への負担が大きい、新たな担い手がいらない、役員の高齢化・固定化している。ほとんどがしかたなくやっている。これがもっと時間がすぎれば、誰もやる人がいない、町内会には、入らない人が増してくると思います。だから、いろいろと工夫してやっていく事は、大切なことです。やっていきましょう。
352	○	○		○		○	○	○	今日的にライフスタイルの変化及び少子高齢化に拍車がかかっている環境のなかにあって、現状については、地域コミュニティが年々薄らいできている現状にあることから情報の共有化を促進していくためには、事業計画を策定するにあたり、重点項目をさらに絞り込み、計画の企画策定から実行までの過程のなかで、粘り強くかつ地域住民に幅広く浸透出来る方法を、具体的に検討を行っていく必要があると考える。	高齢化に拍車がかかっている状況のなかで、共通の悩みもあるが、若年層の年代が少なくなっているため、各団体等の各役員のなりてがなく改選時期は苦労が多く、かつ非協力的な、考えを持っている住民もいる。一因には、活動組織名も多く、効率化を図ることも必要ではないかと考える。町内の中では、一部では複数兼務している人もいる。
353	○			○					特になし	特になし
354	○	○		○	○		○	○	共助、共働、共創のための場づくりとして地域の自治協議会や地区の町内会、そして、場の提供として公民館があるので、重要なことは各団体及び町民の方々の『意識改革』であろうと思う。 そのためにだれが何を、どこで、いつ、どのようにしていくかが肝要であると思う。	現在、町内会においては、町内会会員の方々の安心、安全の為に「自治防災組織」を立ち上げており、町内会の方々の命、健康、財産を守るべき行動が「共助」としてとれる体制を整えつつあります。 又、高齢化対策として「ふれあいネットワーク」のボランティアによる、見守り活動等を実施しています。 子供対策がいまだにできていない状態です。 このような、いま直面している課題に対して、行政としても、もっと声と耳を傾けていただいて、物（モノ、金）、心、両面においてバックアップして下さい。
355	○	○	○	○						
356	○	○			○					
357		○	○		○		○		高齢化率が高い地区であるため、日常の声かけが必要である。そのため の地域づくりをどのようにするのか	
358	○	○	○		○	○	○	○		
359	○			○	○	○	○		情報発信が一方的ならば、意味がない。役所などに住民票を提出する際などに、その自治の情報を詳しく伝達できる仕組みをつくり、条例などにより、強制力を持たせる事により、自分の地域では、どのように自分が、災害時、有事に守られるか理解して頂くのは、どうか。	この資料読んでいる自分でさえ、当自治協が、どれだけのそしてどの様な活動をしているか、全て理解できていない。町内会長になったら、何をすべきで何が不要か、そういう事すら分からないうちに交代もある。 自治協自体の情報をまず、きちんと把握するには、どこに行けば良いのか？そこに住む前に知れるシステムづくりも欲しい。町内会においてくる紙ベースの配布物は削減してほしい。本当に大切な、ハザードマップ、避難場所などだけにして欲しい。
360	○	○	○		○	○	○	○	町内会、高齢者等、運営サロンと特養施設「よりあいの森」との結びつきは深く、地域住員の心強い味方になっています。 施設との場を備用しつつ、住みなれた所で本人らしく過ごせるように助け合いが生れるように地域コミュニティを計りたい。	
361		○		○	○		○	○	行政と自治協議会が一体となって取り組むことが重要と思います。	
362			○			○			高齢者にもわかりやすい説明があるとよい。	
363		○		○	○		○		ありません。	ありません。
364	○	○		○						

365	○	○	○					○	条例による「自治会活動の位置づけ」を明確にすること、地域の人々がその重要な担い手であることを明記させること。	・情報発信について ①65才以上の民生委員への情報開示に、一貫性がない。改善を求む！ ②賃貸アパート入居者への「自治会活動への理解」啓蒙活動への工夫。 （案）インターネットを活用しての情報発信（ゴミ出し日の徹底（年末年始を含め））
366	○		○						私の場合、地域参加のきっかけがPTAの参加にありました。子どものいない世帯や学生の人たちのきっかけ作りのために、義務教育の中で地域参加の大切さを授業すると思います。	
367				○						共働き世帯が多くなっている時代に、こども会の活動を負担に思っている方が多くなっています。役員をされる方もほぼ母親です。今の子供は昔とちがって習い事や塾など忙しく、こども会の行事への参加もごく一部だと思います。 又、自治協各種団体の会長さんは複数年、歴任されていますが、こども会は毎年変わります。会議等に出席しても不親切な対応をされたりで、正直必要ないのではないかと報告も受けています。不満ばかり書いて申し訳ありませんが、親や子が無理のない団体であってほしいです。
368	○	○	○	○	○	○	○		コロナ禍の中、インターネットによるオンラインが加速しています。この一年、集まる事のむずかしさを実感しました。市からの補助金を得て、自治会もネットでの環境作りをすべきでは？	
369	○	○	○						市政だよりや公民館だより等を見ない人達への情報発信の工夫	
370	○	○	○							市の意識改革の2項目、地域の負担軽減が必要。
371		○			○	○			情報発信の手段と現況はどうしているか、又どのような情報が出されているのか。 例えば災害が近年多いが実際に発生した事例でどのような情報が出て、地域がどのようにかかわっているか等、共有のための場づくりでも具体的な取り組み方や状況を出してほしい。	住民が地域活動に参加する、何かきっかけづくりの具体的なものがないか、ワンルームマンション等が多く若者が多い地域とふれあう場もないし関心もない。 公共等、情報発信の方法として、掲示板があるが、設置場所がなく、行政が支援できないか。
372	○					○		○	情報発信について、このコロナ禍において、多様な住民参加を呼びかけるためには、従来のリアルに集い集まる形式のみでは、地域コミュニティの拡大は望めないし、維持も難しいのではと思われる。今日的に社会の情報システムを十分活用できるような施策拡充の必要があるのでは多様な生き方の中に各年代に即した地域での活躍のステージが必要に思う。リアルでもネット上でも、幅広く提供できると面白いと思うが条例による位置づけは必要ですが、町内会は自治体の下部組織ではないでしょうから、自立性のある、スキルを持った町内会が必要ではと考えます。	必要最小限の町内会であればと思います。何が必要最低限かは難しい問題ですが町内会はパブリックとパーソナルの中間を埋めることができればと思います。 あと町内会の存続が必要であれば、どのように継続させるか
373		○							①情報発信が大事な事だと思います。	・町内会という組織に対して余り関心がない人が多い。会合等を開いても常に同じメンバーである。高齢者が多い。この事より、参加しやすい環境づくりが必要であるが、いち町内会ではなかなか難しいのが現実であります。
374	○	○		○	○			○	今は情報源としてホームページを見て下さいという事がありますが、私達、高齢者にとって、操作が困難であり、一人暮らしの人も多く、情報をもっと“見える化”にしてもらって、町内に提供の出来たらと思います。	今現在、福岡では緊急事態宣言が出ておりますが、コロナに限らず、その現状における喫緊の情報の提供が少ないのではないかと思います。コロナに関して言えば、中止の知らせばかりで、校区のコロナ情報や対策等の身近な情報があればと考えます。
375	○				○	○	○		特に地域コミュニティの価値を共有できる場づくりが重要と考えます。	提言にもありますが、特に町内会役員の高齢化（固定化）が、大きな問題と考えております。 各世代毎の人材発掘が、必要と思いますが、手段がないと感じております。 （1）⑤は十分に役割を果たしていると思います。
376	○			○						
377	○			○						
378	○	○	○		○					
379			○					○	「コミュニティ」は具体的・日常的な人と人とのつながりで培っていくもので、隣近所で、顔見知りになるような状況になるには時間がかかるもの。 住民に一番近い隣組長（毎年輪番制になっている）の活躍が重要。	①校区全体のイベントをすることが目的になっている感がある。 ②以前の町世話人制度の時の町内会長の立場、役割をそのまま継承している感があり、上意下達の運営をしている。「自治」という名称はついても内容や運営にもっと目をむけるべき。 ③地域の課題を洗い出し、問題意識をもった自治協運営が望まれる。 ④「自治協議会」とは？各自治会・町内会の「自治」はなされているのか、まずは問い直してみるべきだ。 ・助成金をもらって活動しているからなのか自主性が感じられない。 （各部会の目的や主旨の下でする活動に各委員がやりがいや自信をもてるようになることを望みます。やらされ感だけだと、継続しません） ・事業に対する評価がある。PDCA（計画→実行→評価→改善）を自らがする必要がある。

380	○	○	○	○	○	○	○	○	共創のまちづくりを進めていく上で、取り組みはじめとしては理解しやすく端的にまとめられていると思います。	本件は、まだ中間報告のためと考えますが、市から自治会・町内会に様々な支援の提供する内容が目立っているように感じられます。 市から、という立場上では、様々な支援の提供に重点をおいて頂けるのは、一市民として喜ぶべきことですが、「共創」「地域コミュニティの実現」を目指すには、市が、様々な市民にヒアリングし、各々何を本当に望んでいるのか、地域で困っていることは何かなど市と各々市民が会話・コミュニケーションが取れる策等、市→自治協・町内会のトップダウン的な要素に、各々市民→市へのボトムアップ的な要素にも着眼して、今後の検討に活かして頂ければ幸いです。
381	○			○						自治会や町内会の役員の方が、高齢者が多いようです。もっと若い方々に参加してもらえるよう何かいい方法があったらいつも思っています。 私にはいい案が浮かびません。すみません。
382				○					自治協議会と構成する各自治会との明確な位置づけ。 現状において、自治会を自治協の下部組織と誤認識し運営を図り、ソゴを生じている。	自治協議会不要論 理由（１）地域内の最大公約数を熟知、見極め、指針とするべきであるが、理念とは余りにも乖離。現状の仕組み制度は行政の対応も加味し、将来を担保出来ない。 （２）何を担保に、各自治会・町内会より、自治協への負担金を課すか不明。 （３）所詮は、行政の出先機関化していないか？ （４）「主役は誰？」画一的な運営は、疑問を呈する。
383	○	○			○		○		市との情報交換が薄い現状を改善する為に、定期的な意見交換を実施し、その内容を市政だより等で、住民に伝えれば「共働」によるまちづくりに少しは役立つと思います。	私たちは住民からの要望の中から、早急に最優先と思われる事を市にお願いしますが、対応が遅れがちな事が多い。 （例）学校近くの横断歩道等の道路表示が消えかかったままの状態です。学童には「横断歩道を渡るように」と登下校の交通指導をしている？
384		○					○		若者（40代～50代）が参加出来る様に「①情報発信②場づくり③条例などによる位置づけ」の検討に折込んでほしい。	地域の様々な主体と共に創る取組みを推進しているとあるが、「様々な主体」との接触をどの様にもつものなのか？」を市が指導すべきでは…!!。それが見えない。
385	○		○			○				
386		○			○		○		地域には色々な特技を持っている人がいる。公民館では室内行事は組めるが屋外は無理、いつでも屋外で行事が組める設備が必要ではないか？	定年が延び、仕業を続ける人が増えると、町内会や自治協の担い手不足が、今後心配である。
387				○		○				
388	○	○	○	○						
389	○	○						○		町内・自治会の役員の負担が大きく、なかなか役員の担い手が少なく毎年苦勞しています。市からも何らかの資料とか負担金とかの援助を希望します。 町内活動でも頑張っているのですが？
390		○		○				○		
391	○	○			○		○	○	いずれも大事だと思うが自治協や各町内の特徴、特色を公民館や企業と連携して市民にアピールする事を考えてほしい。	・町内会の役員を受けてくれる人がなく、高齢化・固定化して困っているしボランティアとしてももう少し報酬を上げたいが予算がない。 ・最近マンションが増えたが町内会への加入が少なく、市政だより等の配布物が多く大変である。 ・町内会や自治協への負担を軽減してほしい。
392	○	○		○	○		○	○	老人クラブは、高齢社会に突入しているのに、青色吐息の状態。何が足りないのか、魅力が足りないのはなぜか。「共創のまちづくり」は「共創の団体（シニアクラブも）づくり」でもある。今の低迷を打破する具体像がほしい。	「共創」から何を生み出そうとしているか！何をつくることをイメージしているのか、理念が先走りして、具体的プランが浮かんでいない。それは、団体が考えることではなく、「共創のまちづくり」は具体像が欲しい。市の役割範囲と各団体の役割範囲のすみ分けもほしい。共創することが、団地の仕事量の増加につながりかねない面もある。
393	○	○		○	○		○	○	住民が地域コミュニティに関する基本事項等を内容把握していないし、わかってないと思う。	・地域コミュニティ価値共有の勉強会を開いてほしい。 ・他市における事例紹介、講演会を開いてほしい。

394									①については、地域コミュニティの大切さや果たす役割を、繰り返し情報発信してもらうことは必要だと思う。 ②については、子ども会活動は三世代交流ができてよいが、参加者がいつも同じ顔ぶれ。子どもがいない世帯や若者層の参加が課題。難しい。 ③については、住民が地域活動の意義や価値を実感することは重要ではあるが、条例を定めたところで加入促進にはつながらないと思う。	・自治協議会実務研修会など各種研修は、年度の早い時期に実施してほしい。当該年度で退任する者は、習得した知識を活動に活かせない。 ・町内会の未加入者が参加できるもの・できないものの整理を行政で示してもらえると助かる。例えば、未加入世帯の子どもが、子ども会育成会主催のイベントに参加したいと言われたとき、参加の可否について意見が分かれた。 (1) ①については、自治協だよりに載せるイラストが適当なものが見つからず困ることがある。公民館と同じイラスト集を購入したが、素材が少ない。福岡市HPに掲載するため、市販のイラスト集の使用は不可と聞いた。使用可能なイラスト集を紹介してほしい。 ②については、個人のクレジットカード等での立替払いを可としてほしい。カード決済限定の通販を利用できれば、様々なメリットがある。①最安値で購入できる ②宅配できるので重量のある物や大量購入ができる等。 ③では、他校区の活動事例を紹介をしてほしい。新しいイベントを企画する際の参考にしたい。 ④については、主催者が異なる行政の研修で、同じ講師だったことがある。多少テーマが違っても類似の内容。共催で開催してもらえれば出席が1回で済み、負担感も減ると思う。 ⑤については、特にない。公民館とは、校区イベントなど日頃から連携がとれている。 ⑥については、地域の防災・減災の取り組みでは自治協・社教・介護事業所・医療機関で連携できている。数年前の「新春のつどい」に校区内の福祉施設等の代表を招いたのがきっかけであるが、交流が続けている。 ⑦については、会費の使途、活動内容の周知等は、資料を全戸配布することで足りている。印刷費や人手に特に問題はない。 ⑧については、公民館の一室を借りているが手狭である。将来、公民館を建て替える場合、今より広いスペースを確保できると助かる。
395									①は、高齢者等の要援護者の見守り・安否確認には地域の繋がりが必要不可欠。地域コミュニティの大切さや果たす役割を広く市民に理解してもらうための情報発信は繰り返しお願いしたい。 ②では、〇〇、〇〇、〇〇など、様々な主体が交流する事業をやっている。子どもフォーラム、夏祭り、校区運動会、〇〇など。 ③は、住民が地域活動の意義や価値を実感することは重要ではあるが、条例を定めても加入促進にはつながらないように思う。地域コミュニティが必要不可欠なものだと住民に実感してもらう他はない。	(1) ①では、自治協のブログで情報発信している。また地域住民へは、各町内会長から隣組単位で回覧・掲示板で情報共有している。特に困りごとはない。 ②は、クレジットカード決済ができないのが不便。個人的に20～30万の現金を手元に準備し、立て替え払いしている。通帳への記帳額を、領収書の金額と一致させるためにこのような方法をとっている。 ③では、〇〇大の学生（留学生を含む）と〇〇小の児童がつながる「〇〇会」を実施している。地域住民の個人的な繋がりを利用して〇〇大とつながっている。 ④は、自治協や町内会の役員が、諸団体の役職兼務は常態化しているがやむを得ない。現役世代は忙しい。地域防災計画の策定に備え、福岡県の防災研修に役員2名を参加させた。知識がないと計画策定は難しい。 ⑤は、〇〇の事務局など、公民館職員に担ってもらっている。公民館との連携はできていると思う。カラー印刷機があると助かる。 ⑥については、〇〇大（教授、学生）とは連携している。NP0とは平成29～31年度に福岡市共働事業で連携した取り組みがきっかけで、現在も関係を維持、自治協定例会にも出席してくれる。 ⑦は、新住民も町内会活動に理解があり、加入を拒む事例はあまり聞かない。転入の情報が入ると直ぐに三役揃って挨拶に伺い、加入をお願いする。〇〇は他校区に比べ人口が少ないため会費は高め（町内会費+各組合費）であるが、使途を明示して理解を求めている。 ⑧は、自治協の事務所機能は、公民館の研修室におかせてもらっている。占有ではないので、いつでも自由に使えるわけではないが、今のところ不便は感じない。
396									①は、各町内会長等の意識低下が課題。担い手不足が顕著。輪番制・くじ引きで選ばれ、地域活動等への参加も消極的。高齢者等の要援護者の見守り・安否確認には地域の繋がりが必要不可欠。地域コミュニティの大切さや果たす役割を広く市民に理解してもらうための情報発信は繰り返しお願いしたい。 ②は、〇〇により外国人が増え、区画整理により新住民も増えた。豊年まつり等の校区イベントや公民館事業を通じて様々な主体の交流や異文化交流が図られている。 ③は、条例が有効かは疑問。条例でしばったところで「はい、やりましょう！」と好転するとは思えない。少子化・超高齢社会において住みよいまちとするには地域がどうあるべきか、住民自ら自分事として考えるような仕掛けができると良い。	定年後に地域デビューして直ぐに町内会長等の役職は担えない。会社組織と地域組織は全く違う。自分は自営業なので、子育て時代から、PTA活動、商工会、町内会、自治協議会へと段階的に関わってきた。少しずつでも若い頃から地域へ関わっていくことが大事。 (1) ①は、自治協だよりの担当は1名おり、自治協三役が任命する。記事は担当が作成。印刷等は公民館の協力もあり、今のところ困り事はない。 ②は、JAが近隣にあり現状で困るという声は聞かないが、クレジットカード決済ができると便利かもしれない。 ③は、豊年まつり、校区体育祭、子ども会など小学生や子育て世代との交流機会は割合多い。重視してやってきた。今年度の豊年まつりは、子どもが喜ぶ企画（餅まき）を予定していた。コロナ禍で中止したが、収束したら実施したい。 ④では、自治協会長は社協・人尊協代表を兼務、防災計画の策定も担う。負担感は無いとは言わないが、それが自分の役割（自治協会長の責務）との認識でやっている。 ⑤では、自治協と公民館の関係性は良好。協力体制で様々な活動を円滑に行っている。自治協と公民館はコミュニティ活動における「車の両輪」であると考えている。 ⑥は、豊年まつりは商工会・JAとの共催。〇〇大とは、地域との連携の必要性を繰り返し働きかけた。隣接の3町内会との密な情報共有も要望。その甲斐あり、連携体制が構築できた。 ⑦は、学生寮やワンルームマンションが急増した〇〇は学生等の会員が約1800人いるが、準会員として町内会費を半額程度に別途定めるなど工夫している。会費集金はマンション管理会社の協力に対応。地域活動への参加が少ないのは残念。 ⑧は、公民館の一室を事務所として使用できており、困り事は特にない。

397									①については、昨年、新聞で校区の特集が掲載されて反響が大きかった。地域活動を知ってもらい、関心を寄せてもらうためにはメディアの情報発信は有効だと思う。 ②については、民間事業者の参入で実現した〇〇や、観光振興の切り口で校区活性化を図る行政支援もあり、地域住民と企業等の様々な主体が交流が期待できる。校区の活性化に向けて〇〇君を中心に頑張っていくので今後も支援をお願いしたい。 ③については、地域コミュニティの大切さを共有するため、条例にその果たす役割を位置づけること自体はいいと思う。ただ、条例に位置づけても加入促進につながるかは分からない。	民間で人事を長く担当したが、地域活動においても人材育成が課題である。いま〇〇君が頑張ってくれているが、彼は行動力があり、校区外へも出かけていき、人的ネットワークを築いて帰ってくる。今後、本業で多忙となるだろうが今後も「創る会」代表として尽力してくれる。応援したい。 (1) ①では、自治協の「ブログ」班が情報発信している。また自治協部会「創る会」の〇〇君もブログをやっている。アクセス数が伸び悩んでいるので、紹介してもらえると有難い。 ②については、J Aが近隣にあり、現状で困るという声は聞かないが、クレジットカード決済ができると便利かもしれない。公金の適正使用は当然であるがチェック体制があればよい。僅かなポイント付与を問題視するのはナンセンス。 ③については、地域に小学生やその親世代はいるが、自治協活動への参加は少ない。自分自身もそうだったが、現役世代は忙しく、地域へ関われるのは定年後。 ④については、役職の兼務は、校区自治協議会会長と町内会長の兼務が大変であった。2年前に総会に諮り、分離した。他の役職も兼務はあるが対応できる範囲だと思う。大勢での役割分担はできればいいが、担える人材は限られている。もちろん行政からの依頼事項を最小限に減らしてもらえると有難い。 ⑤については、公民館とは連携できている。Wi-Fiは、今のところ必要性を感じない。 ⑥については、西区企画振興課の支援もあり、現在は、〇〇大と繋がっている実感がある。〇〇くんの頑張りもある。12月に〇〇の件で〇〇大に講師として呼ばれ、新聞の担当者と出席。企業と自治協議会の連携について学生に講和。 ⑦については、会費の使途の明示や活動内容の見える化については、総会等で説明を尽くしており、特に問題はない。 ⑧については、事務所は公民館の一部を間借りしている。今のところ不便は感じていない。
398									①では、地域活動の必要性、参加の意義を周知。地域活動への理解が進めば参加者は増える。 ③は、条例は自治協運営の指針となるものにしてほしい。 条例で自治協の構成メンバーを明記することで、地域が担う役割（すべき事、やらなくてよい事）がはっきりする。保護司、少年補導員、民生委員との関係も明記されることを希望。	(1) ①は、配布物は見らずに捨てる人が多い。掲示板の活用が有効。 ③は、緩やかなつながりとは何を想定しているのか。イベント参加だとすれば、更にイベントを増やすことになり、役員は疲弊する。 イベントに参加するだけでは地域とのつながりはできない。イベントを手伝ってくれる人が担い手候補になってくれることを期待している面もある。 ④は、一部の役員で地域活動を担っている現状のままではスリム化は難しい。特定の役員への負担が更に増えるスリム化だけでは成立しない。必須事業を減らす等、全体の見直し必要。 ⑧は、民生委員の推薦を依頼されるが、民生委員は自治協の構成メンバーではない。 民生委員、社協、町内会の関係が整理されていないため、地域での役割分担が難しい。 会長の負担が大きく、なり手がいない。ボランティアでは、なり手が見つからない。役員報酬の検討。
399									①は、交通安全や見守り、街路灯、清掃活動などの周知。 ②については、自治協と自治会・町内会では対象者が違う（町内会未加入者を自治協は除外できない）ため、区別して整理する必要あり。 ③については、町内会への加入義務付けを条例に明記できないため、効果は期待できないが、根拠の裏付けにはなるだろう。ないよりはあった方が良い。	・自治協と自治会・町内会の違いを明確にし、ボランティア精神に頼らない持続可能な地域活動のあり方を構築する時期。 (1) ①については、I Tの活用。新しい手法を用いて若年層を取り込む仕組みづくり。 一方で、地域の担い手は主に高齢で紙以外の媒体での情報伝達が難しい。 ②については、クレジットカード決済や電子マネー利用等による補助金の利用制限。 (今後、補助金が減額になると想定してる) 地域も行政も従来通りのやり方では運営できなくなる。新しい仕組みづくりをそれぞれの立場で構築していくことが必要。 ③については、自治協と自治会・町内会では対象者が違う（町内会未加入者を自治協は除外できない）ため、区別して整理する必要あり。 ④については、担い手が楽しめる範囲で負担にならない活動 行政から地域へ依頼する際は内部で調整し、重複しないように。 行政は計画は立てるが、動くのは地域。実際に動くのは誰か、具体的に想定した計画策定が必要。 担い手不足により年齢や体力的に支援が必要な人でも名簿上は支援者にならざるを得ない状況。 町内会未加入者の取扱い。 ⑦については、現状の加入説明は、情に訴えているだけで理解を得にくい。 ⑧については、役員は時間以外にも電話代等の金銭的負担ある。 手当を増額できれば地域活動に本気で取り組める人が増え、優秀な人材を確保できる。
400									③については、他都市での条例の具体的な成果（未加入世帯は減ったのか）を資料として提示されていないと判断できない。 成果がなければ条例をつくる意味ない。	(1) ①については、市政だより等の市広報の効果については懐疑的。 防災マップ、インターネットを使えない人向けに紙媒体で提供すべき。 ②については、災害備品の購入費用不足のため補助金増額希望。 クレジットカード決済や電子マネー利用等による補助金の利用制限。 防犯カメラの設置費用は市が全額負担すべき。 ③については、役員は土日夜間もボランティアで地域を支えている。緩やかなつながりでは地域活動できない。 ④については、行政からの依頼はあっていいが、実施については校区に任せてほしい。現状の依頼は校区にとつて有意義とは思えないものも多くある。 ⑤については、公民館職員は少ない予算で公民館事業を苦勞しながら工夫して計画している。公民館予算の増額。 ⑥については、講師の情報提供、紹介。 ⑧については、自治協の専用施設（Wi-Fi完備）。

401									①については、地域で地道に継続的に活動している交通安全や見守り、街路灯、清掃活動などが広く知られていない。 ②については、人が集まると絆ができる。地域活動は絆づくり。 ③については、条例策定で地域にメリットがあるとは考えにくい。地域からの質問に自治協は答えられない。市や区が説明するにしても負担が増えるだけで成果は期待できないのでは。	・「共創」の意味を理解している人がどの程度いるのか。わかりやすい言葉で説明しないと浸透しない。 (1) ①については、自治協だよりの広報（現状で不満なし）。 ②については、コロナ禍で新任役員との関係構築が難しい。希薄にならないよう役員の絆づくり。 ③については、役員が楽しみながら活躍することで絆が生まれる。緩やかなつながりでは、後継者が育たない。 ④については、地域活動には経験と実績が必要。役員にノウハウを継承していかなければ地域活動が縮小しかねない。 ⑦については、加入促進には既存のチラシを使用してる。内容に不満はないが、自治会・町内会の必要性を市がもっとPRすると説明に要する時間縮減に繋がる。
402									①については、高齢化や人口減が大きな問題。活性化にもつながるような情報発信は必要だと思う。 しかし、島民の思いを考えながら発信する必要がある。 ②については、公民館の事業が島の生活に関することを取り入れてほしい意見はみられる。 高齢者が集える場としての工夫がほしい ③については、島での条例への明記の意識は役員の中でも重きにはとらえていない。（今がほぼ強制加入で自治会が成り立っており自治会の位置づけは確立されているから。）	(1) ①については、〇〇は自治会と自治協が一つずつ。本来は広報誌などで周知したいが、ならば誰がやるのかで継続的な活動につながらない。ただし、自治会としてのことと自治協としてのことが混在するため、自治協のみでは支援を求められない。 ②については、島のインターネット環境などが向上すれば、動けることも出てきそう。 ③については、小中学校ともに子供が減っている。将来の児童0も学校長からは話が出ており、定期的な学校との協議も行っている。子ども会も含め小さな規模から今は無理なく楽しく子どものための活動はできているが、児童数激減に対する課題の方が念頭にある。 ④については、島では掲示板の活用、回覧や全戸配布も問題なくできている。また、直接伝えることでも周知は可能なので、特に問題はない。 ⑥については、島では漁協とつながりのみから、これからも連携して島のことは取り組んでいくことになる。 ⑦については、自治会も含めた話になるが、用途はいつでも開示できるようにしている。（開示を求められたことはないが。）
403									①については、校区では自治協議会会長等の経費はある程度認めているが、自治会長への経費が現状出せない。校区では自治会長に出席を求め責を負わせていることもあり、運営費の割合を高くできないかという思いがある。 青パトに乗務いただく協力者の高齢化 ②については、自治協だよりも不定期に出しているが、ホームページなどのネットなどを介した情報提供は校区内の高齢者には周知が難しい。当面は紙による配布で見ってもらうこと、掲示板を活用すること、人を介した情報の伝達などに頼ることになる。 ③については、条例で自治をしばることはできないだろう（期待はもてない）	・校区では子ども会の組織が解散していることで、こども達に地域のなかで触れ合える機会をつくり、再組織化したいのが希望。 高齢者も多くいるが、子どもたちが元気に動いていない校区には活性化はできないと感じている。 (1) ①については、市政だよりの使い市に広報いただくことは重要だと考えているが市政だより自体が非常に見にくい。もっと大きな字で簡明に伝える紙面として広報できないかといつも感じている。 地域コミュニティを实践するうえで市の役割は大きい。 ②については、〇〇校区は高齢者の割合も高く、インターネットなどを個人で活用している人は一部にはいてもほとんどが広報物や連絡による情報の収集になっており、地域での日常の交流や掲示などからの情報に頼ることにならざるをえない。 ③については、〇〇校区では校区の子ども会が解散しており、改めて体制づくりを行いたい。分譲住宅の新たな子供たちと親を招いて各自治会別に歓迎会を行っており、地域参加へのきっかけづくりにしている。子ども達への取り組みが高齢者も含めた地域活動へつながれば良いと思う。 ④については、〇〇では、自治会長への比重を重く置いている。自治協定例会の前には、自治会長にて協議をし方針を決めたうえで定例会に臨んでいる。自治会長に意見を求める機会も多く、固定されている必須事業の柔軟な取り組みなどからスリム化につながらないか。 ⑤については、〇〇校区では自治協、公民館、学校は三位一体で取り組みを行っており、今後も変化はない ⑥については、学校との連携以外に幅はない。校区内の企業などとの連携は進んでいないし、協力も薄いのが実情 ⑦については、自治会の加入は8割弱あり、住民の理解と協力は得ていると認識している。新築にともない新たな住人となった方々には歓迎会を各自治会では四半期ごとくらいに行い、自治会加入につなげている。特に問題はないとの認識。 ⑧については、現状でも公民館に事務局を置き、これ以上での機能強化は必要ないと考える。

404									①については、町内自治会が情報源を発信できること、そのうえで自治協が校区内に知らせるような形があればよいが、SNSなどでは高齢者を置き去りにしてしまうため、紙媒体も含めて発信できるのが理想。 ③については、条例で知らせることは一つの方法ではあるが、町内自会への加入を縛るなどはできないこと、また義務付けられても自治会としてさらなる機動性などの向上は難しく、自治会の機能を下げることにもなりかねない。	・今も災害のみならず、防犯や見守りなど地域での活動は各町内会長はそれぞれの思いで日々動いてくれている。私も昼夜を問わず、連絡を受けるとベストを着て活動している。〇〇校区ではおやじの会が臨機応変に動いてくれており、継続的な人のつながりが地域コミュニティの核になることを期待している。 (1) ①については、自治協だよりを単独で発行もしているが、公民館だよりと一緒に広報するのが住民には見やすくなりやすいとも感じられる。 ②については、QRコードを活用した催しなどの発信を行っているが、多くの活用には至っていない。スマホを持つ高齢者が多くないことも要因にあり、紙媒体の充実も当面はあわせて行っていく必要を感じている。 ③については、〇〇校区では、「おやじの会」の位置づけをどうするかが重要だと感じている。うまく取り込めれば、地域コミュニティづくりには幅が広がることもあり、新しいものが生まれるきっかけにもなる。市の中でも動いてもらうことは有用 ④については、特に民生委員の問題は、民生委員自体によく聞いてもらい、（何が前に進めないかの理由も）必要な負担は行政のカバーによる分担を行うことで効果が出てくるのではないかと。これは金で解決できる問題ではない。 ⑤については、現状連携には取り組んでいる。特になし ⑥については、〇〇では〇〇校区認知症高齢者の地域ケアを考える会が立ち上がっており、〇〇、〇〇、〇〇などの医療介護機関も交えて定期的な会合や情報共有を行っているが、情報共有の意義は大きいと感じている。 ⑦については、住民に開かれた組織づくりの理想はわかるが、現実的に校区の世帯7000、人口の17000をくまなくは厳しい。自身の町内会でも1000世帯2600人のうち、加入世帯は約700。協調性もない世帯や困っていない世帯なども面倒をみれるかというのは困難であり、手を出す必要はないと感じている。加入世帯での自治も精一杯である。 ⑧については、自治協事務局は現状くらいがよく、公民館との連携や活用がよいと思うため事務所機能を強化し大きくすることは特別必要だとは思わない。
405									①は、自治協でHPを設けたりできればよいが、今の〇〇校区では高齢者がおきざりになりそう。自治協の広報紙での提供でまずは周知していくのが良いと考える。 ②は、〇〇校区には〇〇神社があるが、自治協（地元）に対する協力が全くない。本来は地域の顔であり、知名度も高いことから地域が一丸となって地域づくりにすすめてもよいと思うがうまくいかないところ。 ③は、条例には期待できない。条例ができて強制することはできないはず。自治協が果たすべき役割や町内自治会が重要ということを条例に付しても効果は期待できない。	(1) ①は、自治協は軸にならないといけない。 ②は、ホームページをつくることや情報を発信することはこれからの重要なテーマとも思うが、高齢者の情報の伝達には難しい面があり、当面は紙媒体や役員の広報による取り組みを重点的に行う必要がある。 ③は、子供会を強制加入とすることは悪いことではない。〇〇校区では子ども会の加入が減っているのは親が負担に感じていることから。親の負担を軽減することと子ども達のつながりを持てる機会を作るのは重要だと感じている。 ④は、行政との連携は重要。校区としては取り組むものは取り組む姿勢で動くこととしているが、本来はやるべきことや意義を一番理解しているであろう行政（国、県、市など）の出身者が地域に協力をしない。 スリム化は検討すべきだが、やるべきことはある。 ⑤は、公民館職員には自治協議会との連携の重要性と共同で取り組む姿勢を十分に理解してもらいたいと思う。 ⑥は、企業が協力していくことは大切だが、企業が社会貢献として協力をするのか、自治活動の中身にもからむのかでは違いがあるため、事業への支援協力にとどまっている。 ⑦は、明示をどのようにするのかは、検討しないといけない。自治協としてのみでなく自治会の使途にも波及する。 ⑧は、〇〇公民館では現在、地域団体室の一部にデスクを置きパソコン等も設置しているが、地域団体室がサークル等で使用中の場合は作業ができないため、独立したスペースを設けることを望みたい。 常時協議なども可能なスペースを設けることで〇〇校区では十分に機能する。
406									地味な事業への参加者不足 町内での共同作業が少なくなっており、つながりが希薄になっている。 JR沿線沿いの急激な都市化（集合住宅ばかりで、住民の町内会活動への関心不足） 共稼ぎ世帯の増加によるこども会加入者の不足 (1) ①については、町内会未加入者への対応（新規住民への周知） 町内会のイメージ払拭（役がまわってくる、変な仕事を押し付けられる） ②については、公民館の存在が大事 公民館機能は充実させるべき ④については、補助金の使用方法のしばりを改善してもらいたい。 カード決済 ⑤については、公民館活動の充実をお願いしたい。 住民が参加しやすい事業の実施 リピーターになってもらえるような事業 公民館がまだまだ狭い 館内の使用制限を緩和してもらいたい ⑥については、〇〇商工会やJAが独自で地域貢献活動を行っているが、自治協議会との連携は今のところ行っていない。 ⑦については、会食を伴う行事は参加者が多いので、加入促進のためには飲み食いは必要 子どもも参加できるものは子どもだけが参加し、その親が来ることは少ない	

407									③については、せっかく条例を作るのなら、町内会加入について必須するとかしてもらいたい	URに町内会加入の大事さを認識させるべき 今回の検討委員会のメンバーに自治協議会会長の数を増やすべき。大学の教授やNPO代表などが机上の論理だけを述べられても、現場には響かない。 (1) ④については、要支援者名簿の取扱いについて、各町内会の負担が増している（今後意向確認未回答者も登録されることに伴い） 広報誌の配布も負担となっている。 町内で工事がある際に、町内会長の同意の印鑑を押させているが、あれも町内会長からすれば負担感は大い ⑤については、公民館にフリーWi-Fiは必要 ⑧については、町内会長へ役所から手当てを出すことで、町内会長のなり手不足は幾分解消されるのではない か？（昔の町世話人制度をうまく改正しては） 事務局を安定させることが自治協議会を安定して運営することができる。（会長・副会長などは規約で任期が定められているので）
408										町内会・自治会長の任期が長期化し、後継者不足が深刻（町内会役員の高齢化により、町内会行事の負担感が増している） 以前の自治会連合会時代（H16以前）に比べ負担感が増えている。 (1) ④については、役所からの依頼事項が多く、自治協議会会長の負担感は大い ⑥については、NPO組織による校区をまたぐ連携は必要 ⑧については、自治協議会に事務員を置くことにより、役員が細々とした事務仕事をやらなくなることで負担の軽減になっている。 優秀な事務員の継続雇用が問題
409										(1) ④については、自治協議会は任意団体なのに市からの依頼が多い ⑤については、公民館が自治協の窓口として機能していくべき ⑥については、近隣のNPOや商店街、介護施設、障がい者施設などと連携して安全・安心の取り組みを構築することが大事。 市の職員の校区行事参加を容易にするための制度をつくるべき（特別休暇か職免） ⑧については、役所と自治協との関係性について見直すべき（自治協会長の負担） 校区の運営については自治協
410										(1) ②については、まず、離島であるため市内から遠く、交通が遮断されることがあるため、インターネットの活用は活用度が高いが、通信回線速度が遅いため十分活用できない。回線を都市部並みの整備をお願いしたい。
411										(1) ①については、町内会は町費で運営し、加入者が減ると運営できなくなる。特に小さなアパートは加入率が悪い。転入者については市の方で加入を勧めてほしい。 ②については、自治協ブログの開設を検討している。インターネットやSNSを使って地域情報の発信を早くできるようにしたいので、それを活用するための支援をお願いしたい。 ③については、若い人を地域参加の繋がりをつくるためには、子ども会を確立することで、子供たちに親がついてくるので地域とのつながりができる。そのため子ども会への加入は強制加入としている。 ④については、無駄な活動はしていない。 ⑥については、連携してみたいが、取り組み方・情報が身近にない。地域行事にNPOや学生を活用できないかと考えている。
412										①については、自治協だよりなどで情報発信はできていると考えている。 ②については、定例連絡会を2か月に1回開催し情報共有や交流の場としている。 ③については、地域コミュニティは大切である。必要なものである。条例化されることで、地域活動を行う上でものを言いやすくなることが大きい。条例化に賛成である。 (1) ①については、自治会が防災要支援者登録者以外の把握する取り組み ②については、Wi-Fiの整備 ブログを町内会で活用できるよう広めたい。そのためのブログの作り方等活用のための研修やツールの支援してほしい。 会議が多く郵送やインターネットの活用で可能なものは代えて、会議を少なくしてほしい。 ③については、若い人と高齢者がコミュニケーションをとることが難しくその支援は必要。参加しやすい環境づくりが難しい。 ④については、自治会の配布物が多く負担になっている。 自治会退会者が増えている。高齢や体調不良が理由であるが、活動できる人が少なくなり自治会組織（町内区分）の見直しが必要となってくる。 ⑤については、うまくいっており問題ない。 ⑦については、各自治会はできている。 ⑧については、やる気のある人が縦横の連携を図ること、特にこどもに関わる見守り等は小・中学校との連携した取り組みが必要。

413										①については、市政だよりの区版は今の1ページでは少なく、もう1ページ増やして情報を掲載してほしい。 ②については、校区内のほとんどが集合住宅団地のため団地内にコミュニティ施設を作してほしい。 ③については、地域コミュニティは大切であると思うが、条例文案を見てもないとなんとも言えない。	(1) ①については、公民館だより、自治協だより、〇〇（年4回発行）で十分。 ②については、公民館へのWi-Fi設備は、今後の活動のためには必要。 ③については、校区事業を行ううえで、人材情報、NPO、大学生などの情報がほしい。区の窓口で紹介をしてほしい。 ④については、区レベルの団体活動に必ず出ないといけないか疑問で負担感がある。（特に男女共同参画は校区レベルで頑張るので区レベルはなくても良いのでは。） 地域が参加する区の行事の見直しをしてほしい。 情報交換が必要であれば年1回でよい。 ⑤については、十分にやってもらっている。 ⑥については、市のホームページに情報があるが、探しづらい。 ⑦については、自治会に入らない人が増えている。加入促進チラシなどの存在を知らない。取り組みへの支援を継続してもらいたい。 ⑧については、ほとんどボランティアで実施している。事務局員あと2人分の支援が必要。
414											役員のなり手がいない 今までは、行事の後に打ち上げと称して「飲みにケーション」を行い、そこでこれは！と思う人を一本釣りして地域の活動の担い手として引き入れたが、これからはそうはいかないので、困っている。 (1) ①については、市政だよりが、どれだけの人にみられているのか？資源を使っているのに読まれているのか？〇〇は毎月「〇〇」を発行し地域の情報を発信している。 回覧ができないので、世帯配布にしている。 ②については、不得意分野だが、今後は積極的に導入しなければ、と考えている。 ④については、町内会や隣組の中には、輪番制で会長を決めている。
415										①については、いかに情報を発信するか、非常に難しい。 そもそも町内会や自治会とは？どう住民に理解してもらうか。また必要性をわかってもらえるため、行政も協力（アイデア）してほしい	(1) ①については、町内会や自治会の必要性をどう住民に理解してもらうか苦慮している。 ②については、自治協のHPやブログで発信が必要と思うが、見てもらうための工夫・・・つまりPCの能力に長けた人などの発掘が難しい。 ④については、校区住民は多いが、ほとんどが新しく入ってきた世帯で、お互いの顔を知らない。どうしても少ない人数で役を兼任することになり、負担が大きい。 ⑥については、〇〇大とのつながりはあるが、企業やNPOとなると、どこにどんなところがあるかわからない。
416										③については、もともと人と人のつながりが強い地域のため、必要性は感じない。	公民館に市のシステムを導入することはできないか。 同じシステムを使うことにより事務の負担が軽減できるのではないかな。 (1) ①については、自治協で回覧文書や各戸配布物を作成しており、高齢者が多いのでブログなどの必要性は感じない。 ②については、島での容量が決まっているので、今の段階では実現は無理だろう。 共創補助金でのクレジットカードの利用を認めてほしい。 ③については、緩やか・・・長い時間がかかりそう。 役員全員が高齢者のため、次の世代の担い手探しが困難。 ④については、③と同様、高齢であり、いくつもの役を兼任しているため負担が大きい。必須事業について理解はできるが実施するにあたり住民の理解不足からか負担が大きいものもあり見直しできないか。 ⑤については、公民館が情報も含め中心となっている。集まりの場であり、十分に連携も取れている。
417										②については、各部会や周船寺川を守る会など ③については、条例のイメージがわからないが、自助・共助・公助、ちいきの果たす役割を明確に示してほしい。	(1) ①については、自治協だよりで活動内容をお知らせしている。 ③については、子ども会の加入率が低く、存続が危ぶまれている。 町内ごとの会の活動は活発。役員になれば区の会議等の出事が増え、負担が多くなることを嫌っている。 ④については、行政主催の会議が多い。 ⑤については、すでに自治協と公民館では両輪でまちづくりを行っている。 ⑥については、〇〇大や宅建協会などとは連携している。 ⑧については、今年度はLINEで情報共有を図っている。
418	○			○					○		
419	○	○	○					○		・地域コミュニティの価値、場の裾野を高め広めるために交通体形の見直し。〇〇に限ってみると幹線を大型バスで、区間によっては重複し渋滞の原因にも。 そこで、地域に根ざしたコミュニティバス（中型等）を、〇〇、〇〇駅（地下鉄）を支点に郊外住宅地を回るシステムにし、車、自転車利用が困難な高齢者対策にもつなげてもらいたい。〇〇には新しく関係施設が〇〇近くにもできるし、利用しやすくなる。又、西鉄の経営面でもプラスになるのではないかなと思われる。	①地域活動に各種の組織があるが、関係先（窓口）が多すぎる。専門的に一本化し、その分活動人員が増員できるのではないかな。 （例）福祉的な相談 区役所福祉課と社協とのつながりなど、その関係、その先はあちらの部署でと、完結まで一環するようなしくみづくり。 ②大局的な人財育成に向けた取り組みを。地域の子供会等の育成を。部活や塾通いには、熱心になるが地域活動の中で育つしくみの方が結果、甘やかさず社会人として、打たれ強い（言葉が不適切だが）成長が期待できるのではないかな。 模範として実行してみては。
420	○		○	○							生活様式の多様化、価値観の変化などにより、地域とのつながりが薄くなっているように思います。子育てしていく中で、地域の方々に助けられていることが沢山あり、地域の中で学ぶこともあります。 もっと、多くの小学生の保護者、子どもたちに、自治会とのつながりを伝えていける方法があればと思います。

421	○	○	○	○					防災と防犯のために地域コミュニティは欠かせないと思う。ぜひ、いざという時に協力できる体制づくりをする必要があるのではないでしょう か。	防災など、区役所からの情報や取り組みのアドバイスなどがあるとよいと思う。
422	○	○	○	○	○	○	○	○	市民が「地域コミュニティに関心が薄いのはなぜか」、「市や地域の自 治会に何を期待しているのか」ということごとについて、多くのサンプ ルによるアンケート集計があれば、それを参考にして活動したいと思 う。	町単位の自治会長（役員や各種団体の役割も含め）の任期が、規則で1年または2年として定められている。 （再任規定があるものの多くは敬遠） 1年の任期では、与えられた定例業務を行い自治協議会等の定例会に出席しているうちに、やっと地域のこと や組織また自治会長の役割が分かってきたところで任期が終わり、次の人へ引継ぐというのが現実です。 これでは、地域の改善・改革すべき点を見つけることも行うこともできず、なんとなく時間が過ぎて自治会長を 交代していつているのが実情です。 使命感をもって自治会長や役員などを長期間担うという人の出現を待つだけでは、市が期待する効果が出来な いではありませんか。地域住民が、地域コミュニティづくりに感心を持つ活動を活発に行う必要があると考え ます。 （1）①～⑧に、書いてあることばは理解できますが（特に①）、それぞれの項目について、具体的な支援内容が 分かりません。
423										1 課題について、原因が究明されていない。なぜこうなったのかがない。 原因を究明しなければ解決しない。 状況のみの記載がされており、本当の現場がわかっていないようだ。 2 元来、農業主体の時代、地域は協力せざるを得なかった。現在会社員が増えた中でどうなのか。 3 現在、若者が参加しない。子供会に入らない。 夏祭り等に父親が参加できる行事をすることとした。水鉄砲、竹馬づくりなど。 30人ほどの若い父親の参加があり、それをきっかけとして参加（役員として）してくれるようになった。 4 きっかけ作り（子どもと一緒に）父親を引き込むと女性もついてくる。 地域との出会いの場をいかに作るか。理論ではなく、つながりを作るための動きをする必要がある。 5 価値、卓上の理論。ではどうするのか？ 6 人と会い、話をすることを楽しみとしている高齢者がいる。ZOOMなどでは駄目である。 7 公民館は高校生から4～50代の利用がない。小学生、高齢者はよく利用してくれている。地域活性化のた めに30～40代の人が地域に参加することが大切。 8 各部会の活性化を図ることも重要である。各部会間の横のつながりをどうするかも問題である。 9 会議も報告だけになっており、議論も必要ではないか。 10 現状を整理すべき。現状の前になぜそうなったのか分析がない。 11 地域への所属意識が薄く、高める必要がある。地域に対する意識がない。
424										町内会長も任期が短い人がおおい。（1～2年。最短は半年交代） しかし、例えば10人中7～8人が1～2年で辞める。もう少し続けてよいという人2～3人。この人たちをいかに 取り込むのが課題か。PTA役員経験者を取り込むことも有効か。（女性の取り込み）。上記のような方々をいかに 取り込むか、入り口をどのように作るかが課題。 負担については、共創補助金の使途が限定されていること。町内会長が知らないという場合もあり、周知の場が 必要か。 自治協事務局の雑事をこなす事務員のような方を雇うことができれば、負担軽減につながるのではないか。
425										もう一声のアドバイスが市（地域支援）から欲しい。校区のことを一緒になって一生懸命考えてくれるような 人。 校区のビジョンを担当が持つべき。それを考えながら各校区、公民館ごとのアドバイス欲しい。 どの様に自治協としてメンバー集めができるのか、その勉強会、研修があればと思っている。
426										各自治協ごとでやり方が異なるので、自治協ごとにやることを分けてもよいのではないか。 校区によってP4①をすとか、⑧をやるとかなど。すべてを一緒にしようとする問題が生じるのではないか 市職員は、仕事としてやるが、地域の方はボランティア。熱意がそもそも異なる。熱意の強さを取り込めるひと がいと強い。 サポート（ドネルモなど）があるとよいか。 自治会・町内会の研修。自治会長としてどのようなことをすればよいかわかっていない人が多い。地域支援を強 化したいという気持ちはある。 熱意を持った人がいても、どこに相談すればよいかわからない人が多い。その場がない。 人材がいないことはない。見つけ、育てることが出来ていない。ボランティアの中でどこまで求めてよいのかも 困難。 強く言うと辞めてしまう。 行政のバックアップが必要だと思う。 ひととのつながりを強化することが会長の役割。 自治会・町内会の仕事を分散させることが必要か。仕事を他へ振ることが出来る人であれば良いが。 市の負担については、動員を求められること。民生委員が特に問題がある。 スポーツ推進委員の推薦も負担感がある。 自治会・町内会の尋ねる場所がない→公民館に聞いてくる。 P Cの操作もできない人がいる。

427										自治協と防災協会とがあまりうまくいっていない。防災は、災害の際には、高齢者等を家まで迎えに行き、公民館まで連れてくることを考えているが、自治協が非協力的。自主避難の際には、食事はでないが、それを防災が自治協でなんとかできないかと相談したが、そこまでする必要はないという結論だった。 スマホを持たない自治会長がいる。 部会長は、得意分野なので、なり手がある。 自治会長は苦情受け係のイメージ。ほぼボランティアの状態ではなりてはでてこない。 部会の人は町内でも頑張る若い人が多い。 自治会となると、60代でも若いということで声をかけていない。 完全に仕事をリタイアした人（65以上）との考えがあるようだ。 餅つきの際、若い人は食べるだけで何も手伝わないという愚痴をいう自治会長がいた。 そういう考えではだめで、まず来てくれていることに注目すべき。 支援課との関わりは薄い。 町内ごとの夏祭りを行っているが、負担感があるのであれば、まとめられないかと提案したことはあるが、駄目であった。
428										自治会をどのようにしてくのかが見えない。それぞれの団体は動いているが、それで？が見えない。皆さんがどれだけ認識しているかが不明。説明はし、聞いてはきたが、賛同もなし。どこまで意見が出てくるか、意見が出てくるとは思えない。 市側の説明が足りないのではないか。きちんと説明してほしい。意見が出てこないのであればそれはなぜか。行政と自治協とのかかわり方について、助言、説明不足を感じる。 地域の今の一番の関心ごとは、災害のこと。自治会などの役員が重点ポイントをおき進めていかないといけない。横のつながりが大切。 みなさん、アイデアがない。飲食だけで終わってしまう。自治会自体の事業が少ない。敬老会や子ども会くらいか。 自治会レベルにまで必要なものの説明は丁寧にするべき。 行政がリードしていく必要がある。人口などをみながら先のことを見えている人がリードしていく。
429										町内会がしっかり運営されていないと、自治協、部会も困難となる。 最近、町内会長も輪番制を取っているところが増えてきている。 任期は、2年であるが、様々な人が入ってくるという利点はある。 輪番制ではない町内会については、やはり次の担い手探しに苦労しているようだ。次期候補者を探す際に会長が知っている人の狭い範囲で探す。さらに、男性であることや、退職後であること条件を付けている会長もいる。 担い手がいないというより、知り合うきっかけがないということでは。そうであるのに、担い手がいないと決めつけている。 もう一つ下の組織、組長はなぜか女性が多い。 会長の仕事が多すぎる。仕事が多いとは、兼務が多い。以前は、青少年、こども兼務がなかった。 おやじの会等の若い世代を入れていく。それもできることをできる範囲でやってもらう。自然に地域活動になじんでもらう。 市職員がどれだけ地域の活動に参加しているのか、常に疑問である。自分の住んでいる地域の町内会長の名前、町内会名などを知っているかなど。 市役所は部署ごとに話を振ってくる。似たようなことをなぜばらばらに言ってくるのか。同じようなことをするのに別々に来る。しかも、それは別の課なのでわかりませんという答えが多い。 小さな積み重ねが負担感となってしまう。動員も何人という指定でなく、できるだけなど声掛けを行うとよい。 若い人が背を向けられないような活動。PTAで嫌な思いをさせないことが重要か。 子どもの事業について、ソフトボールから別の協議に変えよう（今、野球をする子供が少ない）として、周りから色々言われ二度と地域に協力したくないといわれたことがあった。 イベントは、防災や人材発掘の場である。そこで声掛けを行うとよい。 それぞれの尺度で少しだけ無理して楽しくやっていく。ハードルを下げる。 市については、自分事として考えられるように持っていくことが重要。研修も一つの手。町内から一人ではなく、何人か出ないと困るだろう。 次世代（保護者世代）に背を向けられないようにするためにしなければならない。子ども育成部の人たちに、楽しい、面白いと思ってもらうために。
430										条例化すると加入への話がしやすいか。 担い手不足については、若い人たちとの考えが異なる。新しい方との発想が必要である。 チラシを配布し、このような活動を行っているとの宣伝が必要。 大運動会は自治協、祭りは町内会。町内会長の負担増 自治協会長、自治連会長と町内会長、社協などは兼任が多い。
431										若い人はいるが、周りの反発があることが多い。意見の言いやすい会議の場になればいいと。 おやじの会が頑張っている状況。 自治会、町内会長へは、年に1度は勉強会などをすべきではないか。
432										町内会に加入しないという人が転入してきた。町内会長が説得しにいくと、決裂した。（今後町内会の助けはないと言ってしまった） 若い人と、ベテランは歩み寄ろうとはしている。苦手意識。両者が互いに持っている。 防災に関しては、理想的な話をされる。⇒安心マップ、要支援者名簿 （つながりがいない人がある）

433	○			○			○	①は、市民理解とあるが市から必要に応じての情報開示を求める地域の事、特に自治協を始め各種団体の主旨および活動内容を発信する。（地域の方はこういった団体がどのような活動をしているのか判っていない） ②は、自治協、公民館が一体となって主導し、声掛けを行い色んな人や異業種の声の吸い上げコミュニティ創りに生かす 自治会とは別に交流会組織づくり（自治会と同じ顔触れになる心配） ③は、条例化は先ず条例化することにより今後こういった影響があるのか精査する必要がある（条例に縛られることがないように） ※資料だけでは理解しきれず（勉強不足）、そちらの主旨とかけ離れているかも知れません。	提言書や報告書を一読させて頂きました。 問題はこれをどう生かして住民に理解を頂き、どう調和を図るか 自治協、町内会は永久に存在します。しかし人は変わります 報告書にもありましたが、どうやって人員確保し、運営していくか 後継者の育成や人材探し、継続性の確立 何々をしましょうと提案はあるが、具体例を示さないと住民には分かりづらいと思う また、ワークショップなど発言し易い環境づくりも必要 ”和”をモットーに分かり易い言葉で興味を持って頂くことが必要でしょう 多様化した現在は人それぞれに意見があり、正論を見出すのは不可能で、調和を必要としています
434	○	○					○	会館、公民館とありますが、やはり、少し敷居が高いのか、なかなか訪れるのが難しいと思われるのが現状でしょう。いざという時の相談窓口あるいは、掛け込み寺の様になれるといいですね！	今回の内容からは少し脱線するとは思いますが、現在、民生委員という役職があると思います。本当に信頼のおける方をお願いして頂けたら喜ばしい限りなのですが…。 過去に住民が何度か相談を持ち掛けられました。着替えている最中に入室してくる。「私に知らない事は無い」などの横柄な態度など…多忙かと思いますが、何卒配慮の程よろしく願いいたします。※幾等高齢でも女性は女性です。
435	○	○	○	○	○	○	○	①は、市が行うべき取組である広く市民に理解してもらうための情報発信の記述の後に、各自治協議会が行っている「命を守る」、「暮らしを豊かにする」、「地域を創る」に関連する情報発信の支援（予算面を含む。）の記述を加えていただきたい。 ②は、共創のまちづくり（イメージ）のとおり「自治協議会・町内会」と「小・中・高校・大学」等の教育機関との間の共有のための場づくりは実行されていると思うが、「自治協議会・町内会」と「商店・企業・NP0」等との共有のための場づくりや共創の接点がないと感じるので、この場づくりの記載が必要では。 ③地域コミュニティの価値を共有するため、その果たす役割を市の立場と自治協議会・町内会の立場で検討し、位置づけに必要な条例を積極的にスピーディーに進めていただきたい。	自治協議会や町内会に対する支援については（1）②⑤に関連して、新型コロナウイルス感染症防止のためインターネットを利用したズーム会議等を自治協議会や各団体等で行っているが、地域コミュニティの核となっている公民館でもこのズーム会議等を実行する機会や必要性もある。公民館におけるインターネット利用環境の確認を行っていただき、公民館全館の無線LAN利用環境や各部屋で有線LANの利用環境の整備が必要と考える。このインターネット利用環境に関する記述が必要ではないか。 ⑧に関連して、本自治協議会では、自治協議会の要である事務職員を市の補助金と自主財源で週3日（月・水・金の4時間）雇用し、年間約60万円（市補助金50万円、自主財源10万円）の経費を負担している。しかし、自治協議会の運営上週5日の5時間勤務が望ましいが、現在のところその予算の捻出（自主財源約30万円を超える金額が必要）は無理である。是非とも運営基盤の強化に関連する予算措置をお願いしたい。 市の意識革命等については、是非、依頼事項の削減に努めていただき、地域の負担軽減を進めていただきたい。
436					○		○		・役員に成り手がいない ・女性役員の登用推薦 ・民生委員の評価UP
437		○	○	○				1.スピード有る情報発信の構策と併せてお年寄りにも伝わり易い方法も。 （※インターネットのみで情報発信ではお年寄りにはハードルが高い様に思います。）	
438		○	○	○	○	○		情報発信という点では、今ある公民館便り（紙）もいいが、LINEなどうまく利用して公民館から発信してもいいなと思う。日々忙しくすごしているとお便りなどの情報は一回目を通してそれきりなので、タイムリーに伝えてくれると助かるな、と思う。また他の地域での催しなども、地域の公民館のアカウントを通して発信するのもいい。興味があれば少し離れた地域でも行くし、こちらの要望もリクエストしやすいなと思う。公民館がそういう情報交換・発信としての役割を担って、大きなつながりと連携していくといいと思います。	私自身は割と地域の行事には参加する方で、子どもが小さい時はよく利用していましたので地域コミュニティの良さは理解しています。また参加することで人とのつながりができ、より地域について考えるようになります。ただ、仕事を始めると圧倒的に参加できる機会が減りました。働くことが当たり前の今だからこそ土日や夜に参加できる趣味や教養を広げられる大人むけのプログラムの充実や参加しやすいシステム（ワンコインのチケット制）とかいろいろ工夫できるのではと思います。 参加するきっかけを得ることが地域を理解することの始まりだと思うので、時代に合わせた発信の仕方を工夫することが、今利用している人達と、今利用できていない人をつなぐものとなればいいなと思います。
439		○		○					地域コミュニティの様々な主体内・また主体相互間でインターネットを活用した情報共有できるしくみ整備を希望します。（自治会内の回覧をデジタル化するなどで活用する）
440	○			○				・現在、コロナ禍で人との接触が制限されている。昨年はいろいろなイベントが中止となった。この状態が続けば、制限自体があたりまえになって地域コミュニティの価値がどんどん低下していくことが危惧される。 個人的に何かプランがある訳ではないが、情報発信を強めていくことが大切だと思う。	
441	○	○	○	○	○	○	○	活動で示すものが情報発信されて欲しい。集会所や公園での集まりが広がり、有難さから大事にしたい思いが深まっていった欲しい。	自治会・町内会が核となる自治協議会との認識でおりますが、常に両者が「や」で結ばれて表現されるのは、後者は地域の諸団体（この用語はどこにも見当たらない）を指すのかと思われてしまいます。 時間的に余裕のある世代が、余裕のない世代を助け合える仕組み作りに創意工夫を凝らしていった欲しい、そのように努めていきたいと思います。
442		○					○		
443	○				○	○	○	価値の共有はとても重要なポイントだと思いますが、自治会へ加入されていない世帯が増える中、その様な方々へも行政から、地域コミュニティの価値を情報発信していただく必要があるかと思います。	地域コミュニティを高めるためには、様々な主体が別々に活動するのではなく、自治協議会や各種団体などで、役割分担をし、それぞれの専門性を共働で行っていくことが必要だと考えます。 また自治会へ未加入の世帯に対しても敵対視するのではなく、行政、公民館と協力し、サービスが受けれる環境を模索していく必要があると思います。（加入いただければ良いのですが）

444	○	○		○	○	○	○		地域コミュニティの価値の共有化について、クラブ活動の推進と高齢者への対策の強化、クラブ活動は会員のコミュニティを推進するため様々なクラブへの参画と推進をお願いしたい。（市主催の大会等） 高齢者対策においては、お助けマン設立を推進して頂きたい。	住民が自治会に価値観を見い出せる運営をしていきたいと思っているが共創のまちづくり推進委員会で目安になる指標を作成してもらいたい。
445			○	○						自治会脱退者が年々増えてきている事に対して一番頭が痛い。 理由として、高齢化又、親の介護、役員になるのがイヤと言う方が多い。 人の世話にならないとか、個人のわがママが多い。 できる人が、できる時に協力し合える又感謝する気持をもってほしい。
446	○	○	○	○					②の共有のための場づくりに関しまして、特に地域を中心に活動される、企業・法人・店舗等が地域活動に参画しやすい環境を作り出す。たとえばイベント、催事にスポンサー側立場となるだけでなく自ら場所を提供して住民と共に実施する。公共もその運営の手助けをする（認可や安全指導を簡単にし利便を計る）	1. 地域活動にボランティアを求めるのは当然であるとは思いますが、ボランティアの経済的負担を無くしてほしい（経費を認める） 2. 日頃のボランティア活動に個人情報保護法が障害になることが度々有ります。その中でも活動を求められる民生委員などは、今の時代一般の方では難しいと思います。任命する立場からでもお願いしにいく現状です。
447		○	○	○					地域コミュニティの単位が（市からの支援をみていると）自治協までに見える。コミュニティの基本は、町内会や、となり組の中のコミュニケーションが大切と考える。自治協や、自治会開催のイベントは、ほんの一部の人だけのたのしみになっているのではないかと？	自治協や自治会のイベントが多すぎる。現役で働いている人たちにとっては、イベント参加のノルマが多すぎて、地域コミュニティからキョリをおいている人が多くいる。 地域コミュニティの中で大切なものを中心に考え、むかしからやっているイベント等は、市からの補助なしで、自分たちだけで行えば良いと思う。
448	○		○			○				高齢化、1人暮らしの方が多く、コミュニケーションの流れが不足気味の所を感じたりもしており、どこまで立ち入って良いのかを？戸惑う所です。 今後の共創まちづくりに、期待、参加したく思います。
449	○					○	○	○		当共創のまちづくり推進に結構な事ですが 校区福祉のまちプラン策定（社協）や地域包括システム（市・民児協・社協）等複数のプロジェクトが混ざることの無い形で検討してほしい。 出来ることならば統一して、住民が理解しやすくしてほしい。
450	○			○					情報発信の件で、地震の時の避難場所が○○小になっていますが、先日は、○○公民館になったと町内会長だけにプリントが配布されましたが、町民の方が知らない方が多かったので、梅雨時期や、台風時期の前に、○○公民館も避難場所になっている事を、プリント配布で知らせたらどうでしょうか。	去年は特にコロナで行事の中止が多かったのですが、児童がいる家庭では、中止が分かる事も有ると思います が、学校行事以外の行事を行うか、中止にするかなどをプリントで回覧しては、どうでしょうか。 （例としては、○○町内のししまいの日にちとかぎおん、おくんちの日にちのお知らせとかをされると良いと思います。
451	○	○		○	○				地域コミュニティの価値の共有やありかたをある程度条例などで位置づけが必要と思う	・地域行事等の負担が大きすぎて、運営はもとより、それを理由に地域コミュニティへの参加をしがらない住民が多いと思うのでスリム化や負担減が必要 ・住民への理解の促進をして住民参加率を上げる
452	○		○	○					必要な情報と不必要情報を区分けしてほしい。 情報量が多すぎると思います。	各隣組を通して情報収集を行ってはどうかと思います。 ・災害が発生しやすい箇所 ・連絡事項のわかりにくい内容のフィードバック ・市に対して改善してほしい内容の把握と早期対策 昭和初期は、ご近所からの情報が得やすかった。
453	○		○			○		○		安心安全な町づくりの為には、各会長との密接な関係作り（会議等）が早急に必要です。コロナ以後に是非お願い致します。
454						○		○	自治会加入が任意なので、退会や入会拒否などがみられます。現在のままでは、自治会は小さくなっていき少数の会員、役員の負担になりそうです。	・自治会役員の引き受け手が少ない ・役員の高齢化 ・行事参加者の固定化　が課題です。 若者層が役員になってくれれば新しい知恵や方法があるのかと思うのですが、大学生が参加してくれるような組織づくりができればいいと考えています。
455	○		○							
456	○	○			○		○	○	情報発信は一方的にならないよう情報受信側に的確に届いてかつ理解されているかの確認が必要と思う。	地域活性化はどうすればよいかむずかしい一面が多い。 特に個人情報保護・プライバシー侵害の壁に直面する事が多々ある。 気難しく考えずに子どもたちと高齢者をつなぐ橋渡しの醸成ができればいいなあと思います。
457	○							○	男女共同参画と同様に、年齢においても若い人に限らず、高齢者の中にはキャリアを生かした斬新な創造が出来る優れた人材が豊富に存在する。 成り手が居ないことの解決は、埋もれている有能な人を、世代を超えて募集することが重要である。	町内会の役員を含めた自治協議会で活動している担い手の中心は、会社を定年退職等によりリタイヤした人達が多数を占めている。 現役世代では、勤務先の仕事が優先されるので、必然的に自治会の活動に制限があり、自身や家族にとっても無理が生じ、中途半端になることも多々ある。 従って、行政の取り組みを、多様化した社会へ提供をするには、ゆとりある高齢化世代が素直に望ましい。 （第二の人生を地域コミュニティで貢献） 但し、責務を求め難いボランティア活動と区別した　身分保証　並びに、職務に適した報酬により有能な人選を推奨する。
458	○	○						○	自治会役員の負担が大きい、町内役員の他に、他団体との掛け持ちも多く、地域によっては、神社、寺の役員の掛け持ちもある。 高齢化世帯が増加し見守り強化が必要	
459	○	○	○	○	○	○	○	○	「デビュー事業」など住民の交流に役立っています。	

460	○					○			地域で担い手づくりがむずかしい要因として、現役世代に時間的ゆとりがないこと、年金支給がさきのばしになったことで、定年が延長されていること、年金だけで暮らせないので、働かなくてはいけないなど、経済的に余裕のない生活をしている事があげられます。生活をもっと安定した政策にしないと、地域活動に参加することができないと思います。
461		○		○	○		○		
462		○		○			○	○	子供会、PTA等の活動が共働世帯の多くなった今、難しい時代となっています。一方長寿時代となり、活動できる人は多くなっているのに地域への関心が低いのが不思議です。
463	○		○				○	○	町内会に入りたくない理由に、「必要性（メリット）がない」、「入らなくても別段困ることはない」などと言った断り方をする人が多い。 このような場合、条例で「本来はみんな入るべきものですよ」という趣旨が整備されれば、例え「町内会加入は任意・自主的な参加」が原則であっても、町内会への勧誘の際に有力な指標となり、説得しやすくなる。また、内心加入しようか、すまいかと迷っている人に対しては、根拠を示されたら案外あっさりと加入されるかも知れないと思う。 条例等による位置付けは難しい面があると思われるが、町内会は、やはり全員加入が望ましいので、漸減傾向にある町内会加入への将来の見通しが厳しい今、是非お願いしたい。
464		○		○	○	○		○	①避難場所である公民館にWi-Fi環境が整備されていないなどのインフラ整備、公民館や自治協への支援が脆弱である（情報発信） ②共有の場づくりの前提として、コミュニケーションスキルへの支援が必要 ③まちづくり基本条例など、制度は必要と思うがそれを制度的担保に加入促進につなげようとするのは、本末転倒。 ①地域コミュニティ価値の共有化のためには町内会（自治会）の役割が大切 この点について自治への干渉を恐れ支援が不足している ②市行政全般を支える総花主義の自治協運営を目指すべきではない。区と自治協の役割分担 ③公民館はコミュニティ支援の拠点であり、支援の重点化が必要
465	○	○		○				○	個人情報保護のため、情報が不足している。
466	○	○	○						各項目毎の具体的指針の様な物が有れば、各自地域の特性に合わせて、実施する事も出来るかと思います。 各リーダー自身が、熱意積極性を持って、創意工夫をし、まちづくりを継続させる事が大切であると思います。
467	○			○			○		町内会に参加されない方が増えている。 是非行政として町内会への参画を呼びかけて欲しい 育成会（PTA）への参加者が減少している 義務付け等をお願いしたい

468										令和２年度は、コロナに明け、コロナで年度末を迎えようとしています。それだけに、今回の項目には、違和感を覚えます。私なら、 ①今年度、コロナの影響で、日常の活動に、どんな影響がありましたか？ ②それに対して、どんな工夫をして、活動に取り組みましたか？ ③そのとき、自治協議会は、どのような態度でしたか？ といったことを、聞いたかなあ、と思います。その回答を、（１）（２）の項目に応じて分類していけば、もっとリアルな現状が見えたのではないのでしょうか。 （１）のそれぞれの項目について、具体的な事例が集約されたと思います。 ・住民理解の促進…私たちの校区でも市の広報でさえ、マンションの入り口階の箱に、ドサッと置かれて、必要に思う人が、必要なときに持っていく形態の建物がいくつかあります。子ども会の案内をしようにも、門前払いの状態です。子ども会育成連合会は、小学校を通じて案内が出せるので、そうした建物の子どもたちの家族にまで届きますが、単位町内の子ども会は、そうはいきません。それは中央区の建物でも、よく見かけます。 ・参加しやすい環境づくり…ネットの活用も大事ですが、自治会・町内会の活動が、今、どの部分で求められているか、の追及も必要だと思います。あっさりとした休校で、子どもたちが失った「体験の機会」が、どれほど深刻なものか、そうした会の大人たちはわかっているのでしょうか。別紙に書いておきましたが、今年度、〇〇校区の子育連は、２つの行事しか実施できませんでした。「あそぼう会」（１０月４日）と「人形劇団ののはな&ボン菓子マストがやってきた」（２月６日）の２つです。 「あそぼう会」は、子どもたちに「ストレス」が溜まっている。何か、そうしたストレスを発散できる場が必要だ。との、大人たちの共通認識からスタートしました。７月から、換気の良い野外で、濃厚接触にならないためには、どのくらいの時間だったら、私たちは自信を持てるのか、というったことの話し合いを積み重ねて実施に至りました。 「人形劇団ののはな&ボン菓子マストがやってきた」は、１０月の「あそぼう会」の終了後、第２弾をやろう。という中で、「ふれあい動物園」や「ジャグリング教室」などのアイデアとともに検討されてきました。「ふれあい動物園」も有力だったのですが、「ボン菓子」と一緒にやったら、動物の暴走があるかも、という一抹の不安から、見送りにになりました。東区の子育連の機関紙「東区の子どもたち」に掲載予定です。 ・緩やかなつながりを生むきっかけづくり…そうした取り組みにその日、その時間に時間の取れるお母さんたちにお手伝いをお願いすることで、幾人かの幼児を連れのお母さんも参加してくれています。そうした幼児たちが、「大豆はこび」などにも参加して、まわりの小学生たちと声を合わせて、運んだ大豆を数えていました。 ・スリム化による負担軽減…誰にとつての「負担軽減」なんだろうと思います。私たちも、昨年度から今年度にかけて、「フルタイムで働く」母親が、子育連役員として活躍していくためにという試みをしています。それぞれの現場での必要を満たしつつ、無理のない活動形態を考えていくこと。ただ言葉として「過重な負担」といわれても、その当事者にしかわからないのでは、想像のしようがありません。 ・公民館による支援や連携の推進…そのためには、まず公民館の人的体制と財政的充実とが不可欠でしょう。公民館補助要員さんの研修が、もっと行われなければ、この言葉は、絵に描いた餅というほかありません。 ・多様な主体との連携強化…ある意味、コロナ下の今は、活動を見直すいいチャンスかもしれません。私たちも、ようやく二桁から４０名規模、７０名規模の子ども会を抱えています。しかし、「三密」を避けること、親の心配を考えると、「あそぼう会」や「人形劇団ののはな&ボン菓子マストがやってきた」規模のものだけでは子どもたちの日常に関わる活動をすることは不可能だと考えています。また、少子化のこともあり、単位町だけでは、活動が支えきれない子ども会もあります。今の「街づくり」の問題でもあると思いますが、ある時、一つの団地を作り、子育て世代を中心にどっと人口が集まり、数百人規模の子ども会育成連合会が生まれる。〇〇校区でも、１９８７年に２６７名で発足した〇〇小学校が、１２年後（１９９９年）には、６１１名になりました。しかし２０００年からは急速に減り始め、２０１４年には３００名を再び切るところまで行きました。ほぼ一世代だけの街ということが出来るかもしれません。 街を引き継いでいくための工夫が求められている気がしてなりません。 ・住民に開かれた運営や活動の推進…ここはまだまだ工夫の余地があります。まず対象が大勢の団体、私たちの「子育連」もそうですが、小学校の半数の子どもたちを会員にしています。少なくとも、活動をすれば、小学校でも話題にはなります。でも、様々な場所で陰でとまでは言わないけれども、見えないところで活動している団体と活動を広く広報していくことは、今後の課題でしょう。「オンライン」で、などという流れがありますが、その人にとってのコミュニケーションのあり方を、他社が決定していくのは、やはり違うと思います。 ・自治協議会の運営基盤の強化…事務局機能の強化も大事かもしれませんが、まず、自治協議会とは何か？という研修をしっかりとやることではないのでしょうか。聞いた話ではありますが、東区のある校区で、私たちと同じく、子どもたちの活動を実施しようとしたお母さんに対して、「あんた、そんなことをして、コロナが発生したら責任とれるんね！」と言われた自治協議会の会長さんがいらっしやるそうです。何のための「自治協議会」なんでしょう？そうすることで、今後の協力が得られると思っているのでしょうか。
469	○	○		○	○		○	○	積極的に参加して行きたく考えています	
470	○						○			
471	○			○					情報共有の方法	
472	○	○		○						
473	○			○						
474	○			○						
475	○	○			○		○	○		
476		○		○						

477	○	○		○						
478	○	○	○		○				コロナなので、つながりがますますうすくなっているので一方的な指示（とても上の方の）などは少しさしひかえて欲しい。（相手を知らないの）	みなさん時間をけずっているので、毎度クレーム（同じ方）の時間をとるのがもったいないと感じる。その方を一人こりつさせてもいけません。
479	○	○		○				○	地域コミュニティは大切です。日頃そのために尽力下さっている、公民館、自治協、町内会の方々（組長含む）のこと、組織のことなどがもう少し住民の方々にわかりやすく、透明性をもって伝わるといいのになあと思いました。	町内会の役決めにおいて、高齢化や様々な家庭の事情により多様性がふえていることはしかたないので、この大切なコミュニティのつながりを絶やさないためにも、その場に、合ったやり方も認めていくこと、かわっていくことも受け入れることが大切だと思います。
480			○						参加する気が元々ない方は仕方がないため、キッカケがなくて参加できずにいる方々に、いかに来てもらえる場を作るかが課題だと思います。むずかしいですが…	ホームページに公開している自治会誌？に町内会長のフルネームがでていますので、年度が終わりましたら削除をお願いしたいです。
481		○	○	○						・配布物の削減をお願いしたい。 ・各種行事や祝い金等の調査が困難になってきている。
482	○	○							コロナの時代でやりにくいと思いますが、場作りと云うか参加しやすい会を作ること	
483	○	○	○	○				○	情報発信は、LINE、インスタ、ツイッターなど色々な所からできると若い方も分かりやすいと思います。	長になられる方には、適性があると思うので、何でも、くじびき、輪番で、その人の性質に合わない仕事を与えられるのは、苦痛、ストレスでしかなく、負担が大き過ぎると思います。

市から地域への協力依頼等の状況（令和元年度）

1 協力依頼等の区分

①協力依頼	報償等の支払いや適切なサポートを用意したうえで、地域に何らかのアクションをお願いするもの
②協議・提案	住みよい地域づくりに関して、地域と市が意見交換を行うもの
③お知らせ・報告	説明を受けた地域代表者が受けきりでよい情報提供

2 協力依頼等の主な内容

①協力依頼 (102 項目)	○市が発行する広報物の配布、回覧、掲示 （ 例・公民館だより ・工事のお知らせ ・交通規制チラシ ） ○委員等の推薦、就任 （ 例・民生委員・児童委員 ・公民館館長 ・国勢調査の調査員 ・投票立会人及び投票事務従事者 ・受賞候補者 ・審議会等委員 ） ○会議等への出席 （ 例・市、区事業の実行委員会・運営委員会 ・市の審議会・協議会 ） ○イベントへの参加 など
②協議・提案 (36 項目)	○市、区事業についての協議 ○避難所運営ワークショップの実施についての提案 ○健康づくりに関する意見交換 など
③お知らせ・報告 (42 項目)	○市、区事業の周知 ○イベントの開催案内 ○事業の進捗に関するお知らせ・報告 など

令和2年度市政アンケート調査 報告書

(テーマ:「地域の活動やまちづくり」について)

- 実施時期 : 令和2年9月25日～10月9日
- 対 象 : 福岡市市政アンケート調査協力員* 約600人
* 福岡市内に住む18歳以上の男女から無作為抽出し、年間を通したアンケート調査への協力をお願いし、承諾した者
- 実施方法 : 郵送又は電子メールにより配布・回収
- 回 収 率 : 87.9%(回収数546/調査数621)
- 調査テーマ担当課 : 市民局コミュニティ推進部コミュニティ推進課
TEL:092-733-5161 FAX:092-733-5595
E-Mail:community.CAB@city.fukuoka.lg.jp

※ 結果の数値は構成比(%)。小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合もある。

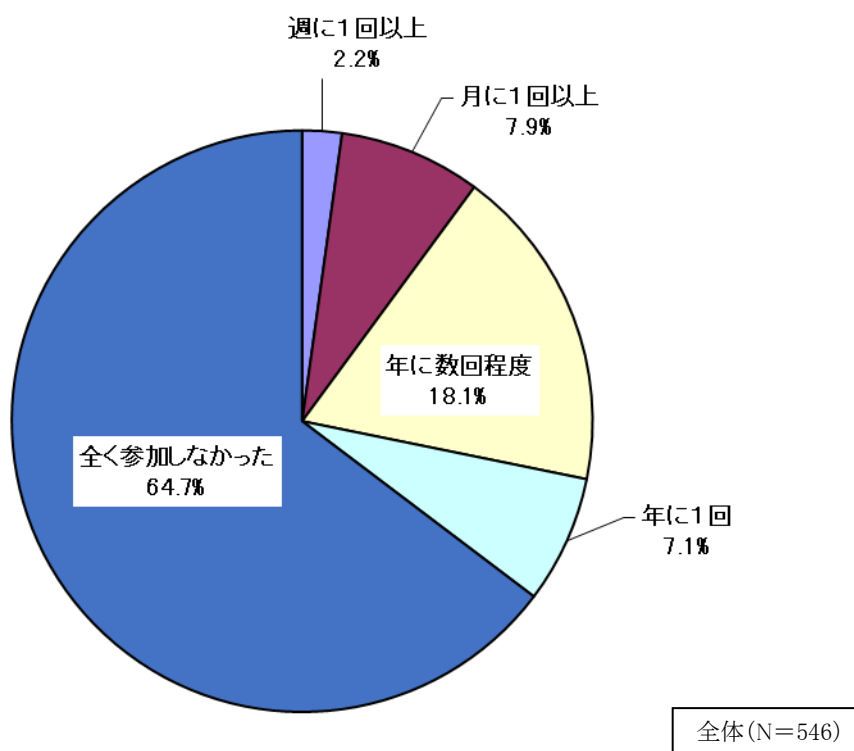
(1) 過去1年間における地域活動への参加状況

問1 あなたは過去1年間に、お住まいの地域で、住民が行っている活動（地域活動）にどのくらい参加しましたか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

住んでいる地域で住民が行っている活動（地域活動）に参加したことがあるかをきいたところ、「週に1回以上」が2.2%、「月に1回以上」が7.9%、「年に数回程度」が18.1%、「年に1回」が7.1%となっており、合わせると地域活動に『年に1回以上参加したことがある』人が35.3%となっている。

また、「全く参加しなかった」については、64.7%となっている。

過去1年間における地域活動への参加状況

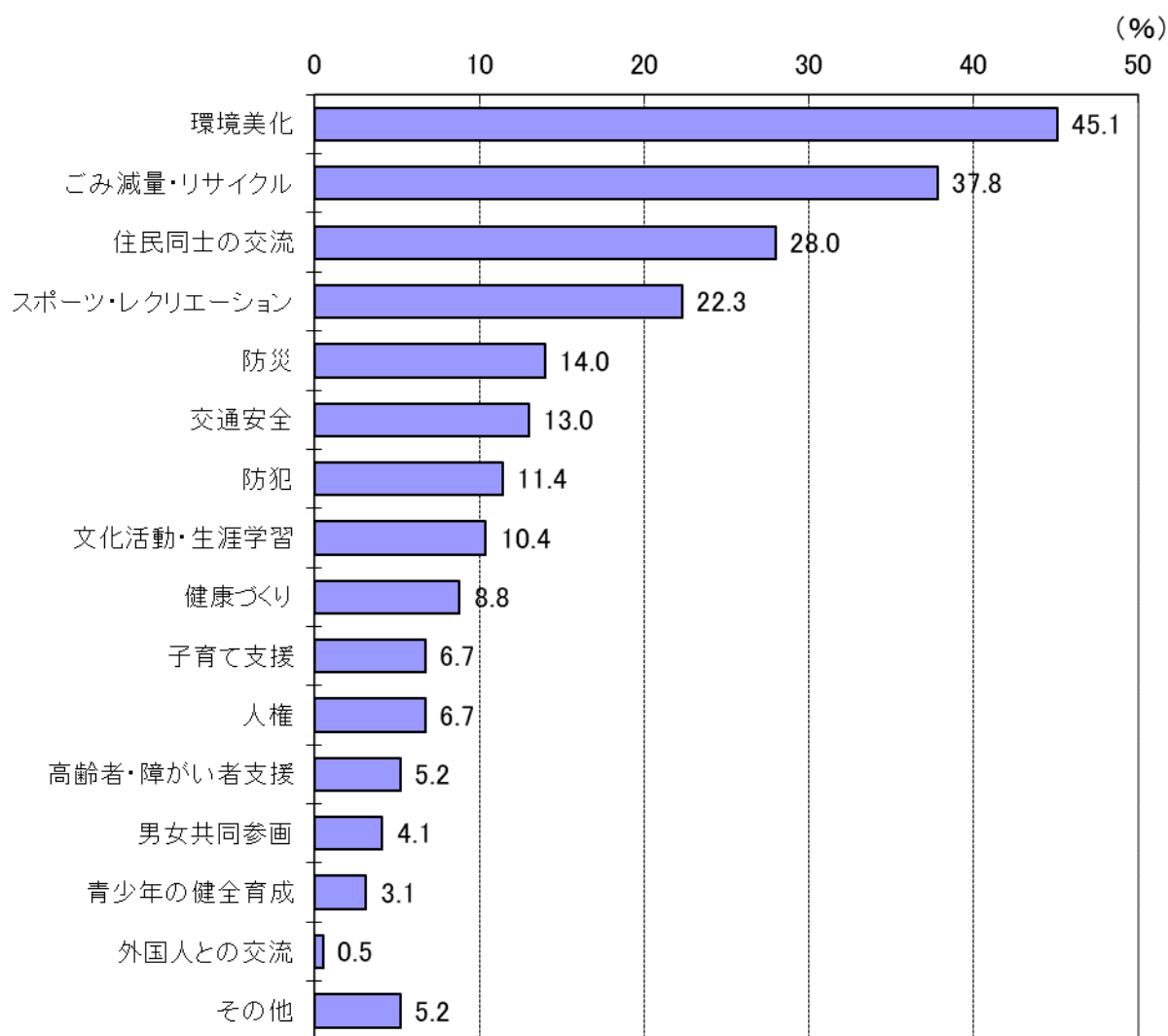


(1)－1 参加した活動内容

問１－１ 【問１で「年に１回以上参加したことがある」と回答した方におたずねします。】
どのような分野の活動に参加しましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

住民が行っている活動（地域活動）に『年に１回以上参加したことがある』人に、その活動内容についてきいたところ、「環境美化」（45.1%）、「ごみ減量・リサイクル」（37.8%）が３割を超えている。

参加した活動内容



全体 (n=193)

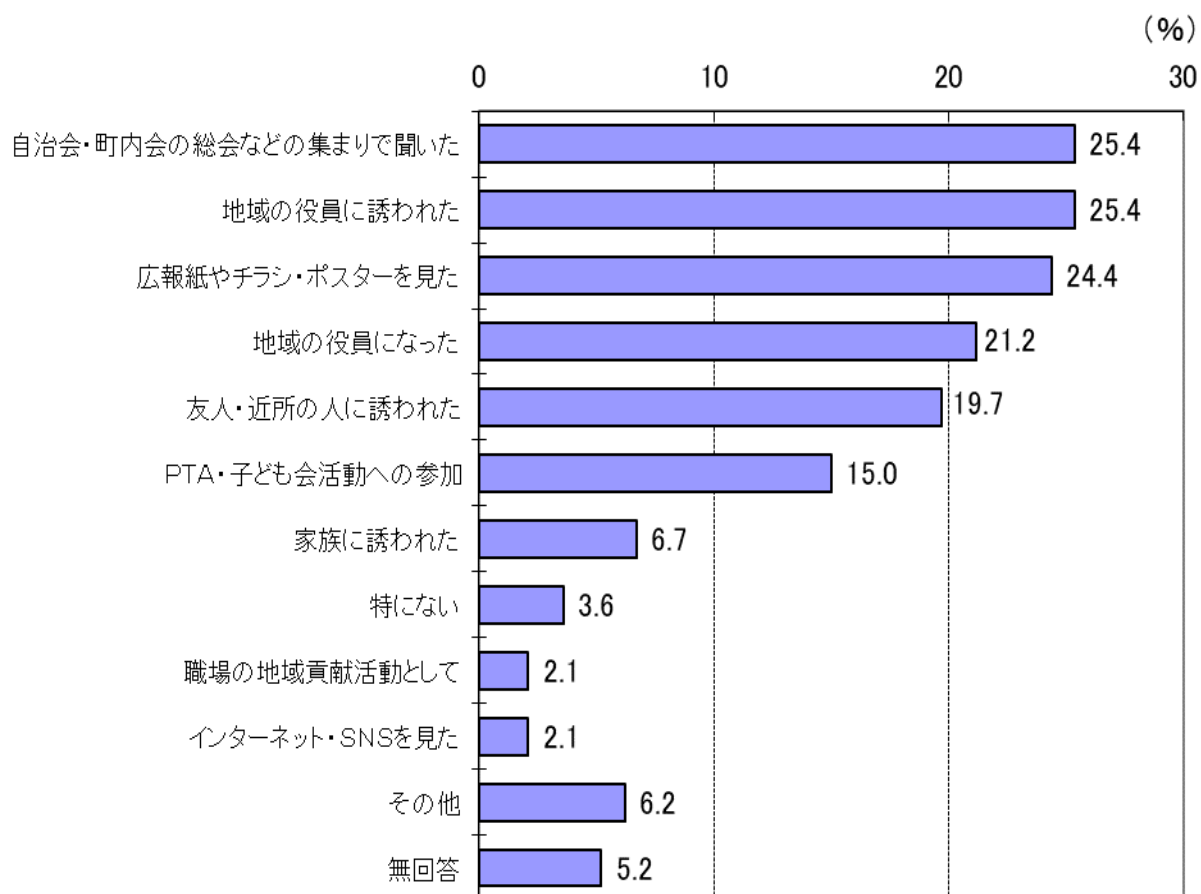
(1)－2 参加したきっかけ

問１－２【問１で「年に１回以上参加したことがある」と回答した方におたずねします。】

参加したきっかけは何でしたか。あてはまるものをすべて選んでください。

住民が主体となっていて行っている活動（地域活動）に『年に１回以上参加したことがある』人に、参加したきっかけをきいたところ、「自治会・町内会の総会などの集まりで聞いた」、「地域の役員に誘われた」（25.4%）、「広報紙やチラシ・ポスターを見た」（24.4%）、「地域の役員になった」（21.2%）の順となっている。

参加したきっかけ



全体 (n=193)

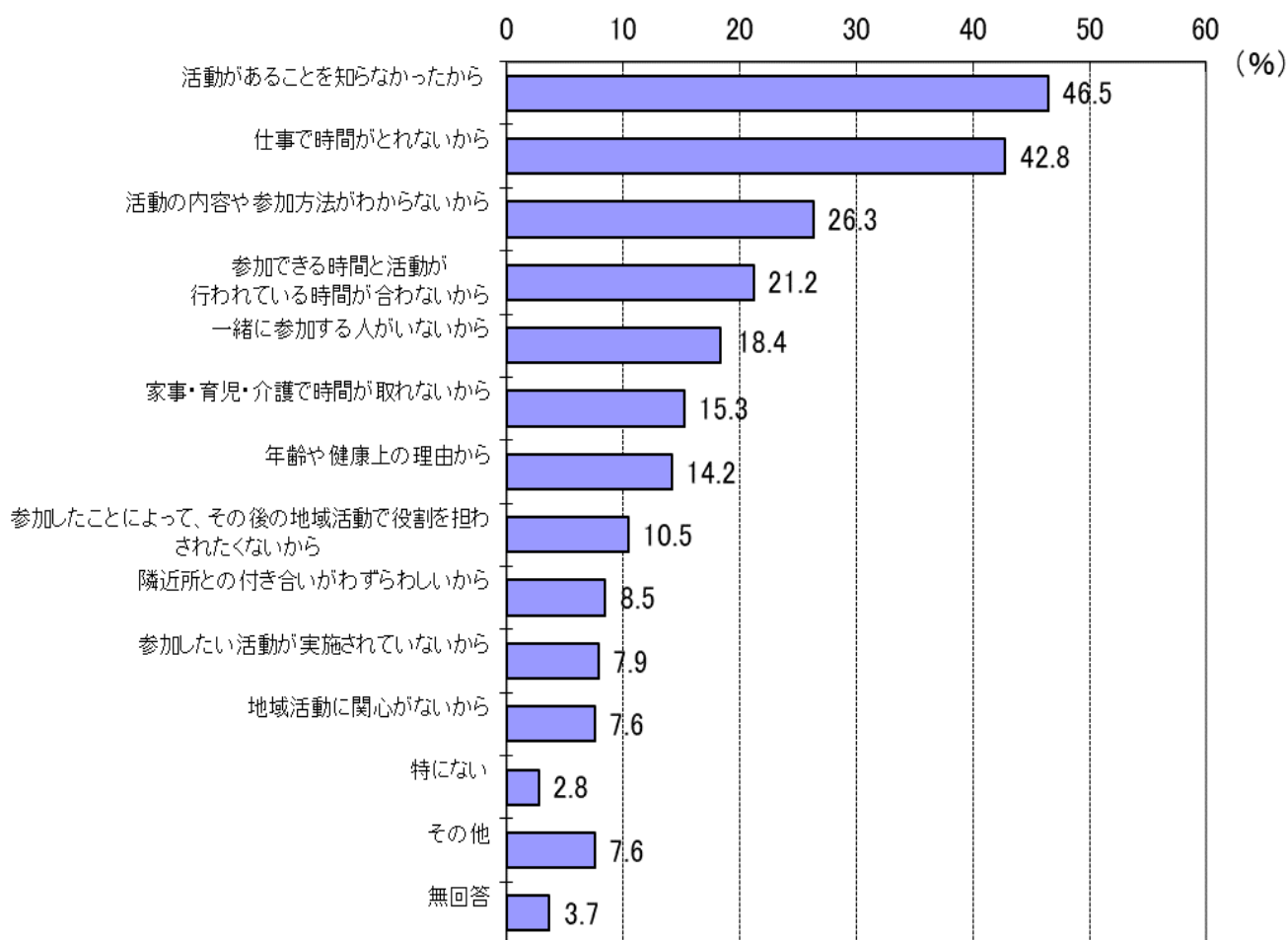
(1)－3 参加しなかった（できなかった）理由

問１－３【問１で「全く参加しなかった」と回答した方におたずねします。】

地域活動に参加しなかった（または参加できなかった）理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

住民が主体となっていて行っている活動（地域活動）に『全く参加しなかった』人に、その理由についてきいたところ、「活動があることを知らなかったから」（46.5%）の割合が最も高く、次いで「仕事で時間がとれないから」（42.8%）、「活動の内容や参加方法がわからないから」（26.3%）の順となっている。

参加しなかった（できなかった）理由



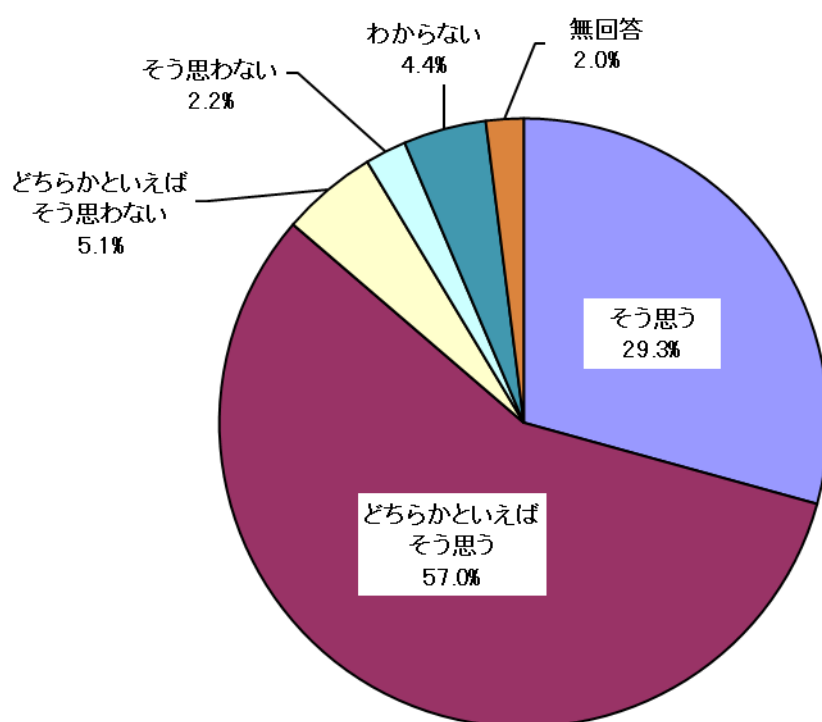
全体 (n=353)

(2) 地域活動の大切さ

問2 あなたは、地域活動は大切だと思いますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

地域活動を行うことが大切と思うかどうかをきいたところ、「そう思う」が(29.3%)、「どちらかといえばそう思う」が(57.0%)となっている。両者を合わせた割合は(86.3%)となっており、多くの人が地域活動を行うことは大切だと思っていることがわかる。

地域を住みやすくするための地域活動の大切さ



全体(N=546)

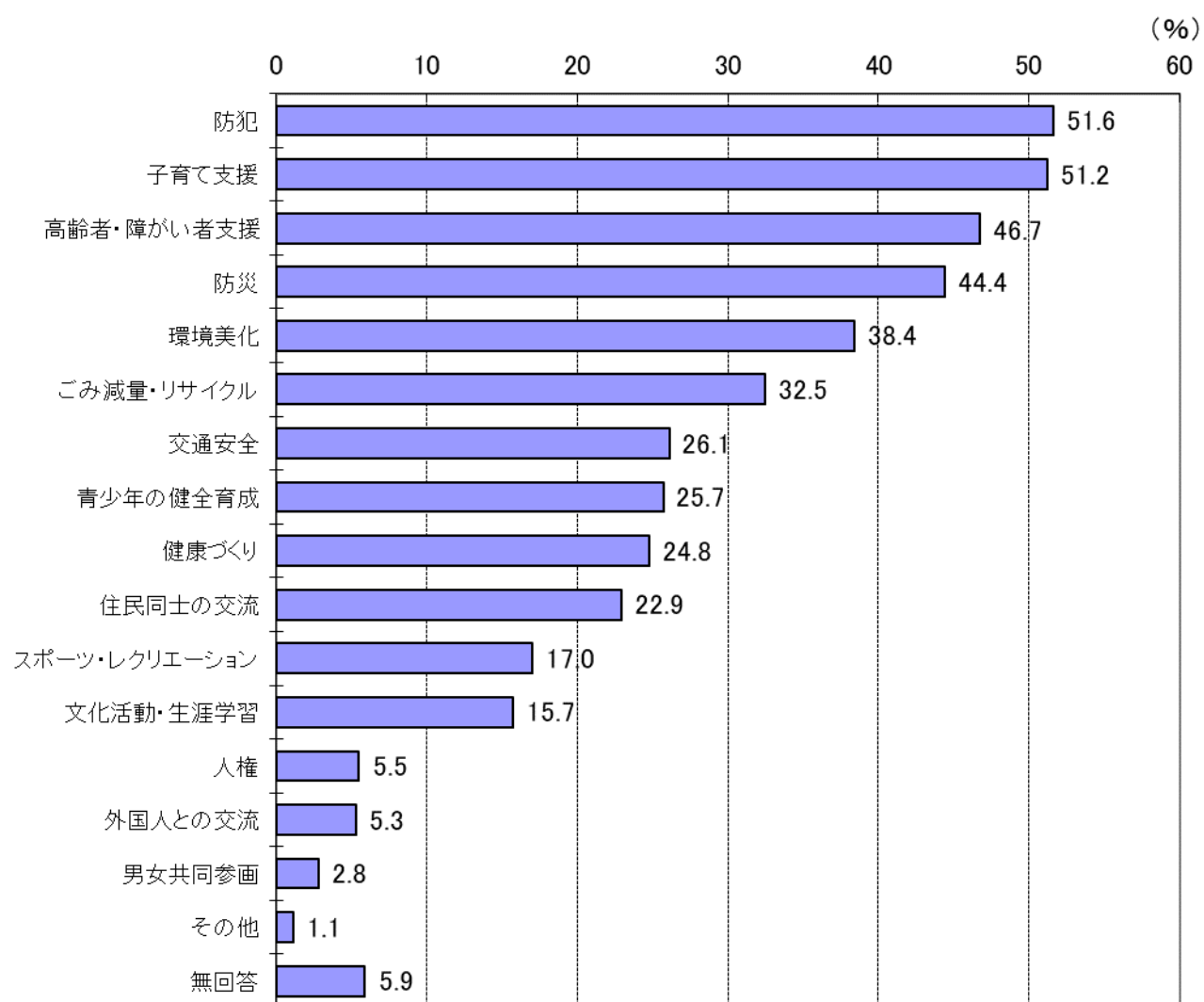
(2)－1 特に大切と思う活動内容

問2－1【問2で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した方におたずねします。】

あなたは、地域活動のうち、どのような分野の活動が大切だと思いますか。特にあてはまるものを5つまで選んでください。

『地域活動を行うことが大切』と答えた人に、特に大切だと思う分野の活動内容についてきいたところ、「防犯」(51.6%)の割合が最も高く、次いで「子育て支援」(51.2%)、「高齢者・障がい者福祉」(46.7%)、「防災」(44.4%)、「環境美化」(38.4%)の順となっている。

特に大切と思う活動内容



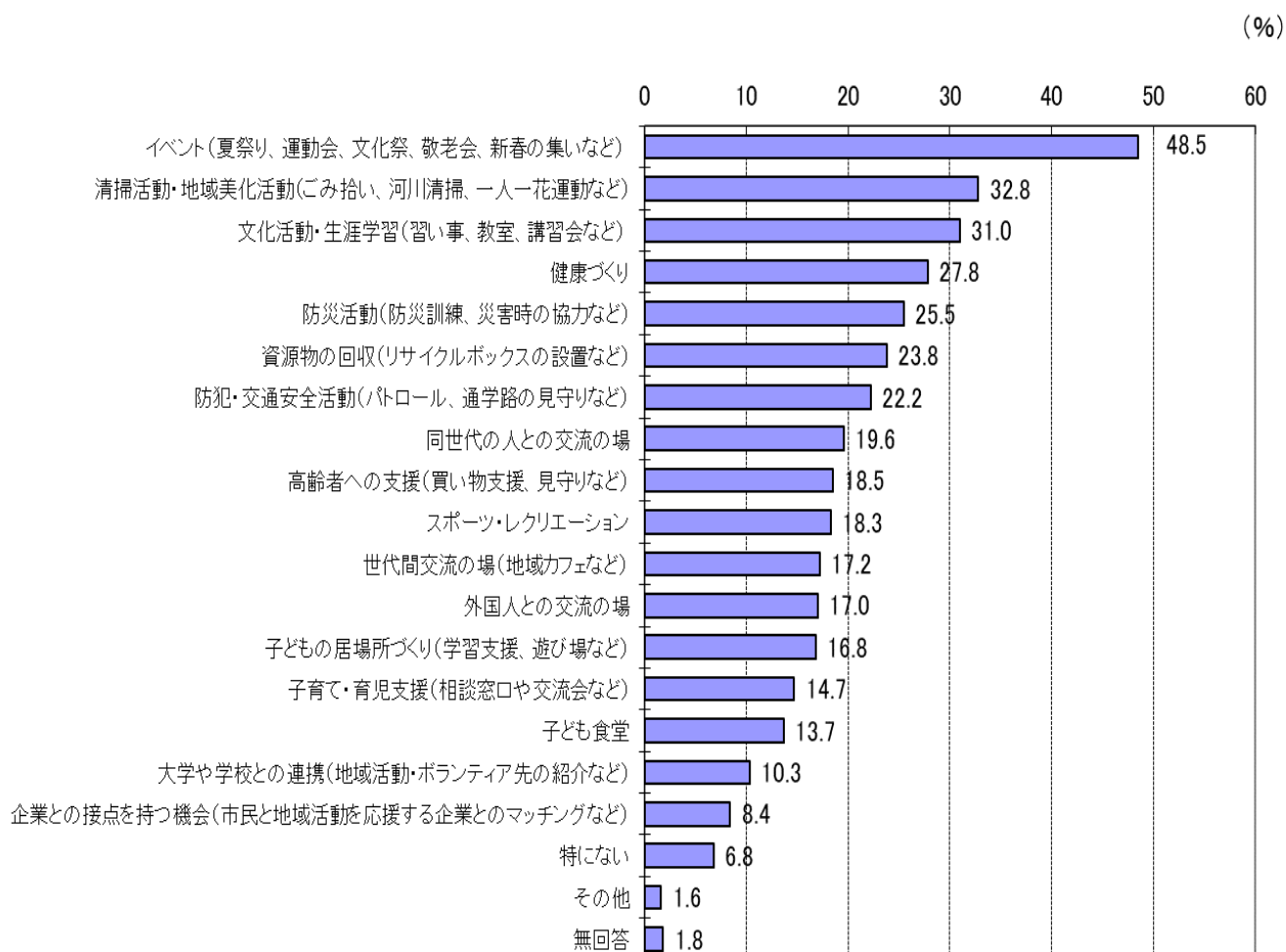
全体 (n=471)

(3) 参加したいと思う活動内容

問3 あなたは、どのような活動であれば参加したいと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

住んでいる地域でどのような地域活動が行われるとよいかきいたところ、「イベント（夏祭り、運動会、文化祭、敬老会、新春の集いなど）」（48.5％）の割合が最も高く、次いで「清掃活動・地域美化活動（ごみ拾い、河川清掃、一人一花運動など）」（32.8％）、「文化活動・生涯学習（習い事、教室、講習会など）」（31.0％）、「健康づくり」（27.8％）、「防災活動（防災訓練、災害時の協力など）」（25.5％）の順となっている。

参加したいと思う活動内容



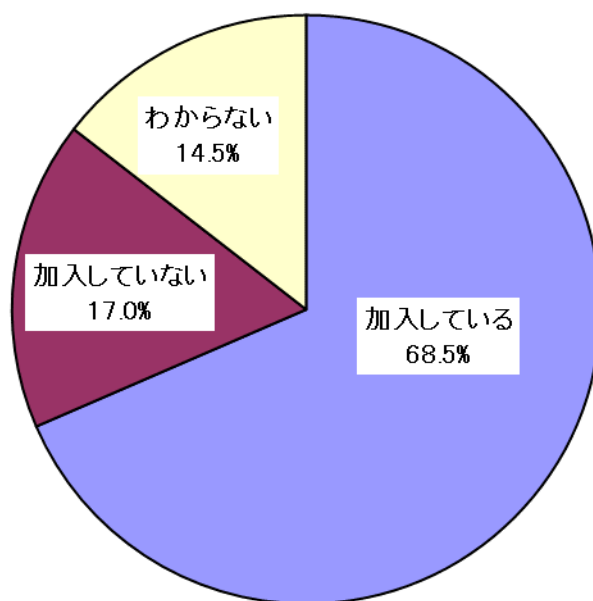
全体(N=546)

(4) 自治会・町内会の加入状況

問 4 あなた（またはあなたの世帯）は、お住まいの地域の自治会・町内会に加入していますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

自治会・町内会の加入状況についてきいたところ、「加入している」と答えた人は 68.5%、「加入していない」は 17.0%となっている。

自治会・町内会の加入状況



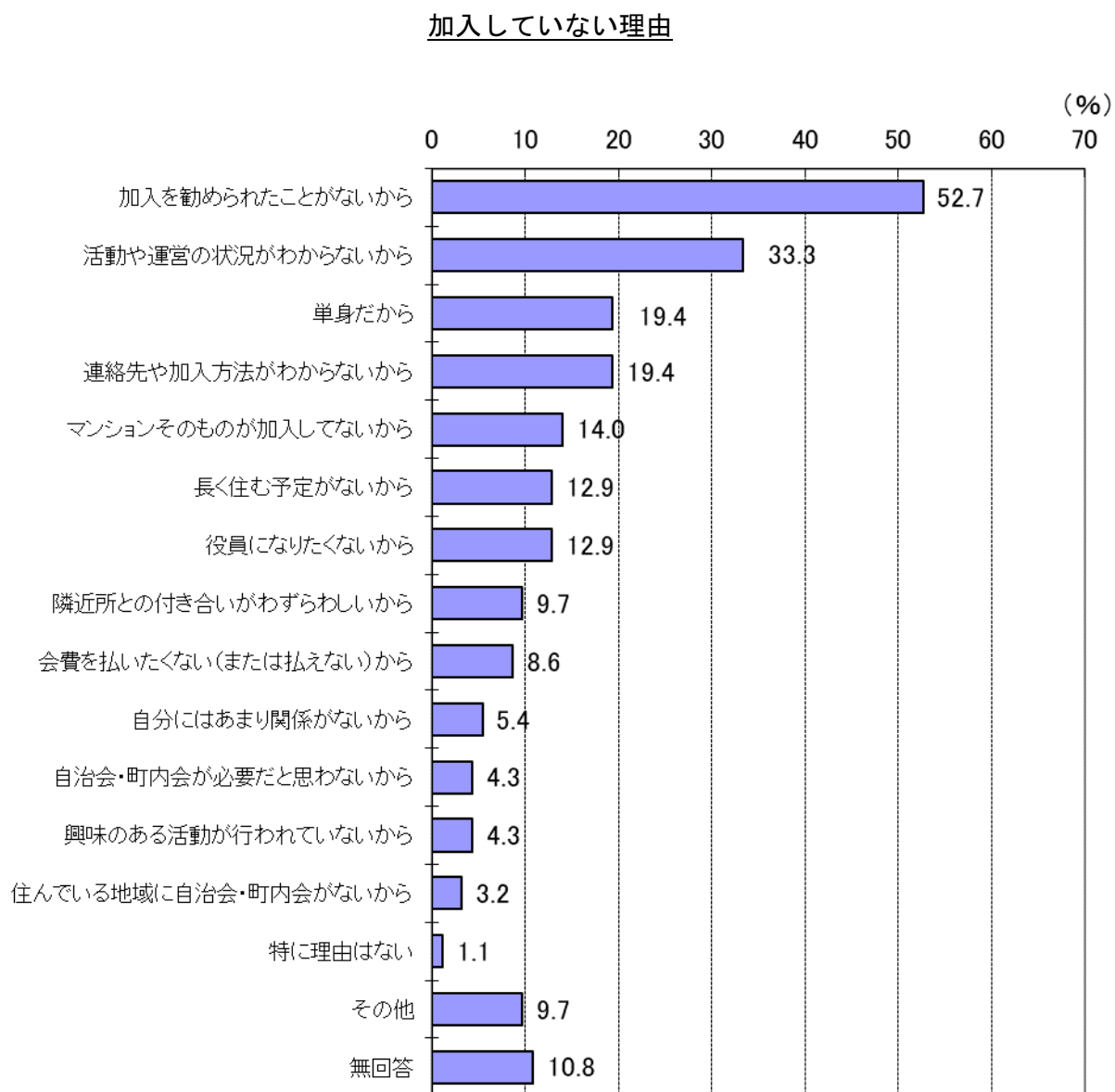
全体(N=546)

(4)－1 加入していない理由

問4－1 【問4で「加入していない」と回答した方におたずねします。】

自治会・町内会に加入していない理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

自治会・町内会に加入していない人に、その理由をきいたところ、「加入を勧められたことがない」(52.7%)の割合が最も高く、次いで「活動や運営の状況がわからない」(33.3%)、「単身だから」、「連絡先や加入方法がわからない」(19.4%)の順となっている。



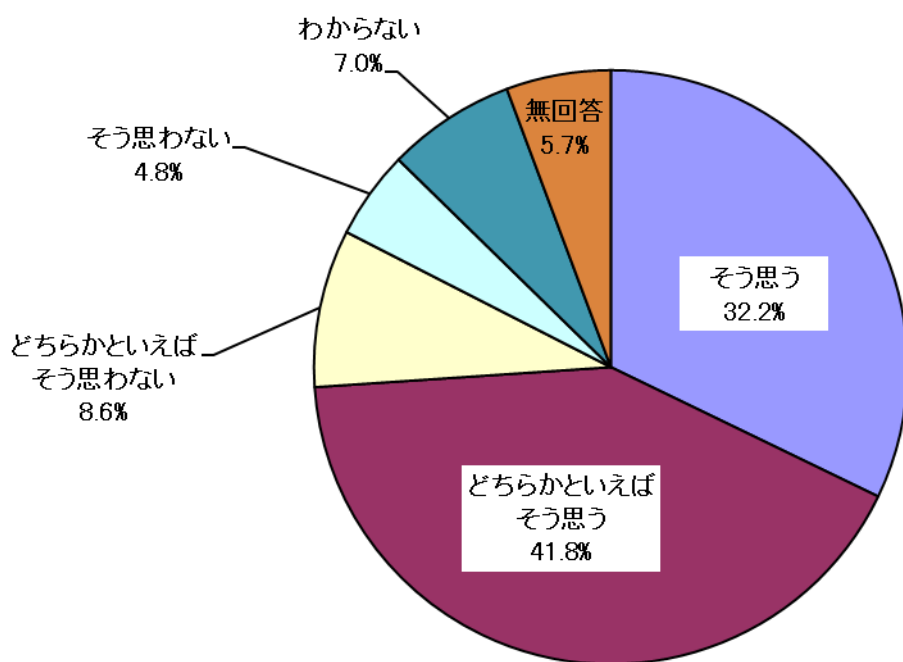
全体 (n=93)

(5) 自治会・町内会の必要性

問5 自治会・町内会は必要だと思いますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

自治会・町内会は必要だと思うかについてきいたところ、「そう思う」(32.2%)と「どちらかといえばそう思う」(41.8%)を合わせた割合は(74%)となっている。

地域を住みやすくするための自治会・町内会の必要性



全体(N=546)

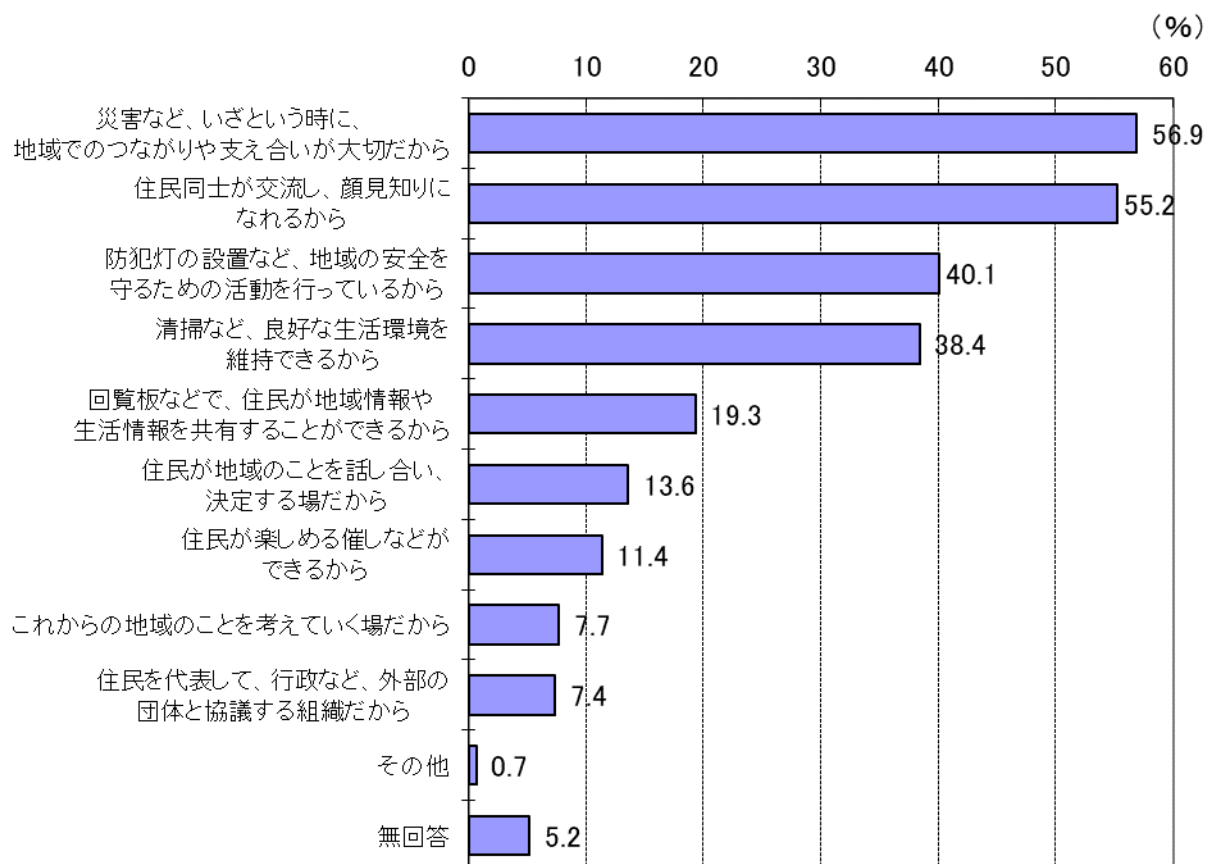
(5)－1 自治会・町内会が必要だと思う理由

問5－1【問5で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した方におたずねします。】

自治会・町内会が必要だと思う（またはどちらかといえば必要だと思う）理由は何ですか。特にあてはまるものを3つまで選んでください。

地域を住みやすくするために自治会・町内会が『必要』だと答えた人に、必要だと思う理由についてきいたところ、「災害など、いざという時に、地域でのつながりや支え合いが大切だから」（56.9％）の割合が最も高く、次いで、「住民同士が交流し、顔見知りになれるから」（55.2％）、「防犯灯の設置など、地域の安全を守るための活動を行っているから」（40.1％）、「清掃など、良好な生活環境を維持できるから」（38.4％）の順となっている。安全に安心して暮らせる地域を作るため、また、いざという時のためにも、日頃から住民同士のつながりが大切だと考えている人が多いことがうかがえる。

自治会・町内会が必要だと思う理由



全体 (N=404)